

官報

號外

昭和二年三月十三日 日曜日

内閣印刷局

第五十二回衆議院議事速記録第二十五號

昭和二年三月十二日(土曜日)午後一時二十分開議

議事日程 第二十四號

昭和二年三月十二日

午後一時開議

第一 鑛業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 土地收用法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戶籍等ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第六 不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第七 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

大正十三年度第一豫備金支出ノ件

大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十四年度第二豫備金支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計第一豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

承諾ヲ求ムル

臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件
自大正六年二月二十六日至大正九年六月二十五日臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件

大正十四年度第一豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十五年年度第二豫備金支出ノ件

大正十五年年度特別會計第二豫備金支出ノ件

承諾ヲ求ムル

第十 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十一 徵兵令改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州ノ生産品輸入稅免除ノ件)(政府提出) 第一讀會

第十四 商法中改正法律案(三浦數平君提出) 第一讀會

第十五 恩給法中改正法律案(長峰與一君外三名提出) 第一讀會

第十六 恩給法中改正法律案(松實喜代太君外三名提出) 第一讀會

第十七 恩給法中改正法律案(一柳仲太郎君外六名提出) 第一讀會

第十八 恩給法中改正法律案(山枡儀重君外八名提出) 第一讀會

第十九 治安警察法中改正法律案(山枡儀重君外四名提出) 第一讀會

第二十 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(坂東幸太郎君外三名提出) 第一讀會

第二十一 架空索道ノ抵當ニ關スル法律案(清瀬一郎君提出) 第一讀會

第二十二 被害水田改良事業助成法案(星康平君外二名提出) 第一讀會

第二十三 金鷄勳章年金ニ關スル法律案(古川清君外二名提出) 第一讀會

第二十四 北海道御料拂下地免租年期ニ關スル法律案(東武君外三名提出) 第一讀會

第二十五 借地法中改正法律案(作間耕逸君外二名提出) 第一讀會

第二十六 大正十五年法律第七十四號中改正法律案(市制中改正ノ件)坂東幸太郎君外五名提出) 第一讀會

第二十七 大正十五年法律第七十五號中改正法律案(町村制中改正ノ件)(坂東幸太郎君外五名提出) 第一讀會

第二十八 大正十五年法律第七十六號中改正法律案(北海道會法中改正ノ件)(坂東幸太郎君外五名提出) 第一讀會

第二十九 家祿賞典祿給與未滿ニ關スル法律案(福田五郎君外八名提出) 第一讀會

第三十 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(竹原模二君外十六名提出) 第一讀會

第三十一 造林助成法案(川崎安之助君外十一名提出) 第一讀會

第三十二 京都市ニ關スル法律案(森田茂君外四名提出) 第一讀會

第三十三 橫濱市ニ關スル法律案(平沼亮三君外二名提出) 第一讀會

第三十四 大阪市ニ關スル法律案(武藤山治君外十一名提出) 第一讀會

第三十五 神戸市ニ關スル法律案(折原巳一郎君外二名提出) 第一讀會

第三十六 名古屋市ニ關スル法律案(加藤録五郎君外一名提出) 第一讀會

第三十七 關稅定率法中改正法律案(小池仁郎君外十八名提出) 第一讀會

第三十八 關稅定率法中改正法律案(東武君外十二名提出) 第一讀會

第三十九 部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案(望月小太郎君外十八名提出) 委員長報告

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀) 一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

防火地區内借地權處理法案

保稅倉庫法中改正法律案

保稅工場法案

(以上三月十一日提出)

一今十二日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

商工會議所法案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
意匠法中改正法律案

提出者

清水市太郎君

作間 耕逸君

藏園三四郎君

武富 濟君

清瀨 一郎君

實用新案法中改正法律案

提出者

清水市太郎君

作間 耕逸君

藏園三四郎君

武富 濟君

清瀨 一郎君

特許法中改正法律案

提出者

清水市太郎君

作間 耕逸君

藏園三四郎君

武富 濟君

清瀨 一郎君

商標法中改正法律案

提出者

清水市太郎君

作間 耕逸君

藏園三四郎君

武富 濟君

清瀨 一郎君

(以上三月十一日提出)

食糧債券發行ニ關スル法律案

提出者

星 康平君

大石 大君

原 夫次郎君

(以上三月十二日提出)

土器川改修速成ニ關スル建議案

提出者

三善 清之君

四國縱貫鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

三善 清之君

小野 義一君

秋田 清君

大船渡線速成並大船渡港重要港灣指定等ニ關スル建議案

提出者

志賀和多利君

廣瀬 爲久君

大船渡線速成並大船渡港重要港灣指定等ニ關スル建議案

提出者

工藤 鐵男君

横山金太郎君

大島 要三君

内ヶ崎作三郎君

青森港築港國營ニ關スル建議案

提出者

工藤 鐵男君

野村治三郎君

原田藤次郎君

浦山助太郎君

平山爲之助君

工藤十三雄君

兼田 秀雄君

華府會議條約ノ結果被リタル損害回復ニ關スル建議案

提出者

清水市太郎君

柏田 忠一君

福井三國間水運利用ニ關スル建議案

提出者

福井三國間水運利用ニ關スル建議案

提出者

福井驛擴張速成ニ關スル建議案

提出者

赤城橋名妙義ノ三山ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者

青木 精一君

木暮武太夫君

靜岡市ニ商科大學設置ニ關スル建議案

提出者

松浦五兵衛君

宮崎友太郎君

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

(以上三月十二日提出)

一昨十一日委員長補關選舉ノ結果左ノ如シ

登錄稅法中改正法律案(政府提出)外三件

委員

委員長 長田 桃藏君(委員長武藤金

吉君昨十日辭任ニ付其ノ補

關)

一昨十一日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

勞働組合法案(政府提出)委員

委員長 小池 仁郎君

杉 宜陳君 大竹 謙治君

宜保 成晴君 中林 友信君

大藤 唯男君 佐藤 重遠君

堤 清六君

能代港ニ臨港線敷設ニ關スル建議案外二十七件委員

谷口宇右衛門君 井上 利八君

齋藤 金吾君 奧村 千藏君

佐藤 實君 澤田 利吉君

川口 義久君 黒住 成章君

西方 利馬君 石坂 豐一君

藤川 清助君 二木 洵君

高木 音藏君 小島 善作君

兼田 秀雄君 奥野小四郎君

宮島幹之助君 坂東幸太郎君

南陽鐵道速成ニ關スル建議案外三十六件委員

栖延敬太郎君 福田 五郎君

大里廣次郎君 井本 常作君

神谷 彌平君 作間 耕逸君

石塚 三郎君 嶋居 哲君

高草美代藏君 長田 桃藏君

坂井 大輔君 藤田 包助君

中村 清造君 兒玉 右二君

陣 軍吉君 平田民之助君

逆瀬川仁次郎君 小屋 光雄君

一昨十一日九州製鋼株式會社ノ工場等ノ買收代金ニ關スル法律案委員福田五郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ服部英明君ヲ銀行法案外四件委員平山爲之助君山口恒太郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ山内確三郎君牧野良三君ヲ電氣事業法中改正法律案委員石原正太郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ植原悦二郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(柏谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、諮問事項ガアリマス、第三部選出豫算

委員、倉元要一君ヨリ常任委員辭任ノ申出

委員

工藤 鐵男君

手代木隆吉君

平川松太郎君

神原 經武君

原 惣兵衛君

板野 友造君

永井 作次君

藏園三四郎君

畔田 明君

義務教育年限延長ニ關スル建議案外三十一件委員

山宮 藤吉君

栗山 博君

内ヶ崎作三郎君

藤井 敬慎君

大里廣次郎君

條原 和市君

河上 哲太君

山下 谷次君

山上敬之助君

東 武君

山内 範造君

東 實君

牧野 良三君

東 實君

熊谷五右衛門君

三浦 數平君

野原種次郎君

明治六年地租改正條例ニ依ル土地丈量立替費用償還ニ關スル建議案外二十件委員

小西 和君

飯塚春太郎君

岡本實太郎君

蟻川五郎作君

高橋元四郎君

由谷 義治君

大島 要三君

三善 清之君

八田 宗吉君

青木 精一君

石井 三郎君

難波 清人君

委員

工藤 鐵男君

手代木隆吉君

平川松太郎君

神原 經武君

原 惣兵衛君

板野 友造君

永井 作次君

藏園三四郎君

畔田 明君

義務教育年限延長ニ關スル建議案外三十一件委員

山宮 藤吉君

栗山 博君

内ヶ崎作三郎君

藤井 敬慎君

ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ヒ、御報告アラシコトヲ望ミマス、議事進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス、森田金藏君

〔森田金藏君登壇〕

○森田金藏君 私共議事ヲ進行シマスル事ニ付テ、大ナル責任ヲ感ジテ居ル者デアリマス、無論此議場ニ於テ國務大臣ガ答辯サレタコト、又答辯サレントスル、固ヨリ私共國務大臣ヲ信用スルコトニ於テ、議事ハ進行スルモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ私ハ幸ニ茲ニ大藏大臣ガ御出ニナツテ居リマスカラ、議事進行ノ大切ナル問題トシテ、大藏大臣ニ御問申シタイ事ガアルノデアリマス、昨日貴族院デ問題ニナツテ居リマスル此震災手形ノ問題デアリマスルガ、私ハ震災手形ト云フモノ、救済ハ、國家ガ法律ヲ以テ救済スルト云フコトヲ約束シタモノニ於テハ、無論爲スベキモノデアルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ約束以外ノモノニ付テハ、餘程慎重ニ考慮ヲ要スルモノデアルト思フノデアリマス、私共議員タル者ハ、良イ法律案デアアルナラバ、直ニ是ヲ是トシテ賛否ヲ決セナケレバナラヌノデアリマス、若シ不明ニシテ分ラヌ事ガアルナラバ、之ヲ何所マデモ追究シテ、能ク明確ニ國務大臣ノ答辯ヲ聽イテ、サウシテ決シナケレバナラヌ所ノモノデアルト思フノデアリマス、然ルニ此議場ニ於テハ、餘リニ此問題ニ付テ御明答ヲ得ナカッタノデアリマス、委員會ノ報告モ其通りデアッタ、併ナガラ多數ニ依テ是ガ決セラレタコトモ、如何トモ致方ガアリマセヌ、所ガ昨日大藏大臣ガ貴族院ノ馬場鎮一君ノ御質問ニ對シテ御答ニナツタコトヲ伺ヒマス

ルト、是ハ容易ナラヌ問題デアルト、私ハ考ヘルノデアリマス、私共苟モ此議場ニ立ッテ、其議案ノ善イカ惡イカ、果シテ如何ナルモノデアアルカト云フコトヲ決スルコトハ、當然ノ責務デアルト思フノデアリマス(拍手) 何カ大藏大臣ハ何事カ誤解ヲ爲サタノカ、ソレハ存ジマセヌケレドモ、此問題ニ付テ反對ヲスル者ハ、何カ特別ノ關係ガアル者デアアルカノ如ク御答辯ニナツテ居ルコトデアリマス(拍手) 昨日馬場君ニ對シテノ御返事ノ中ニ、近來此問題ガ政治問題化シ來リ、又中ニハ日本銀行デ再割引ヲ拒絕セラレタルモノ、斯ウ云フ風ニ斷言ヲシテ居ラレルノデアリマス、又批難ノ的トナテ居ル人ト取引上ノ利害ヲ異ニスル者ガ、殊更惡聲ヲ放ツタ者ガアルラシイ、斯ウ云フコトヲ御答ニナツテ居ルノデアリマス、大藏大臣ハ如何ナル責任ヲ以テ、斯ウ云フ御答ガ出來マスカ、大體此惡聲ヲ放ツテ、殊更惡聲ヲ放ツテ居ルモノ云フヤウナ事柄ハ、何ヲ捉ヘテ仰シタルノデスカ、衆議院ニ於テ此案ニ反對シタル者ヲ、斯ウ云フ風ニ御認ニナツテ居ルナラバ、是非非常ノ間違デアアル、吾々ハ是ヲ是トシ非ヲ非トスル者デアリマス、若シ正シイ案デ、是ガ實際震災ノ爲ニ災害ヲ受ケテ居ル者ガ被ムル利益デアアルナラバ、國ガ之ガ爲ニ辨償スルコトモ已ムヲ得ナイノデアリマス、私共モ震災ノ爲ニ實ニ苦イ經驗ヲ得テ、京阪ニ居ル所ノ實業家ハ、東京カラ取ツタ震災手形ト云フモノハ、如何ナル處置ヲシタカ、大藏大臣ハ御存知ナイデアラウト思フ、其實情ヲ少シ話シテ見タイト思フノデアリマス、私共ハ成ベク自分ノ力ニ依テ國家ニ害ヲ及ボサヌヤウニ、多クノモノヲ——極ク少數ノ政商、或ハ政府ニ關係ヲ持ツテ、何事カ利得ヲセントスルヤウナ人ハ、ドウカハ存ジマセヌガ、正シイ商賣ヲシテ居ル者ハ、必ズハ責任ヲ以テ震災手形ヲ整理シテ、或ハ國家ノ御厄介

ニナラナイヤウニ、吾々ハ皆辨濟シタルノデアリマス(拍手) 然ルニ大藏大臣ハ殊更惡聲ヲ發スル者ガアル、如何ナル所ヲ擱ヘテ惡聲ヲ發スル者ガアルト仰セラレタルノデアリマス、殊ニ見通スコトノ出來ナイコトハ、政治問題化シ來テ、其中ニハ日本銀行デ再割引ヲ拒絕セラレタル者ガ、サウ云フ反對ヲシテ居ルノデアルト云フコトヲ、臆面モナク貴族院デ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ如何ナルモノガ日本銀行カラ拒絕セラレタコト云フコトヲ、ドンナ證據ヲ擱ヘテ仰セニナルカ、衆議院ニ於テハ一言モ斯ウ云フコトヲ言得ズシテ、サウシテ貴族院ノ追窮ニ依テ、此案ヲ是ガ非デモ通サントスル所ノ貴方ノ御考カラ逆テ、斯ウ云フコトヲ言出シタルスルナラバ、國務大臣ハ衆議院ヲ何ト御覽ニナツテ居ルカラ聞カナケレバナラヌ(拍手) 私共ハ如何ニ少數デアツテモデス、決シテ善イ案デアアルナラバ兩手ヲ舉ゲテ賛成スル、何等斯ウ云フ問題ニ黨派心ヲ用ユベキ問題デハナイ、公明正大ニ國民ニ一億有餘ノ負擔ヲ負ハシムル所ノ案デアリマス、何程十箇年ノ内ニ返スト云フデモ、若シソレガ返セナカッタラ、國民ガソレヲ負擔シナケレバナラナイノデアアル、勿論ノ事デアアル、又(負擔ニナラナイト呼フ者アリ) 負擔ニナルノダ、是ガ返セナカッタナラバナルノデス、ソレハ別問題トシテ、兎ニ角大藏大臣ガ...

〔此時發言者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○森田金藏君(續) 案ノ内容ハ此通りデアアル、大藏大臣ガ之ヲ明言サレタコトハ、如何ナル譯デアアルカ、國務大臣トシテ斯ノ如キ言ヲ衆議院ニ於テ言得ズシテ、貴族院ニ喋タト云フコトハ、何タル事デアリマスカ(拍手) 吾々實業家ハ斯ノ如キ案ヲ見テ、是ガ正シイモノデアアルナラバ、早速兩手ヲ舉ゲテ賛成スルノデアアル、不明デアアルカラ之

ヲ賛成シナイト云フコトニ對シテ、其不明デアアル、明ナラヌコトヲ明ニシナイト云フコトハ、ドウ云フコトデアアル(拍手) 故ニ私ハ大藏大臣ニ此事ヲ是非御明答ヲ願ヒタイノデアリマス、議事進行ヲ「スムーズ」、滑カニセントスルナラバ、大藏大臣ノ答辯ガ、吾々議員ヲシテ信任セシムル所マデ誠意ヲ披瀝シナケレバナラヌト私ハ思フノデアアル(拍手) 先ツ第一ニ御問申シタイノハ、茲ニ仰セニナツタ此日本銀行ノ取引ヲ拒絕セラレタル者ガ之ヲ言フノダト云フコトハ、何ヲ擱ヘテ仰セニナルノカ、誰ガ拒絕サレテ、ドウ云フ反對者ガアッタト云フコトヲ明答ヲ爲サナケレバナラヌト思フノデアアル(拍手) ソレカラ又ハ非難ノ的トナツテ居ル人ト取引上ノ利害ヲ異ニスル者、是ハ如何ナルコトデアアルカ、大藏大臣ハ如何ナル人ヲ指シテ、又非難ノ的トナツテ居ル人ト仰シヤツタカ、ソレト取引關係ノ利害ヲ異ニスル者ニ非ザレバ、反對ヲセヌノデアルト云フヤウナ、曖昧ナコトヲ言ツテ居ル、是ハ誰ヲ指シテ居ル、是ハ鈴木商店ヲ指シテ居ルノカ、或ハ誰ヲ指シテ居ルノカ、誰ガ此のトナツテ居ル人デアアルカ、非難ノ的トハ誰ヲ指シテ居ルノデアアルカ、斯ウ云フ抽象的ノ言葉ヲ使テ、サウシテ議會ヲ瞞著セントスルヤウナ言辭ハ、國務大臣トシテ甚ダ慎ムベキ事デアラウト思フノデアリマス、(拍手) 殊ニ最後ノ殊更惡聲ヲ放ツ者ガアルラシイ、殊更惡聲トハ何タル事デアアルカ、惡聲トハ如何ナル事デアアルカ、正シカラザルモノ、分ラヌモノヲ分ラヌト云ツテ實スコトガ、何カ惡聲デアアルカ、正シイ言葉デアアル、惡聲デハナイ、正義デアアル、正シキ響デアアル、其正シキ響ニ向ツテ、惡聲ヲ放ツナドト云ツテ、如何ニモ何カ衆議院デ反對致シタル者ガ、之ニ殊更關係ガアル者デアアルガ如ク、言ヲ枉ゲントスル大藏大臣ノ陋劣ナル心事ヲ疑フ者デアリマス(拍手) 若シ大藏

大臣ニ於テ、是ガ陋劣デナイト仰シヤルナラバ、此案ハ斯ク々々デ、何某ガ發行シテ、ドウ云フ裏書デ、斯ウ云フ手形デアアルカラ、正シイ案デアアルト明答サレタナラバ、ソレデ吾々ハ満足スルノデアリマス、之ヲ以テ私ハ議事進行ニ大ナル關係ガアルト思フデ、御質問シタノデアリマス（拍手）

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣（片岡直溫君） 只今森田君ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、森田君ハ馬場鎮一君ノ質問ニ對シテ斯様ニ答ヘタト仰セラレマシタガ、私ハ一向サウ云フ覺エハアリマセヌガ、能ク速記録ヲ見テ見マセウ、サウ云フヤウナ事ガ一向アラウヤウニ思ヒマセヌケレドモ、今調ベマシタ上デ御答シマセウ

○森田金藏君 今大藏大臣ハ……

〔「登壇々々」ト呼ヒ其他發言者多シ〕

○議長（粕谷義三君） 靜肅ニ願ヒマス

〔「登壇々々」ト呼ヒ其他發言者多シ〕

〔森田金藏君登壇〕

○議長（粕谷義三君） 森田君ハ只今大藏大臣ノ御答辯ニ關シテ、更ニ質疑ヲシタイト云フノデアリマス、ソレハ私ノ考ト致シマシテハ、此場合質疑ヲ相當ト認メルノデアリマス、森田君ノ發言ヲ許シマス

〔「議長ハ何故發言ヲ許シタ」ト呼ヒ其他發言者多シ〕

○森田金藏君 今議長ハ私ニ質問ヲ許サレマシタ、私ハ當然大藏大臣ニ質問ヲ致シマス（議事ノ進行デナイト呼フ者アリ）議事進行ニ付テ開イテ居ルノデアリマス、今大藏大臣ハ私ニ對シテ御答ニナッタノデアリマス、昨日馬場君ニ對シテ斯ノ如ク答ヘマシタコトハナイト仰セデアリマシタガ、午前中ノ會議ニ於テ、明ニ貴方ハ斯ウ云フ答辯ヲ爲サデ居ル、ソレハ書記官長ガ新聞社ニ發表シタモノデアリマスカラ、若シシレガ間違ト云フナラバ、内閣内ニ於テ即チ

統一ヲ缺クコトニナリマスカラ、十分御調ニナッテ明答ヲ賜リタイノデアリマス

○議長（粕谷義三君） 更ニ議事進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス、東武君

〔東武君登壇〕

○東武君 我ハ只今森田金藏君ノ質問デアリマシタガ、之ニ對シテ——議事進行デアリマシタガ、大藏大臣ハ當然之ニ對シテ説明ヲスル必要ガアルト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ速記録ヲ見ナケレバ説明ガ出來ナイト云フ御説デアリマスルガ、是ハ私ハ我が立法府ノ權威ノ上ニ於テ、諸君ト共ニ非常ニ是ハ重大ナ事デアルト考ヘテ居リマス、衆議院ニ於キマシテハ、衆議院ハ國民ノ代表者デアッテ、サウシテ所謂金銭法案ト云フモノニ對シテハ、衆議院ガ國民ニ對シテ責任ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ルニ此衆議院ニ於テ、最も重大ナル數字ニ關係シタル問題ニ對シテ、衆議院ノ本會議、若クハ委員會ニ於テ、少シモ説明ヲセザルコトヲ、貴族院ニ於テハ之ヲ説明致シタト云フコトハ、是ハ如何ナル事デアリマセウ、我が貴族院ト衆議院トハ憲法政治ノ上ニ於テハ、平等ノ權利ノアルコトハ勿論デアリマスルガ、特ニ衆議院ハ國民ニ第一ノ責任ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ルニ此二億七百萬圓ノ金ノ行途モ分ラズ、或ハ手形ノ振出人モ分ラズ、震災手形ノ所持銀行モ分ラズ、之ヲ一々説明ヲセヨト云フニ對シテ、總テ財界動亂ニ名ヲ藉リテ、少シモ其内容ニ觸レナカッタト云フコトハ、今日マデノ事實デアリノデアリマス、然ルニ貴族院ノ委員會ニ於キマシテハ、之ニ對シテ秘密會ヲ或ル議員ガ要求致シマシタ所ガ、片岡大藏大臣ハ斯様ナコトヲ言フテ居ル、衆議院ニ於テ秘密會ニ於テモ是ハ説明ヲシナカッタノデアアルカラ、貴族院デモ是ハ申上ゲルコトハ困難デアル、斯様ニ言フテ居ル、所ガ又或ル議員ガ併シソレデハ此内容ノ説明ガ出來ナカ

タナラバ、吾々ガ之ヲ審議ヲ進メルコトハ出來ナイト云フコトヲ言フテ、更ニ何カノ形式ニ於テ此内容ヲ説明ヲスル必要ガ當然デアルト考ヘルガト云フ質問ニ對シテ、大藏大臣ハ衆議院ニ於テハ是ハ簡拔ケデアアル、秘密會ヲ開イテモ是ハ簡拔ケニナルノデアアルガ、貴族院ニ於テハ相當ノ處置ヲ執リタイト今考ヘテ居ルノデアルト云フコトヲ申シテ居ル、衆議院ニ於テ秘密會ヲ簡拔ケニナルト云フコトヲ恐レルナラバ、貴族院ニ於テ秘密會ヲ開イテモ、貴族院ハ簡拔ケニナラヌト云フヤウナコトヲ御考ニナッテ居ルノデアアルカ、ドウデアリマセウカ、甚ダ不可解千萬デアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテソレガ進ミマシテ愈々懇談會ノ幕ニ入りマシタ所ガ、之ニ對シテ大藏大臣ハ財界動亂ニ名ヲ藉リテ、之ヲ一度言ヘバ國家ノ財界ハ直ニ破滅スルガ如キ口吻ヲ衆議院ニ漏シタニ拘ラズ、此内容ヲ説明致シテ、現ニ鈴木商店ノ如キハ幾ラノ手形ガアルカト云フコトニ對シテ、此説明ハ大正九年ノ七月マデニハ八千萬圓アツタ、是ハ震災前ノ手形デアアル、即チ財界動亂ノ大正九年前ノ、反動期ヲ受ケタ所ノ此財界ノ波瀾ニ因ッテ、鈴木商店ハ大正九年七月ニ八千萬圓アツタノデアアル、是ハ震災前ノ分デアルト云フコトハ、諸君御承知ノ通りデアアル、而シテ又大正十二年ノ十二月ニハ九千二百萬圓鈴木商店ガ臺灣銀行ニ依ッテ手形ノ借出シガアルト云フコトヲ説明ヲシテ居ル、更ニ大正十五年十二月ニハ二億八千萬圓アルト云フコトヲ居ルガ、是ハ懇談會デナクシテ別ノ場合ニ於テ大藏大臣ハ之ヲ委員ニ説明ヲ致シテ居ル、大正十五年ノ十二月マデニ鈴木商店ガ積リ積ッテ二億八千萬圓ニナッタノデアアル、而シテ現在ハドウデアアルカト云ヘバ、此中ニ於テ九千二百萬圓ハ、所謂震災手形ノ「スタンブ」ヲシタ手形ガ是ダケ殘タト云ウテ、是ダケ説明シテ

居ル、斯様ナ説明ヲ貴族院ニ於テ現ニ致シテ居ルト云フコトハ、衆議院ニ於テ財界動亂ニ名ヲ藉リテ、一言半句モ此説明ヲシナカッタモノヲ、貴族院ニ説明ヲ致シタト云フコトハ、何タル事デアリマセウカ（拍手）之ヲ以テ吾々ハ實ニ此案ノ不純ナルモノデアリ、又震災其モノニ名ヲ藉リテ、或ル政黨ヲ救済スル案デアルト云フコトヲ、吾々ガ絶叫シタト云フノハ、偶、斯ウ云フ所ニ在ルノデアアル、大藏大臣ガ之ニ對シテ衆議院ト貴族院トニ於テハ何等ノ差別ヲ致シテ居ラス、差別待遇ヲ致シテ居ラスト云フヤウナ御考デアアルカ、是ハ實ニ天下ノ輿論ガ明ニナッテ居ルノデアリマス、左様ナ事ヲ知ラス、言ハヌ、速記録ヲ見ナケレバドンナ事ヲ言ウタカ分ラヌト云フコトデ白ワ切ルト云フノハ、言語道斷デアルト私ハ考ヘテ居ル、而シテ又此震災手形二億七百萬圓ノ此處理法ノ案ニ對シテ、此案ヲ一度議會ニ提出スルヤ天下紛々嚮々ノ聲ガアッテ、反對ノ聲ガ聳スシイト言フテ居ルガ、之ニ對シマシテ森田君ノ言ツタ如ク、此惡聲ヲ放ツ者ハ日本銀行ヘ手形ヲ持ッテ行ッテ拒絶ヲサレタ者デアアル、第二ニハ鈴木商店ト利害相反スル者ガ偶、斯様ナ事ヲ天下ニ惡宣傳ヲスルナドト云フコトヲ言フテ居ルガ、私ハ是ハ大藏大臣ガ一ツノ錯覺ニ罹ッテ居ルノデハナイコト考ヘルノデアリマス、六千萬國民ハ殆ド此惡法案ハ何人モ信任ヲ拂ッテ居ラス、又片岡大藏大臣ノ説明ニ對シテ吾々ハ今日マデ出鱈目ノ、衆議院或ハ立法府ヲ無視シタル言動デアルト云フコトヲ吾々ハ言ウテ居ルノデアアルガ、此六千萬國民、天下ノ輿論ハ悉ク此惡法案ニ反對シテ居ルノデアアル、然ルニ日本銀行ニ對シテ割引ヲ拒絶サレタル者、或ハ鈴木商店ト利害相反スル者ガ斯様ナ惡宣傳ヲスルト云フヤウナコトハ、是ハ實ニ一國ノ大藏大臣トシテ、ソレハ色盲任ト言ヒマセウカ、或ハ錯覺ト言ヒ

マセウカ、自己催眠ト言ヒマセウカ、實ニ吾々ハ大藏大臣ノ其頭腦ヲ、精神狀態ヲ寧ロ疑ハナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)私ハ斯様ナ意味ニ於テ、此惡法案ニ對シテ貴族院ト衆議院ニ於テ差別待遇ヲシ、衆議院ニ於テ何等ノ說明ヲシナイモノヲ、貴族院ニ於テ此說明ヲシテ、財界ノ動亂ニ何等ノ影響無シト御考ニナルノデアリマス、此點ニ於テ若シ御說明ガアルナラバ承リタイ、併シ議事進行デアルカラ說明ヲシナイト云フノナラバ、ソレハ私ハ說明ヲ強テ要求致シマセヌ、此意味ニ於テ私ハ議事進行ニ付テ是ダケノコトヲ申上デテ置ク次第デアリマス

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今東武君ノ御質問ニ御答ヲ申上デマス、只今此處東武君ガ貴族院ノ委員會ニ於テ斯ク々々述べタト仰セラレタコトハ、ソレハ全ク無イ事デアリマス、先刻森田君ノ御質疑ノ中ニハ、私ハ覺エガ無イカラ速記録ヲ讀ンデ見テ、其上デ御答ヲシマセウト申シマシタ、私ハ言ツタヤウニ思ヒマセヌ、併ナガラ速記録ニアレバ是ハ議會ノ速記録ガ本當デアリマスカラ、之ニ依テ相當ノ說明ヲ致シマス、併シ今鈴木商店ガ何千万圓トカ、後ニハ何千万圓トカ云フ此數字ヲ御述ニナリマシタガ、左様ナ鈴木商店ニ關スルヤウナ說明ヲ致シマシタ覺エハアリマセヌ、ソレカラ又衆議院ニ於テ說明ノ出來ナイ事柄ハ、其說明ヲ致サナイト云フ理由ガアルノデアリマス、即チ財界ニ影響ヲ惹起スト云フ事柄デアリマス、然ラバ貴族院ニ於テモ同様デアリマス、何等ノ玆ニ差別ハアリマセヌ、衆議院デ言ハナイ事ヲ貴族院デ言フタト仰セラレマスガ、ソレハドノ點ヲ押ヘテ仰セラレカ、私ハ最初ヨリ財界ノ安定ヲ圖ルベク期待シテ居リマスルカラ、財界ヲ擾亂スルヤウナ事ハ、衆議院デモ貴族院デモ申

サヌノデアリマス(拍手)併ナガラ當座ニ於テモ申上デタ如ク、此問題ハ其方カラ說明ヲシナクトモ、自ラ諒解ノ行クヤウニ努メルコトハ當然デアルト申上デタ、即チ衆議院ニ於テモ相當努メタ積リデアリマスガ、諸君ガ御諒解ニナラナカタ、他ノ多數ノ人ハ能ク諒解ニナラナデアル(拍手)貴族院ニ於テモ同様ニ努メテ居リマス、十分諒解ノアルヤウニ努メテ居リマス、又東君ハ全體ヲ通ジテ非常ニ評判ノ惡イ、非難ノ多イ案ダト仰セラレマスガ、是ハ經濟界ノ實情ニ通ジテ居テ、別段行掛リノナイ者ハ悉ク賛成ヲ表スルモノデアリマス(拍手)而シテ今日現在ニ於テ、多少ノ非難ガアリトシテモ、後日必ズ是ハ氷解スル問題デアリマス、而シテ此處分ノ結果ハ必ズ會計検査院ニモ出ナケレバナラズ、議院ニモ報告サレル事柄デアリマシテ何等玆ニ私スルコトヲ許スモノデアリマセヌ(拍手)即チ衆議院ト貴族院トニ差別的ノ事ヲ考ヘテ居ラナイト云フコトヲ、玆ニ明ニ申上デテ置クノデアリマス

○東武君 議長……

○議長(粕谷義三君) 東君、何デスカ

○東武君 只今ノ御答辯ニ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 許シマス

〔東武君登壇〕

○東武君 私ハ……(發言スル者多シ)大臣ノ說明ガアリマシタカラ、ソレニ對シテ質問ヲ致スノデアリマス、貴族院ニ於テ大藏大臣ハ左様ナ財界ノ動亂ニナレルヤウナ事ハ、一切觸レテ居ナイト云フコトノ御話デアリマシタガ、是ハ德義上ノ問題デアリマス、德義上ノ問題デアリマスガ、說明ヲ致シタト云フコトハ事實デアリマス、私ハ直接某々委員カラ聴イタガ、特ニ大藏大臣ハ懇談會ニ對シテハ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 諸君、靜肅ニ願ヒマス

○東武君(續) 是ハ秘密ニシナケレバナラヌト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアル、嚴ニ秘密ヲ守ッテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ、仰セニナクナデアリマスルガ、斯様ナ……(發言スル者多シ)是ハ速記録ニ在ル事實ヲ申上ゲルノデス、……(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○東武君(續) 某銀行ヲ救フガ爲メデヤナイカ、某々ト指サレタ所ノ銀行ニ對シテモ、政府ハ既ニ昨年來手ヲ著ケタノデアリマス、即チ減資モヤレバ、積立金モ壞シ其中ニ持ッテ居ル震災手形ノ如キモノニ對シテモ、ソレ等ニ對シテハ將來日本銀行ハ其手形ニ對シテ、多クノ利子ヲ納メルナント云フコトヲセズニ、相當ノ處理ガ附テ居リマス、ソレデ今日ノ所ニ於テハ、世人ガ是ガ主眼ダラウト看做シテ居ル所ハ、的ヲ外レテ居ル、私ノ考ハ其處ニハナイ、是ハ何カ機會ガアリマシタラ、或ル程度マデ申上ゲテ見タイト思ヒマス、ドウモ今御尋ニナッタ所ノモノハ、事實モ違ッテ居リマス、ソレカラ記載ノ記事モ間違ッテ居リマス、是ハ大藏大臣ガ或ル場所ニ於テ、適當ナ機會ガアッタナラバ、懇談會ヲ自分カラ進ンデ要求シタイト思ヒマス、斯ウ言ッテ居ル、ソレカラシテソレニ對シ、又國務大臣ノ片岡直溫君ガ、私ハ秘密會ヲ拒否スル譯デアリマセヌガ、實ハ衆議院デモ秘密會デ御話ヲセヌカト云フ御要求ガアリマシタ……

〔發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○東武君(續) 別ニ衆議院ヲ疑フ譯デモ何デモアリマセヌガ、彼處ノ秘密會ハ筒拔ケノ秘密會デアリマシテ、ドウモ宜クナイト存ジマシテ、秘密會ヲ開カズ、出來ルダケノ話ヲスルト云フ意味合デ、秘密會ヲ開カ

ナカタノデアリマス、衆議院ハ秘密會ハ筒拔ケデアルガ、貴族院デハ懇談會ヲ要求シテ、懇談會ナラ或ル程度マデ申上ゲルト云ッテ居ルデハナイカ(拍手)是ダケ明瞭デアル、衆議院デハ言ハナイ、衆議院ハ筒拔ケデアルカラ言フコトハ出來ナイガ、貴族院ナラ懇談會ヲ要求シテ說明ヲスルト、明ニ言ッテ居ルデハナイカ(拍手)

〔發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○東武君(續) 秘密會ニ於テ言ハナイ、ソナ說明ハ懇談會ニ於テモシナイ、サウ云フ白ヒシコトヲ貴方ガ此處ニ於テ仰セニナツテモ、ソレハ何人モ信用致シマセヌ、サウシテ貴族院ニ於テハ某々銀行ノコト、或ハ某々商店ノコトニ付テハ、私ガ先程申上ゲタ事實ヲ、貴方ハ悉ク說明シテ居ルデアリマセスカ(拍手)是ガ衆議院ト貴族院ニ於テ、其說明ノ内容ニ於テ、全ク矛盾ヲシ、撞著ガアルノミナラズ、衆議院ニ對シテ大ナル侮辱ヲ致シテ居ルト吾々ハ考ヘルノデアリマス(拍手)此點ニ於テ貴方ハ貴族院ニ於テモ說明致シテ居ラヌト言ヒマスルケレドモ、吾々ニ對シテ左様ナコトヲ言フト云フコトハ、如何ニシテモ貴方ハ良心ニ於テ恥ゾル所ガナイノカト、私ハ考ヘル次第デアリマス

〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ日程ニ入リマス、井本常作君

○井本常作君 日程變更ノ動議ヲ提出致シマス……

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス——

靜肅ニ願ヒマス、只今井本君ヨリ發言ヲ求メラレテ、之ヲ許シテ居リマス、井本君重ネテ御說明ヲ願ヒマス

○井本常作君 日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、即チ日程第十一、政府提出ノ徵兵令改正法案ヲ繰上ゲ、直ニ議題ニ上シ、其

審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 諸君、靜肅ニ願ヒマス、只今ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜ニ願ヒマス——靜肅ニ願ヒマス、井本君ヨリ日程變更ノ動議ヲ提出セラレテ居リマス、之ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程變更ニ決シマシタ

〔異議アリ〕「異議アリ」議長「ト呼ヒ其他發言者多シ」

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス、議長ハ既ニ日程變更ノ宣告ヲ致シマシタ(拍手)日程第十一、徵兵令改正法律案ノ議事ニ入リマス、委員長八木逸郎君

第十一、徵兵令改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一徵兵令改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和二年三月十一日

委員長 八木 逸郎

衆議院議長粕谷義三殿

附帶決議

政府ハ昭和三年度ニ於テ青年訓練所費ニ對シ國庫補助金ヲ増額シ訓練施設ノ改善ト市町村負擔ノ輕減トヲ圖ラレムコトヲ望ム

右決議ス

〔八木逸郎君登壇〕

〔發言者多ク議場騷然〕

○田淵豐吉君 議長、議長、議事進行ニ付テ……

○議長(粕谷義三君) 一寸御待チ下サイ——此場合諸君ニ一言致シマス、只今東君ノ議事進行ニ關シテ重ネテ御發言ニ對シマシテ、大藏大臣ガ發言ヲ求メラレタサウデアリマスルガ、議長ハ之ニ氣付カナカッタノデアリマス、偶、其場合ニ井本君ヨリ日程變更ノ緊急動議ガ提出セラレマシテ、之ニ對シテ成規ノ賛成アリト認メマシタカラハ先決問題デアリマス故ニ、議長ハ直ニ之ヲ採決ヲ致シタノデアリマス、而シテ此採決ハ多數ノ賛成ガアリマシタ、ソレ故ニ此日程變更ノ動議ハ可決サレタコトヲ私ハ宣告ヲ致シタノデアリマス、偶、其際ニ異議ノ申立ガアタヤウデアリマスガ、併ナガラ議長ノ考カラ致シマスルト云フト、既ニ井本君ノ日程變更ノ動議採決後デアッタヤウニ思ヒマス、更ニ又大藏大臣ガ發言ヲ求メラレタコト云フトデアリマスルケレドモ、其再度ノ發言ノ要求モ議長ハ之ハ氣付カナカッタノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、若モ大藏大臣ガ重ネテ之ニ對シテ發言ヲ求メラレヤウデアリマシタナラバ、何時デモ出來ルト云フトデアリマスケレドモ、議長ト致シマシテハ、此只今上程セラレマシタ日程ヲ終タ後ニ願ヒタイト思フノデアリマス、左様ニ御諒承ヲ請ヒマス

○八木逸郎君 徵兵令改正法律案、即チ兵役法案ニ付テノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ申上ゲマス、申スマデモナク此法律ハ、日本國民ノ男子ガ總テ其義務ニ服役シナケレバナラヌ大義デアリマシテ、明治二十二年ニ徵兵令ノ大改正ガアリ、又其後ニ於テモ部分的ノ改正ガアリマシタガ、内外ノ事情ナリ、又學校ノ教練若クハ青年訓練ノ施設ヲシナケレバナラヌト云フ必要ニ迫ラレテ政府ハ今度ハ之ヲ法律トシテ提出サレタノデアリマス、委員會ヲ開クト六回、而シ

テ委員會ノ諸君モ非常ニ御勉強ニナリマシテ、大多數御出席デ、毎日何時間ト云フ永ラクノ間十分質問應答ガアッテ、其結果原案ヲ附帶決議ト共ニ賛成ニ相成ッタノデアリマスルガ、此中數項質問ニ對スル肝要ナ答辯ニ對シテ、御紹介ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、第一ニハ第十條ニ於キマシテ、師範學校ノ卒業生ハ五箇月兵役ニ従事スル、併ナガラ師範學校ノ教科タル教練ニ不十分デアッタ場合ニハ、尙ホ二箇月延長シテ兵役ニ従事セシムルト云フトガ書イテアルノデアリマス、此點ニ對シテ師範學校ハ唯、隨意科デナクテ、必修科トシテ課シテ居ルノデアリ、面シテ此課シテ居ルモノモ、卒業ノ點數ヲ取ッテ卒業シテ居ルモノニ、此卒業生ニ對シテ差別待遇ヲスルノハイケナイカラト云フト、二箇月延長スルト云フトコトハ甚ダ不都合デナイカ、ノミナラズ此兵役ニ従事シタ場合ニ於テハ、町村ハ此教員ノ俸給ヲ支出シテ、一日モ早ク兵營カラ歸ラシコトヲ望ムデ居ルノニ、尙ホ二箇月延長サレルト云フトコトハ、町村ニ取ッテモ苦痛デアアル、斯様ナ意味合ノ質問ガアッタノデアリマス、御斷リヲシテ置キマスガ、マダ速記録ガ出來マセヌカラ、悉ク私ノ言葉ガ其通りデアルカナイカ分リマセヌガ、意味ハ左様デアッタノデアリマス、其場合ニ於テ文部大臣ハ、必修科デアアルケレドモ、此科ノミデナイ、全體ノ點數デ卒業ヲサセルノデアアルカラ、遺憾ナガラ不十分ノ者モ無イデアハナイ、此場合ニ於テ陸軍ハ兵役ノ完全ナル教練ノ前ニ不十分デアラナラバ、二箇月延長サレルト云フトモ已ムヲ得ナイ、而シテ其實ハ八千何百名ノ卒業生ニ對シテ、今日マデノ實績ハ左様ナ者ハ四十人内外デアアルノデアアル、斯ウ云フ答辯デアリマシテ、而シテ之ニ對スル陸軍大臣ノ答辯ハ斯様ナ答辯ヲサレタノデアリマス、「合否ヲ檢定シ是ガ決定ヲ配屬將校ニ於テ爲ス

コトハ、之ヲ變ズルコト能ハザルモ、從來稀ニ配屬將校ガ校長ノ統制ニ支障ヲ生ゼシメンコトヲ、仄聞シタルヲ以テ、當局ニ於テハ十分注意ヲ加ヘツ、アリシモ、將來ニ於テハ是ガ監督ヲ一層嚴ナラシメ、遺憾ナキヲ期スベシ」斯ウ云フ答ヲサレタノデアリマス、更ニ一條ニ於テ、青年訓練ヲ經タル者ハ六箇月現役ヲ短縮スルト云フトコトニナッテ居リマス、而シテ十四條ニ向ッテハ其他ノ青年訓練ヲ經ザル者モ、青年訓練ヲ經タル者モ一樣ニ現役兵ニシテ在營中左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ在營期間ハ之ヲ短縮スルコトヲ得、一、品行方正學術勤務ノ成績優秀ナル者、二、定員ニ對シ過剩ト爲リタル者」此實際ノ應用ニ付テ頗ル不統一ナルコトヲ行ヒハシマイカト云フ質問ニ對シテハ、即チ言葉ヲ換ヘテ見レバ、青年訓練ヲ經テ來タト云フダケデ、六箇月ノ短縮ヲシテ、此訓練ヲ經ナイカラト云フ非常ニ成績ノ良イ者ヲ其恩典ニ浴セシムルコトヲ避ケル傾ガアル、是ハ甚ダ不公平デアリハセヌカト云フト問ニ對シマシテハ、斯様ニ答ヘラレタノデアリマス「第十四條第十一條トノ關係ニ付テ、青年訓練ヲ受ケ得ザル者ト雖モ、入營後其成績優良ニシテ、第十一條ノ規定ニ該當スル者ト同等若クハ夫レ以上ノ成績ト爲リタル者ハ、第十四條第一號ニ包含スルノ意ナルコトハ屢、言明セシ所ナリ、然レドモ本法案ハ舊法文ニモ存在スルガ故ニ、其取扱ニ於テ舊法ノ取扱ト同様ナリトノ誤解ヲ生ズルガ如キコトナキヤウ本法案執行ノ爲メ特ニ規定ヲ設クルカ、或ハ特別ノ指示ヲ與ヘテ右ノ趣旨ガ十分徹底スル如ク措置ヲ爲ス考ヘナリ」斯ウ云フトコトヲ言明シテ、此質問者モ満足ヲサレタノデアリマス、更ニ又教育訓練ノ爲ニ町村ニ於テ非常ニ費用ガ増額シテ居ル、例ヘバ昨年ノ七月、青年訓練ヲ實施サレテ以來、費用ハ五百二十三萬餘圓費シテ居ル、而シテ

レニ對シテ文部省ハ百萬圓、國庫カラ支出シテ居ルノデア、即チ四百二十三萬圓ガ約半年ノ町村ノ負擔ニナリテ居ル、町村ノ苦痛ハ知ルベシデア、之ヲ一年ニスレバ約八百萬圓以上ニナルノデア、之ニ對シテハ實際云ハ國庫カラ強制ハシテ居ラヌケレドモ、國民ノ兵力ノ能率ヲ舉ゲルト云フ目的カラ施設シタルデア、カヲシテ、其意味カラ云ヘバ、國庫支辨ニシテモ宜イ筈デア、併シ左様ナコトハ申サヌガ次年度ニ於テ尙ホ多クノ補助ヲスル考ガナイカト云フコトニ付テノ意見ヲ、文部大臣ニ問ハレマシタ所ガ、文部大臣ハ其事ハ十分知リテ居ルカラ、次年度ニハ増額スルコトニ努メル、斯ウ云フ言明ガアリ、又大藏省ノ政府委員ハ、此事ハ疾クニ知リテ居ルカラシテ、次年度ニ於テ相應増額スル考デアルト云フコトヲ述ベラレタノデアリマス、此質問應答ト、其他ニモアリマシタガ、非常ニ御勉強ニナリテ、大變永ラクノ質問應答デアリマスカラ、其他ハ略シマスガ、全部滿場一致贊成ヲ致シマスルト同時ニ、希望條件ヲ附シテ之ヲ附帶決議ト致シタノデアリマス、其附帶決議ノ案ハ斯様デアリマス、「政府ハ昭和三年度ニ於テ青年訓練所費國庫補助金ヲ増額シ訓練施設ノ改善ト市町村負擔ノ輕減トヲ圖ラレムコトヲ望ム、右決議ス」斯ウ云フ附帶決議ヲ致シマシテ滿場贊成ヲ致シタノデアリマス何卒滿場一致御可決アラント希望致シマス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテハ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、蟻川五郎君

〔蟻川五郎君登壇〕

如キ法案ニ付キマシテハ、本議場ニ於キマシテ十分ニ審議セラレマシテ、之ヲ御定メニナリマスコトハ固ヨリ當然ナ事デアルト深ク信ズルノデゴザイマス、是ニ於キマシテ、尙ホ委員長ニツ御尋ヲ申シタイト思フノデアリマス、即チ本員ガ委員長ニ御尋ヲ致シタイ點ハ、此青年訓練所云フモノニ國庫ガ補助金額ヲ増加致シマシタナラバ、果シテ此青年訓練所受テタ者ト、受テナイ者トニ於テ此兩者ノ間ニ由テ生ズル所ノ兵役義務ノ年限、在營年限ノ長短ニ由テ起ル所ノ此不公平ガ、額ヲ増加致シマシタナラバ、之ヲ以テ全部取去ルコトガ出來ルカドウカ、是ガ御伺ヲ致シタイ一ツデアリマス、其次ニ御伺ヲ致シタイコトハ、此徵兵令ヲ定メルト云フコトハ、徵兵義務ノ負擔ヲ律スル所ノ基礎ニナルモノデゴザイマスルカラ、是ハ此法律ニ於テ當然定ムルガ然ルベキモノト思フノデアリマス、其點ニ付キマシテ如何ナル討議ガ行ハ、マシタカ、之ヲ委員長ニ御尋ヲ致シタイ、是ガ御尋ヲ致シタイ第二デアルノデアリマス、第三ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマスルコトハ、此現役兵ヲ取リマスルニ付キマシテ、苟モ體格其他ニ於テ是ガ現役ニ適スルモノト云フ者デゴザイマシタナラバ、其全部ヲ徵集スベキモノ、一ツノ「クラス」ニシテ、其中ヨリ籤ヲ抽クト云フコトハ勿論當然デアルト思ハレルノデゴザイマスルガ、此點ニ於キマシテ如何ナル審議ガ盡サレマシタカ、是ガ御伺ヲ致シタイ第三點デアルノデゴザイマス、之ヲ御伺致シマシタ後ニ、場合ニ依リマシテハ更ニ御伺ヲ致ス考デアルノデゴザイマス、ドウカ一ツ此事ハ重要ナル關係ヲ持ツト思ヒマスルニ依リテ、御丁寧ニ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

〔八木逸郎君登壇〕

○八木逸郎君 昨ハ今日初メ蟻川君カラ政府委員タル任命ヲ受テヤウナ心持ガ致シマス、併ナガラ其中ニ斯ウ云フ討議ガ行ハレタカ、ナカタクコト云フコトニ向テハ、私ハ御答ヲシナケレバナラヌノデアリマスルガ、金ヲ出シテ青年訓練所十分ニスル、而シテ青年訓練所ヲシナイ者トノ間ニ兵役ノ年限ヲ異ニシテ、不公平ガ起ラズニ明ニ行ツカ、行カヌカト云フ御質問ニ對シテハ、私ハ私ノ意見ヲ持テ居リマスケレドモ、是ハ陸軍大臣ニ御問下サル方ガ宜カラウト思ヒマス、第二ニハ委員會ニ討議ガ有ツカ無カツカト云ヘバ、蟻川君ガ御問ニナツタノ箇條ハ討議サレタノデアリマス、併ナガラ大部分ハ速記ヲ止メテ吳レト云ウテ御相談ニナツタノデアリマス、ソレヲ此處ヘ表向ニ出シテ、自ら速記ヲ御止ニナツテ御話ニナツコトヲ、此處デ報告スルノ義務ヲ持タヌト私ハ思フ、寧ろ之ヲ報告スルコト云フコトガ委員長ノ資格ヲ缺クコトニ相成ルト思ヒマスカラ、是デ止メテ置キマス

〔發言者多シ〕

〔蟻川五郎君登壇〕

○蟻川五郎君 御氣ニ障ル點モゴザイマセウケレドモ、本員ハ是ハ議員ノ職分ト致シマシテ、斯ノ如キ事ハ十分ニ審議ヲ致シタト云フコトヲ國民ニ報ズルト云フコトハ、是ガ議員御一同ノ責任デアルト思ヒマスル、ドウカ惡カラズ御諒承ヲ願ヒタイ、本員ハ斯様ニ思ヒマスル、凡ソ法律ナルモノハ能ク時勢ヲ推移ヲ達觀シテ、少クモ時勢ニ少シジツデモ先ダツ所ノ法ヲ定メルト云フコトハ、固ヨリ必要デアルト思ヒマスル、而シテ今日ノ世情ガ移リテ居リマス所ノ人情推移ノ狀態ハ、諸君ノ能ク御承知アル所デアリマスル、私ハ若シ忌憚ナク言フコトヲ得マシタナラバ、普選實施後ニ於キマシテ此衆議院ノ議場ニ於テ質問ノ最も難局ニ當ラル、者ハ陸軍大臣、次デ海軍大臣デアルト云フコトヲ今豫言シテ置クニ憚ラヌ者デアリマス、私ハ政府ガ青年訓練ニ國庫補助額ヲ増加シテ、之ヲ以テ果シテ能ク其目的ヲ達スルカ、ドウカト云フコトニ付テハ、マダ少シドウモ胸ニ解ケナイ所ガアルト云フノデゴザイマス、聊カ之ニ付テ自分ノ所見ヲ申上グルコトガ出來マスナラバ、縱令青年訓練ニ國庫ガ補助額ヲ増加致シマシテモ、青年者全部ニ此青年訓練ガ及ブト云フコトハ、到底期セラレナイト私ハ深ク信ジテ居リマス、然ル時ニ茲ニ此増額ヲ致シタデゴザイマシテ、ソレデ一方ハ青年訓練ヲ受テタガ爲ニ在營一年六箇月デ歸ル、其他ノ者ハ一年十箇月ニナルト云フ、此兩者ノ差別アル所ヨリ生ズル所ノ不平等ト、由テ生ズル所ノ不公平ノ觀念、義務ノ遂行ニ、義務ノ負擔ノ上ニ、不均衡ヲ起スト云フ點ハ果シテ是デ取切レマセウカ、私ハ是ハ聊カ疑問ニ思フテ居リマスカラ、此案ヲ御議シニナル上ニ付テハ、能ク十分此御考ヲ願ヒタイト云フノハ此ニ在リマス、即チ此兩者ノ間ニ差別ヲ生ズル、此差別ナルモノハ差別待遇ヨリ由テ生ズル所ノ人心ノ惡化ヲ招來致シマス、今日一般ニ於キマシテ、有ユル差別ヲ撤廢セントシテ居ル此世ノ中ニ於テ、若シ是ガ差別ヲ助長スルモノデアリマシタナラバ、之ヲ懸念致シマセズシテ何ヲ懸念致シマスル、勿體ナクモ勅諭ニ於キマシテ兵全部ニ對シマシテ、「朕ハ汝等ノ頭首ニシテ汝等ハ朕ノ股肱ナリ」ト云フ意味ヲ仰セニナツテ居ルノデアリマス、此御信任ヲ得テ居リマスル所ノ兵卒ノ間ニ、若シ取扱上ノ不公平ト云フコトガ起リ、之ニ由テ不公平ガ起リマシタナラバ、之ヲ如何ニ致シマスカ、私ハ此點ヲ熟シ憂ヘルノデアリマスルカラ、御互皆様ニ御尋ヲ致シタイト思フ次第デアルノデアリマス、是ガ此補助額増額ニ依テ取リ得マセウカドウカ、之ヲ聊カ疑問ニ思ヒマスル點カラ、委員長ニ御尋ヲ致シタ次第デアリマス、ソレカラシテ其次ニ、徵兵區ノコトニ付キマシテモゴ

ザイマスルガ、是ハ私ハ先日モ申シマシタガ、斯ノ如キ大法案ニ於キマシテ、ドウシテモ是ダケノ區域ヨリ此徵兵ヲ取ルノデアルト云フコトハ、法文ノ上ニ當然定マルベキモノデアルト思フノデアアル、然ルニ之ヲ勅令ニ依ルト致シテ居リマスルガ、是ハ法文ガ厚クナルカラト云フコトヲ、陸軍當局カラ話サレマシタガ、縱令法文ハ厚クナラウトモ、厚イ薄イハ問題デナイ、法トシテハ法ノ形ヲ十分ニ備ヘ、盡スベキ所ヲ十分ニ盡シテアルコソ法デハゴザイマセヌカ、此徵兵令ナルモノ、名ガ變テ兵役法ナルモノガ、斯ウヤレバ厚クナルカラト云フガ如キコトハ、是ハ問題デアアルマイト思フ、即チ私ハ左様ナコトニハ洵ニ通ジテ居リマセヌカレドモ、刑法ノ如キ、商法ノ如キ、民法ノ如キ、其他税ニ關スルモノ、如キ、實ニ一部ニシテ大キナ法典ガ幾ラモアルデハゴザイマセヌカ、是ハ厚クナルト云フガ如キハ問題デナイト思フ、ソレカラシテ(反對ガ賛成力)ト呼フ者アリ)ドウゾ少シ「質問ヲ致シテ居ルノデス」(「簡單簡單」ト呼フ者アリ)ソレカラ此徵兵ヲ取リマスル範圍ニ於キマシテ、私ハドウ致シマシテモ此抽籤ト云フコトノ意義ヲ十分ニ一ツ活カス爲ニハ、苟モ體格等位ガ軍役ニ適スル者デアル以上、總テ之ヲ一ツノ「クラス」ニ拵ヘテ、其中デ眞ニ籤ヲ抽カセタイト云フノデゴザイマス、此事ニ付キマシテハ、ツイ近頃私ガ耳ニ致シマシタコトハ、或ル軍人等ガ寄テ研究ヲ致シテ居リマスル某會ニ於テハ、是非ドウゾ將來ニ於テハ斯クアリタイト云フコトヲ進言致シテ居ルト云フコトモ耳ニ致シタノデアリマス、(「委員會デハナイ」ト呼フ者アリ)ソレカラ只今委員長カラシテ、斯ノ如キ事ハ蠟川自身ガ委員會ニ於テ聞イタコトデ、速記ヲ止メテ吳レト言フカラシテ止メタ、然ルニソレヲ今委員長ニ聞クトハドウデアアルカト云フコトガ

ゴザイマシタガ是ハドウカ諸君ガ速記録ヲ能ク御覽下サレマシタナラバ、十分ニ御分リニナルト思ヒマス、私ハ唯、或ル部分ノ、極ク少部分ノ、公言スルコトヲ彈限範圍ニ於テ僅カ三分間バカリ申シタコトヲ、是ダケハ速記ヲ止メテ戴キタイト申シタノデアリマシテ、其他ニ於テ、此趣旨ニ於テ、此大部分ノ事ニ於テ速記ヲ止メテ戴クト云フヤウナ事ヲ申シタコトハ無イノデアリマス、是ハ自己自身ノ辯明ニ屬スルコトデス、ドウカ惡カラズ御諒承ヲ願ヒタイ、此他ニモ澤山細カナ事ニ付テハ、御尋ヲ致シタイ事ガアリマスルケレドモ、皆様ノ御妨ダヲ憚リマシテ是デ打切ルコトニ致シマスルガ、ドウカ一ツ委員長、此點ニ付テ若シ重ネテ御答辯ヲ煩スコトガ出來マシタナラバ、實ニ満足スル次第デゴザイマス(答辯ノ要ナシ)ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 八木逸郎君(八木逸郎君登壇)

○八木逸郎君 今承リマシテゴザイマスガ、籤ノ話ト徵兵區ノ話デアリマスルガ、此質問應答ハアリマシタ、アリマシタガ、其アリマシタ結果ガ相談ヲ爲サレタモノデアリマスカラシテ、之ヲ紹介シナイデ宜カラウト思フ紹介致シマセヌカシタガ、其應答ノ事ヲ、此處デ紹介シテ呉レト仰シタルノデアリマス、若クハ貴方ノ御議論ニ對シテ答辯シロト仰シタルノデアリマス、カ分リマセヌカ、答辯シロト仰シタルナラバ、私ハ私ノ意見ヲ申セバ兎モ角モデスケレドモ、サウ云フコトハ私ガ議院ニ出テカラ前例ガ無イノデアリマス、ドウカ政府委員ニ御聞下サタラ宜シイ、而シテ貴方ガ今仰シタルヤウナ質問ヲ致シタカ、セヌカト仰シヤタラ、質問ヲ爲サレタト様ニ答ヘマス、ソレダケヨリ申サレマセヌカ(拍手)

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ討論ニ入りマス、三善清之君

(三善清之君登壇)

○三善清之君 諸君、私ハ野黨ト致シマシテ、此政府案ニ對シマシテ滿腔ノ協賛ヲ與フル意味ニ於テ一言致シマス、抑、現行ノ徵兵法ハ我が憲政施行以前ノモノデアリマス、今日ハ第五十二議會マデ至リマシタガ、藩閥政治、官僚政治ノ遺物ガ、今日マデ尙ホ遺テ居ルト云フコトハ甚ダ奇怪千萬デアリマス、斯様ノ意味ニ於テ私ハ第四十九議會ニ於キマシテ、之ヲ現今ノ我が人口増加ノ上カラ見テ、又社會政策ノ上カラ見テ、是非速ニ之ヲ改正スベシト云フ建議案ヲ提出致シマシテ、滿場ノ御協賛ヲ得テ遂ニ今日ニ至リマシタノデアリマス、併ナガラ軍部ニ於テハ其當時ヨリ種々考慮ヲ拂テ居ラレマシタコトハ私モ存ジテ居ル、爾來一二ノ陸相ハ此大法案ノ改正ニ著手セラレテ居タルノデアリマス、而シテ最近ニ於テ宇垣陸相ガ銳意努力セラレテ、此大法案ヲ茲ニ仕上ゲマシタコトハ、私ハ現陸相ニ對シテ多大ノ深謝ヲ致ス者デアリマス、此新法案ノ要點ヲ見マスレバ、第一ニ現在ノ在營制度ヲ海陸共ニ一年短縮サレマシタ、而シテ又高等學校或ハ大學等ニ在學中ノ者ニ對シテハ、其卒業マデ召集ヲ延期スルト云フガ如キ、又海外ニ出稼シテ居ル者ニ對シテハ十二分ノ召集延期ヲ與ヘ、殆ド免役同様ノ法文ヲ設ケラレタコトデアリマス、殊ニ又只今御議論ノアリマシタル青年訓練所ヲ出マシタ者ニ對シマシテ、一般ノ入營者ヨリ更ニ六箇月以内ノ短縮ヲ斷行セラレマシタコトニ付キマシテハ、私ハ將來大ニ斯ル青年訓練所聞ト云フモノガ出來マスルコトヲ切望シテ已マナイ者デアリマス、如何トナラバ毎々私ガ繰返シテ申シマスル通り、我が人口ハ頗ル激増ヲ致シマシテ、徵兵適齡者ハ毎年七十万人ニ達シテ居リマスガ、實際ニ於テ現役及豫備役、後備役ニ召集サレル者ハ僅ニ九万人、全壯丁ノ

一割四分ニシカ當ラヌト云フ此現狀ニ於キマシテ、八割六分ガ平時ニ在テハ一日ノ入營モシナイ、半日ノ兵式訓練モ受ケナイト云フ此不平等ナル現狀ニ於キマシテ、青年訓練所申シマスルコトハ、國防上ニ於テ、國防的思想ノ涵養ニ於テ、又堅實ナル愛國の精神ノ養成ニ於キマシテ、國策上極メテ必要ナモノデアルト感ズルノデアリマス、幸ニシテ此青年訓練所ガ次第二行ハレマシテ、我が青年ノ三分ノ二、乃至ハ二分ノ一デモ宜シイカラ、堅實ナル青年訓練所ヲ養成スルコトガ出來マシタナラバ、諸君、七千万ノ國民中ニ於テ三千万乃至五千万ノ青年訓練所ガ出來マス、洵ニ結構ナ喜バシキ事デアルト私ハ感ズルノデアリマス、斯様ナ者ニ對シテ六箇月ノ短縮ヲ與ヘタコトハ、實ニ國防上ノ見地カラ、又剛健、堅實ナル國民思想ノ上ニ於テ、切實ナル法典デアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ若シ此青年訓練ヲ以テ彼此異議ヲ挾ムコトハ、洵ニ好マシカラヌ事ト思フノデアリマス、此青年訓練所ヲ卒業致シタ者モ、矢張此兵役法ニ依リマシテ採用セラレタルノデアリマシテ、訓練ヲ受ケマシタ者モ矢張一般ノ壯丁デアリマス、實際徵兵ニ採用サレル者ハ、矢張一割四分ニシカ當ラナイノデアリマス、サウシマス、其青年訓練ヲ受ケタ大部分ハ、第二國民軍ニ編入サレルノデアリマス、此第二國民軍ニ編入サレル我が青年ニ、青年訓練ヲ致スト云フコトハ、何レノ點カラ見マシテモ必要ナル事デアルト私ハ感ズル者デアリマス、斯様ナ者ニ對シテ彼此非難ヲ致スト云フコトハ、私ハ國家ノ爲ニ甚ダ慨嘆ニ堪ヘザル者デアリマス、併ナガラ幸ニシテ委員會ハ、滿場一致ヲ以テ原案ヲ無修正ニテ可決致シマシタノデアリマス、更ニ又全國ノ青年訓練所ニ對シマシテハ、是レ以上國家ハ更ニ數百萬國ノ國庫ノ補給ヲ與ヘマシテ、

青年訓練所ヲ援テ行キ、大ニ發達ヲ圖ラ
レタイト云フコトヲ、滿場ノ諸君ガ甚ニ附
帶決議ヲ致シマシタコトハ、特別委員諸君
全體ノ賢明ナル案ト私ハ思フノデアリマ
ス、否、政黨各派ガ國防上ニ於テ一致シタ
ル精神ヲ以テ委員會ニ此表決ヲ致シマシタ
コトハ、私ハ帝國議會ノ誇リト致ス所デア
ルト考ヘマス、此意味ニ於キマシテ、本案
ノ滿場一致可決確定アラント希望致シ
マス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 平井光三郎君

〔平井光三郎君登壇〕

○平井光三郎君 本員ハ本案ニ付キマシテ
簡單ニ賛意ヲ表シタイト思フノデアリマ
ス、現行徵兵令ハ明治初年度ノ制定ニ係リ
マシテ、即チ鎮臺制當時ニ於テ作ラレタル
所ノ法案デアリノデアリマス、然ルニ其後
ニ於キマシテ我國ノ文化ノ發達極メテ顯著
ナルモノガアリ、殊ニ陸軍ト致シマシテハ、日
清並ニ日露戰爭及歐洲戰爭ノ體驗ニ依リマ
シテ、我が國軍ノ其威力ヲ世界ニ發揮スル
コトガ出來タノデアリマス、而シテ此徵兵
令ナルモノハ、我國ノ現狀ト比較致シマス
レバ、既ニ數十年前ノ制定デアリマシ
テ、我が國情ノ上カラ申シマシテ、極メテ
不合理ノ點ガ甚ダ多イノデアリマスガ、之
ニ付キマシテハ陸軍當局者ハ數年來是ガ改
正ニ著手ヲ致サレタノデアリマスガ、恰モ
好シ本議會ニ於キマシテ滿場一致是ガ通過
致シマスコトハ、我が國軍ノ爲ニ、我が國
民ノ爲ニ非常ニ慶賀スベキ事デアルト思フ
ノデアリマス、殊ニ數年來ノ此大法案ガ現
内閣ノ手ニ依リテ通過サレタト申シマスコ
トハ陸軍ノ成功デアリ、現内閣ニ取リマ
シテハ、正ニ特筆大書スベキ大ナル功績デ
アルト云フ讚辭ヲ申述べマシテ賛成ヲ致ス
次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 是ニテ討論ハ結局致
シマシタ、仍テ採決ヲ致シマス、本案ノ第

二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開
キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可
決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ
議題ト致シマス

徵兵令改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 別ニ御發議ガアリマ
セヌカラ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報
告ノ通り可決確定致シマシタ、只今濱田國
松君ヨリ成規ノ賛成ヲ得テ、議事進行ニ關
スル緊急動議ヲ提出セラレテ居リマス、只
今大藏大臣ノ御都合ハ一寸御差支ノヤウデ
アリマスガ、此動議ハ大臣ノ御出席マデ御
延ベニナルコトガ出來マスカ

〔大藏大臣ノ出席ヲ求メマス〕ト呼フ
者アリ

○議長(粕谷義三君) ソレデハ暫ク後ニ御
延バシテ願ヒマス

〔大藏大臣ハ何時出席シマスカ〕ト呼
フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 今交渉中デアリマス
〔待チマス〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 濱田君、暫ク後ヘ御
待チテ願フコトガ出來マセヌカ

○砂田重政君 大藏大臣ノ出席セラレルマ
デ暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) ドウデスカ是ハ……

○濱田國松君 大藏大臣ガ直グニ御出ニナ
レバ宜シウゴザイマスガ、然ラザレバ此儘

デ待タナケレバナラスト思ヒマス、而シテ
私ノ動議ハ議事進行ニ關スル動議デアリマ
スカラ、休憩シテ待ツモ此儘ト同ジ結果ニナ
ル、議事ハ進メルコトハ出來ナイ

〔議長、議事ヲ進行セヨ〕大藏大臣ガ
出席シナイデドウシテ進行出來ルカ
ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 只今大藏大臣出席ヲ
セラレマス、濱田國松君ヨリ御提出ニナリ
マシタ動議ハ、先決問題ト認メマスカラ、
直ニ其趣旨辯明ヲ許シマス、濱田國松君

〔濱田國松君登壇〕

○濱田國松君 本員ハ茲ニ議事進行ニ關ハ
ル重大ナル動議ヲ提出致シタイト存ズルノ
デアリマス、議事進行ニ關スル動議ハ、常
ニ議事ノ進行ニ關スル普通ノ意味ニ於テノ
手續ノ議論ガ多イノデアリマスガ、私ノ今
此ニ提出致シマシタ動議ハ、或ル時期マデ
本院ノ議事ヲ中止スルノ動議デアリマス
(拍手、笑聲起ル)提案説明ノ簡略ヲ欲シマ
スルガ爲ニ、先ヅ第一ニ動議ノ本體ヲ茲ニ
述べマス、動議ハ一片岡大藏大臣ハ現ニ世
上ノ疑惑ヲ醸セル震災手形ノ法案ノ審議ニ
關シ、當院ニ於テハ名ヲ財界動搖ニ藉コシ
テ緊要ナル事實關係ノ説明ヲ回避シタルニ
拘ラズ、貴族院ニ於テハ之ニ反スル態度ニ
出テ益々疑惑ヲ濃厚ナラシメタルノミナラ
ズ、當院議員ヲ侮蔑スル放言ヲ爲シタルハ、
明ニ二院制度ヲ無視シ國民代表ノ府ヲ藐視
シタル失當ノ甚シキ舉措ナリト認ム(ヒヤ
ヒヤ)拍手 仍テ政府ガ反省ノ實ヲ舉グルマ
デ本院ノ議事ヲ中止スベシトノ動議ヲ提
出致シマス(拍手)諸君、震災手形法ノ當院
ニ付議セラレテヨリ、國論ノ沸騰ハ各位御
承知ノ如ク、意外ノ點ニ達シテ居ルノデア
リマス(拍手)吾等同志ハ、本案ノ當議場ヲ
通過スベカラザルコトニ付テ、經濟上ノ論
理、社會政策ノ標的ヨリ、殊ニ現内閣ガ高
ク標榜セラル、公債政策ノ趣意ヨリ、有ユ

ルモノヨリ立論ヲ致シテ、過般ノ議場ニ於
テ此案ノ否決サルベキコトヲ高調致シタノ
デアリマス(拍手)然ルニ近頃政界ニ起リマ
シタル所謂憲本聯盟ナルモノ、意外ナル政
治的ノ副產物ト致シマシテ、意外ナル意味
ヲ以テ、該法案ガ當議場ヲ通過致シマシタ
ルコトハ、多數ノ國民ト共ニ吾々ノ痛嘆措
カザル所デアリマス(拍手)片岡大藏大臣
ハ、現今衆議院ニ於テ此法案ニ反對スル者
ハ、鈴木商店ト經濟上ノ利害ヲ異ニスル者、
若クハ日本銀行ニ手形ノ割引ヲ要求シテ拒
絶セラレタ者ガ、此案ノ惡宣傳ヲ爲スト云
フコトヲ論ゼラレタノデアリマス、併ナガ
ラ諸君(議長々々)其他發言スル者多シ)七
千万ノ日本國民中、日本銀行ニ手形ノ割引
ヲ要求シタル者ハ、極メテ僅少ナル者デア
リマス、(拍手)議長々々注意セヨト呼ヒ
發言者多シ)

○議長(粕谷義三君) 鈴木商店ト經濟上ノ利
害ガ異ナル者モ、亦國民中少數ニ過ギナイ
ノデアリマス、斯ル者ノ議論ヲ根據トシテ
吾々ハ該法案ニ反對ヲ致シタノデハナイノ
デアリマス、斯様ナ譯デアリニモ拘ラズ、
政府當局ハ該法案ノ通過ニ付テハ、極力無
理ヲ致サレタノデアリマス、故ニ衆議院ノ
本會議ニ於キマシテモ、又委員會ニ於テモ、
吾々同志議員ハ、極力此案ノ内容ニ付
テ大藏大臣ニ對シテ説明ヲ強要致シタノデ
アリマス、然ルニ大藏大臣ハ此内容ヲ説明
スルコトソレ自體ガ、財界ノ動搖ヲ惹起ス
ト云フ憂ガアルト云フコトニ藉コシテ、極
力之ヲ拒マレタノデアアル、果シテ衆議院ニ
於テ此理由ヲ以テ内容ノ説明ヲ拒マレタノ
デアアルナラバ、貴族院ニ於テモ亦同様デア
ラネバナラス、前刻大藏大臣ハ、衆議院同
様貴族院ニ於テモ内容ノ説明ハ毫末モ致サ
ナイト云フコトヲ提言セラレマシタガ、
吾々ノ知ル限りニ於テハ、或ル程度マデ其

内容ヲ説明シタルコトハ事實デアリマス
(拍手)「ヒヤ」又懇談會ト秘密會ノ區別
ヲ喋々セラレマスレドモ、最初ハ懇談
會ノ名ニ於テ其内容ノ幾分ヲ發表シ、又貴
族院ニ於テ其委員會ノ要求、即チ懇談會ノ
經過ノ如何ニ於テハ秘密會ヲ開イテ内容ヲ
説明スルノ意思アリシハ、速記録ニ明記ス
ル所デアリマス(拍手)此速記録ヲ引用致シ
マス「所謂懇談の二餘リヲ著スニ問フ起
シ、梓ヲ著スニ御答ヲスルト云フ程度ニ御
話願フ、ソレカラ秘密會ニモナラナケレ
バナラヌト云フナラバ、其時ノコトニ一ツ
願ヒタイと思ヒマス」ト云フノデ、大藏大
臣ハ貴族院ノ懇談會ニ於テ秘密會ヲ開イ
テ、内容ヲ説明スルト云フコトヲ絕對ニ拒
絶シテ居ラヌデアアル、默諾ヲ與ヘテ居ラ
レルノデアリマス、而モ此嚴格ナル秘密會
ヲ開クヨリハ懇談會ノ形式ニ於テ、或ル程
度マデ事實ヲ説明スルコトガ、自己ノ立場
ニ便利ニシテ責任ヲ避ケルニ便利ナリと思
ハレタカラ、或ル程度マデ其事實ヲ公表
セラレタモノデアリマス、斯ノ如キハ前刻
東君モ陳述致シマシタ通り、經濟財政ノ點
ニ於テ、殊ニ國民ノ負擔ヲ議スル上ニ於
テ、有ユル意味ニ於テ、形式ニ於テモ精神
的ニ於テモ先議權ヲ有スル、重大ナル優先
權ヲ有スル所ノ衆議院ヲ輕シテ、却テ貴
族院ニ重キヲ置カレタト云フコトハ、前後
ノ、狀態ヨリシテ斷言シテ憚ラヌ所デア
(拍手)凡ソ二院制度ノ下ニ於キマシテ、大
體ニ於テ兩院ノ權能ニ輕重アルベキ筈ハ
リマセヌ、若シ強テ輕重ヲ論ズルナラバ、
此種ノ議案ニ付テハ衆議院ニ重キヲ置カ
ケレバナラナイと思フノデアアル、而モ大藏
大臣ノ執ラレタル言動ハ全ク之ニ矛盾ヲシ
テ、之ヲ裏切リテ居ルモノデアリマス、是ガ
本案動議ノ第一ノ内容デアアル、第二ニハ大
藏大臣ハ速記録ニモアリマス通り、貴族院

ノ委員會ニ於キマシテ、衆議院ニ於テ秘密
會ヲ開カナカッタ理由ハ、衆議院ノ秘密會ト
云フモノハ簡拔ケデアッテ、秘密ガ保テナ
カラ開カナカッタノデアルト云フコトヲ明
言ヲシテ居ラレル、是ハ決シテ揣摩臆測デ
ハナイノデアリマシテ、速記録ニ載ッテ居
ルノデアリマスカラ、之ヲ引用致シマス、私
ハ秘密會ヲ拒否スル譯デアリマセヌガ、
實ハ衆議院デモ秘密會デ御話ヲセヌカト云
フ御要求ガアリマシタ、別ニ衆議院ヲ疑フ
譯デモ何デモアリマセヌガ、アスコノ秘密
會ハ簡拔ケノ秘密會デアリマシテ、ドウモ
宜クナイト存ジマス」
(此時發言者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○濱田國松君(續) 私ハ此場合ニ片岡大藏
大臣ニ一言ヲ呈シタイ、片岡大藏大臣モ衆
議院議員デヤナイカ、貴方モ衆議院議員デ
ヤナイカ、苟モ共ニ衆議院議員ノ地位ニ在
リマスル以上ハ、上ニ對シテモ下ニ對シテ
モ自己ノ信用上、斯ノ如キ事ヲ公然放言ス
ベキ筋合ノモノデハナイ(拍手)私ハ斯ノ如
キ問題ハ黨派ノ問題デモ感情ノ問題デモナ
イト思フ(ヒヤ)「拍手」一國ノ閣僚ガ自
ラ衆議院議員デアリナカラ、衆議院ト云フ所
ハ秘密ノ保テナイ所デアアル、信用ノ保テナ
イ所ダト云フコトヲ放言スルニ至ッテハ、衆
議院ヲ侮辱スル是ヨリ甚シキモノハナイノ
デアリマス(拍手)吾々ハ國民ニ對スル政治
上ノ立場上、現内閣ニ依リマシテ、特ニ片
岡大藏大臣ニ依リマシテ、此政治の重大ナ
ル侮辱ヲ受ケマシタ以上ハ、政府ガ此放言
ニ對シテ政治上ノ反省ヲサレテ、何物カ吾
吾ノ満足スル程度ニ、吾々ノ信用ヲ維持ス
ル程度ニ政治上ノ行動ヲ執ラレルマデハ、
衆議院ノ議事ハ一切當中止スルノ已ムヲ
得ザルモノデアリマス(拍手)此問題ハ只今
モ申上ゲタ通り、當院ノ政治の名譽ト信用
ヲ維持スル必要上已ムヲ得ズ之ヲ提起シタ

モノデアアル、若シ之ニ反對セラル、諸君ガ
アッテ、吾々國民ノ代表者タル衆議院ガ、
片岡大藏大臣ニ依ッテ秘密モ何モ保テナ
信用ノ出來ナイ政治家ノ集團デアルト云フ
コトヲ公然放言セラレテ、尙且ツ恥ヲ知ラ
ザル人ガ院内ニ多キヲ占ムルモノデアッ
タラバ、我亦何ヲカ言ハンデアリマス(拍手)
茲ニ簡單ニ此動議ヲ提出致シマス(拍手)
○議長(粕谷義三君) 是ヨリ討論ニ入りマ
ス、山口義一君

(山口義一君登壇)

○山口義一君 我ハ濱田君ノ動議ニ對シマ
シテ賛成ノ意見ヲ申述ベタイト存ジマス、
政府ハ震災手形法ニ關シマシテ、衆議院ニ
於テハ一切其内容ヲ發表シナイ、内容ヲ發
表シナケレバ臭イ物デアルト思ハレテモ致
方ガナイカラ發表セヨト、此方カラ深切ニ
申シテ居ルノデゴザイマスガ、發表シナイ
ソレニ對シマシテ本黨ト憲政會トガ、吾々
ノ此發表スベシト云フ決議案ニ對シマシ
テ、多數ヲ持ンデ之ヲ否決シ、殊ニ本黨ノ
如キハ其事務員ヲ議場ニ闖入セシメテ、暴
力ヲ以テ之ニ壓迫ヲ加ヘルト云フヤウナコ
トヲ致シテ居ルノデアアル(拍手)而シテ此衆
議院ニ於テ發表シナカッタ所ノ、此震災手
形ノ内容ニ對シマシテ、貴族院ニ於テハ先
程東武君ノ申述ベマシタルヤウニ、或ル程
度ニ於テ其内容ヲ發表致シテ居ル、租稅ヲ
負擔スル所ノ、國民ヲ代表スル所ノ此衆議院
ニ於テ發表出來ナカッタ所ノ内容ヲ、特權
階級ノ貴族院ニ於テ發表スルト云フコト
ハ、是レ國家ノ由々シキ大事デアルト私ハ
思フノデアリマス(拍手)諸君、英國ニ於キ
マシテハ豫算ニ關係アル所ノ法律案、其他
財政ニ關係致シマス所ノ法律案ニ對シマシ
テハ、衆議院ニ於テ通過致シマシタルモノ
ハ、貴族院ニ於テハ之ニ對シテ否決スルコ
トガ出來ナイト云フコトニ相成ッテ居ル、我
國ニ於テハ二院制度、兩院ノ平等ヲ認メテ

居リマスケレドモ、豫算ノ先議權ヲ認メテ
居ルト云フノハ、租稅ヲ負擔スル所ノ國民
ヲ代表スル此衆議院ノ審議權ト云フモノヲ
尊重致シテ居ルカラデアアル、然ルニ此衆議
院ニ於テ其内容ヲ發表シナカッタ所ノ此震
災手形ノ内容ヲ、貴族院ニ於テ發表スルニ
至リマシテハ、是ハ國家ノ將來由々シキ大
事デアルト申サナケレバナラナイ、今日國
民ノ要求致シテ居リマスル所ハ、此憲法ヲ
改正致シマシテ、貴族院ヲ徹底的ニ改革ス
ルト云フ所ニアル、其要求スル所ハ實質ニ
於テハ、或ハ一院制度マデモ要求シテ居
ル所ノ人ガアルノデアリマス、即チ衆議院
ヲ中心トスル所ノ政治ヲヤルニ非ズンバ、
輿論本位ノ政治ガ行ハレルコトガ出來ナ
イ、斯ウ云フヤウニ相成ッテ居リマスノニ、
衆議院ヲ本位トスル所デナク、却テアベコ
ベニ貴族院ヲ本位トスルヤウナル政治ヲヤ
ルニ至リマシテハ、時代錯誤ノ甚シイモノ
ト申サナケレバナラヌ(拍手)此震災手形ヲ
通過セシメルガ爲ニ、本黨ト憲政會ト、而
シテ政府トガグルニナッテ、如何ニ惡辣極マ
ル事ヲ今迄ヤッテ居タカ(拍手)諸君、政友
本黨ノ總裁大木次郎君ノ態度ハ如何デア
ル、諸君、當テ皇座ニ對スル觀念ヲ異ニス
ルト稱シテ、憲政會ヲ彈劾致シタル床次總
裁ガ、旬日ナラズシテ是ト手ヲ握ルニ至リ
マシテハ、吾々ハ床次君自身ノ皇座ニ對ス
ル觀念ヲ疑ハザルヲ得ナイコトニ相成ッ
ノデアリマス、諸君、此震災手形ヲ通シテ、
此潰レ掛ケタ所ノ……(乾新兵衛ハドウシ
タ)ト呼フ者アリ)乾新兵衛——デハナイ、
鈴木商店デス、此鈴木商店ヲ助ケタト云
フ——此鈴木商店ヲ助ケルガ爲ニ……

(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○山口義一君(續) 斯ノ如クニ惡辣ナル聯

盟ヲ造リテ居ルノデアル、諸君、斯ノ如クニ
憲政會ト本黨トハ、此政策本位ノ聯盟デア
ル……政策本位ノ聯盟デアルト稱シテ居
ケレドモ

〔發言者多ク議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○山口義一君(續) 其實ハ震災手形聯盟

デアル(拍手)震災手形ヲ通スガ爲ニ、彼等
ハ眼中國家モナケレバ國民モナイ、大權ヲ
私議シ、政權ヲ私ニ取引致シマスルノモ、
皆此震災手形ヲ通過セシメント云フ陋劣ナ
ル野心デアランデアル(拍手)諸君、斯ノ如
クニ政治家ガ腐敗墮落致シマスルト、其影
響ハ頗ル重大ナルモノガ在ルノデゴザイマ
ス、諸君、今日國民ノ中ニ於キマシテハ、無產
階級ノ人々ガ議會政治ヲ認メテ——議會政
治ヲ認メテ段々穩健著實ニ相成テ來タノ
デアル、併ナガラ一部分ニ於テハ、極端ナ
ル社會主義、極端ナル過激主義ヲ認メテ、
サウシテ之ヲ實行セントスル所ノ過激思想
ガ存在スルト云フコトヲ、吾々ハ見通スコ
トガ出來ナイノデアリマス、此時ニ當リテ既
成政黨、殊ニ憲政會ト本黨ト人ガ、國家モ
眼中ニ無イ、國民モ眼中ニ無イ、唯、一個
ノ私ノ爲ニ斯ノ如キ惡辣ナル行動ヲ致シテ
居リマシタナラバ、此極端ナル社會主義者
ニ對シマシテ、議會否認ノ思想ヲ激成セシ
ムルモノニ非ズシテ何ゾヤト謂ハナケレバ
ナラヌノデアリマス(拍手)諸君、外國ノ革
命ノ歴史ヲ見マストドウデアル、諸君、各
國ノ革命ノ歴史ヲ見マスト云フト、特權階
級ノ者ガ

〔發言者多ク議場騷然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○山口義一君(續) 斯ノ如キ惡辣ナル事ヲ
致スコトガ、革命ノ原因ヲ成シテ居ル、故
ニ私ハ此震災手形ヲ通過セシムルガ爲ニ、

斯ノ如ク聯盟ヲ致シ、而シテ更ニ又斯ノ如
クニ時代ノ言論ヲ抑壓シ、二院制度ヲ無視
シ、即チ、貴族院ヲ本位トスルヤウナ時代
ニ逆行スル所ノ此政府ノ遣方ニ對シマシテ
ハ、反省ヲ促サナケレバナラヌ、故ニ濱田
國松君ノ動議ニ賛成ヲ致ス所以デゴザイマ
ス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 砂田重政君

○砂田重政君 簡單デアリマスカラ、此席
カラ御許ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 許シマス

○砂田重政君 只今ノ動議ノ説明ヲ濱田國
松君ガ演壇ニ於テサレマシタ中ニ於テ、片
岡大藏大臣ハ三月八日貴族院ニ於テ、衆議
院ヲ疑フ譯デモ何デモアリマセヌガ、アン
コノ秘密會ハ簡拔ケノ秘密會デアルト云フ
コトヲ言ハレマシタコトガ、速記録ニ載
テ居リマスルガ、此言明サレタルコトハ、片
岡大藏大臣ガ、確ニ公言シタコトニ相違ナ
イカ否ヤト云フコトヲ、此壇上ニ於テ承リ
タイト思ヒマス(ヒヤ)「拍手」

○議長(粕谷義三君) 大藏大臣

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今ノ砂田君ノ
御尋ニ御答ヲ申上ゲマス、速記録ヲ其後見
マシタ所ガ、今御話ノ通りノ文字ガゴザイ
マス、ソレ故ニソレヲ知ルヤ否ヤ、次ノ委
員會、即チ其次ニ行ハレマシタ委員會ノ劈
頭ニ於テ、斯様ニ書イテアルガ、是ハ速記
録ニ在ル以上ハ、自分ガ言ヒ誤タニ相違
ナイトシテ見ルヨリ外ニナイガ、自分ハサ
ウ云フ趣旨デハナカッタ、少シク考慮スル點
モアリマスカラ、秘密會ニハシタクナイト、
斯ウ云フコトヲ言、タト、之ヲドウゾ諒シ
テ速記録ノ訂正ヲ願ヒマス云フコトヲ委
員會ニ諮リマシテ、諒解ヲ得テアルノデア
リマス

○議長(粕谷義三君) 砂田重政君——(此
時發言者多ク議場騷然) 靜肅ニ願ヒマス

○砂田重政君 只今片岡大藏大臣ノ言明ニ
依リマスルト、斯様サコトヲ言ウタ覺ガナ
イト云フコトニナルノデアリマス、言ウ
タケレドモ失言デアッタカラ之ヲ取消シタ
ト云フ意味デアリマス、其點ヲ明ニシテ
置キタイト思ヒマス、此速記録ハ取消シテ
アリマセヌ、明瞭ニ只今濱田君ノ述べラレ
タル如ク、私ノ讀上ゲマシタ如ク書イテア
ルト言、タ、サウシテ之ニ對スル取消ハア
リマセヌ、此點ハ大藏大臣ノ口カラ出タモ
ノデアルカ、全ク速記者ノ誤ナリト斷定サ
レルノデアルカ、其點ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○議長(粕谷義三君) 各辯ガアリマセヌ
カ——答辯ガアリマセヌ——羽室君(大藏
大臣ノ答辯ハドウシタ)「ト呼フ者アリ」答辯
ヲセラレマセヌ

〔羽室庸之助君登壇〕

○羽室庸之助君 本年ノ五十二議會ノ今日、
吾々ガ最も醜惡ナル問題トシテ考ヘテ居ル
問題ハ、要スルニ過日此議會ヲ通過シマシタ
ル所ノ震災手形ト、續イテ九州製鋼買収案
ノ此二ツデアリマス、併シ其當時、吾々
ハ震災手形ニ對シテハ其内容ヲ發表スレバ、
ソレニ依テ或者ハ反對シ、或者ハ賛成
ヲスルト申シマシタ、然ルニ其時二片岡大
藏大臣ハ、吾々ハ其内容ヲ發表スルト云フ
コトハ財界ヲ危險ニ導ク故ニ、斷ジテ此
内容ヲ發表セヌト仰シヤッタノデアリマス、
吾々ハソレハ御互ノ見ル所デアリマスルガ
故ニ(發言者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○羽室庸之助君(續) 片岡大藏大臣ハ何所
マデモソレヲ是ナリト御考ニナッテ、其是ト
思フ所ヲ主張スルコトニ付テハ、吾々モ敬

意ヲ表シタノデアリマス、併ナガラ吾々
ハソレヲ隱スト云フコトハ、決シテ宜シク
ナイト信ジマシタカラ、極力爭ウタノデア
リマス、其當時憲政會ノ諸君ト本黨ノ諸
君ハ、ソレヲ發表スルコトハ非ナリト御考
ニナッテ、ソレハ意見ノ違ヒデアリマスルカ
ヲ御互ニ戰フベキコト、信ズルコトハ互ニ
主張スルノガ、私ハ立憲政治ノ本道ト信ジ
マス、其點ニ於キマシテ吾々ハ殘念ナガ
ラ少數デアリマシタカラ、ソレハ到頭破レマ
シタケレドモ、事ハ今日トナッテハ多數ニ
從フ、多數ノ院議ニ從フト云フノガ是ガ即
チ道デアリマスルカラ、吾々ハソレニ對シ
テ最早何トモ言ハヌノデアリマス、唯、
其時ニ殘念ナガラ吾々ノ主張ハ破レタケレ
ドモ、片岡大藏大臣ニ對シテ吾々ハ心竊ニ
敬意ヲ表シテ居タノデアリマス、何故ニ
敬意ヲ表シタカト云フト、今日我國ニ於テ、
殊ニ此政治界ニ於キマシテ自己ノ信念ノ弱
イト云フコトハ、洵ニ御同然ニ痛歎ニ堪ヘ
ヌノデアリマス、片岡大藏大臣ガソレヲ隱
スト云フコトガ、即チ是デアルト信ジラレ
テ何處マデモソレヲ主張サレタノデアルカ
ラ、貴族院ニ於テモ其筆法ヲ進マレルト私
ハ信ジテ居タノデアル、所ガ貴族院ニ行
タ時ニハ、衆議院ニ於ケル其決心ガ鈍テ
シマッテ、サウシテアレヲ到頭貴族院ノ一
派ノ連中ニ或ル程度マデ言ハザルヲ得ヌト
云フコトニナッテ、其意思ノ弱イコトニ對
シテ吾々ハ非常ニ殘念ニ思フノデアリマス
(拍手)ソコデ先程來色ニ皆サンノ御話ヲ
聽イテ、特ニ茲ニ吾々ガ看通スコトノ出來
ナイ一ツノ事ガアルノデアリマス、ソレハ
片岡大藏大臣ガ衆議院ハ秘密ヲ守レヌ場所
デアルカラ、衆議院ニハ言ハナシト云ハ
レタコトハ、是ハ確ニ吾々ハ遺憾ニ思フノ
デアリマス、併シソレニ付テソレハ間違デ

○議長(粕谷義三君) 砂田重政君——(此
時發言者多ク議場騷然) 靜肅ニ願ヒマス

○砂田重政君 只今片岡大藏大臣ノ言明ニ
依リマスルト、斯様サコトヲ言ウタ覺ガナ
イト云フコトニナルノデアリマス、言ウ
タケレドモ失言デアッタカラ之ヲ取消シタ
ト云フ意味デアリマス、其點ヲ明ニシテ
置キタイト思ヒマス、此速記録ハ取消シテ
アリマセヌ、明瞭ニ只今濱田君ノ述べラレ
タル如ク、私ノ讀上ゲマシタ如ク書イテア
ルト言、タ、サウシテ之ニ對スル取消ハア
リマセヌ、此點ハ大藏大臣ノ口カラ出タモ
ノデアルカ、全ク速記者ノ誤ナリト斷定サ
レルノデアルカ、其點ヲ明瞭ニ御答ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○議長(粕谷義三君) 各辯ガアリマセヌ
カ——答辯ガアリマセヌ——羽室君(大藏
大臣ノ答辯ハドウシタ)「ト呼フ者アリ」答辯
ヲセラレマセヌ

〔羽室庸之助君登壇〕

○羽室庸之助君 本年ノ五十二議會ノ今日、
吾々ガ最も醜惡ナル問題トシテ考ヘテ居ル
問題ハ、要スルニ過日此議會ヲ通過シマシタ
ル所ノ震災手形ト、續イテ九州製鋼買収案
ノ此二ツデアリマス、併シ其當時、吾々
ハ震災手形ニ對シテハ其内容ヲ發表スレバ、
ソレニ依テ或者ハ反對シ、或者ハ賛成
ヲスルト申シマシタ、然ルニ其時二片岡大
藏大臣ハ、吾々ハ其内容ヲ發表スルト云フ
コトハ財界ヲ危險ニ導ク故ニ、斷ジテ此
内容ヲ發表セヌト仰シヤッタノデアリマス、
吾々ハソレハ御互ノ見ル所デアリマスルガ
故ニ(發言者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○羽室庸之助君(續) 片岡大藏大臣ハ何所
マデモソレヲ是ナリト御考ニナッテ、其是ト
思フ所ヲ主張スルコトニ付テハ、吾々モ敬

意ヲ表シタノデアリマス、併ナガラ吾々
ハソレヲ隱スト云フコトハ、決シテ宜シク
ナイト信ジマシタカラ、極力爭ウタノデア
リマス、其當時憲政會ノ諸君ト本黨ノ諸
君ハ、ソレヲ發表スルコトハ非ナリト御考
ニナッテ、ソレハ意見ノ違ヒデアリマスルカ
ヲ御互ニ戰フベキコト、信ズルコトハ互ニ
主張スルノガ、私ハ立憲政治ノ本道ト信ジ
マス、其點ニ於キマシテ吾々ハ殘念ナガ
ラ少數デアリマシタカラ、ソレハ到頭破レマ
シタケレドモ、事ハ今日トナッテハ多數ニ
從フ、多數ノ院議ニ從フト云フノガ是ガ即
チ道デアリマスルカラ、吾々ハソレニ對シ
テ最早何トモ言ハヌノデアリマス、唯、
其時ニ殘念ナガラ吾々ノ主張ハ破レタケレ
ドモ、片岡大藏大臣ニ對シテ吾々ハ心竊ニ
敬意ヲ表シテ居タノデアリマス、何故ニ
敬意ヲ表シタカト云フト、今日我國ニ於テ、
殊ニ此政治界ニ於キマシテ自己ノ信念ノ弱
イト云フコトハ、洵ニ御同然ニ痛歎ニ堪ヘ
ヌノデアリマス、片岡大藏大臣ガソレヲ隱
スト云フコトガ、即チ是デアルト信ジラレ
テ何處マデモソレヲ主張サレタノデアルカ
ラ、貴族院ニ於テモ其筆法ヲ進マレルト私
ハ信ジテ居タノデアル、所ガ貴族院ニ行
タ時ニハ、衆議院ニ於ケル其決心ガ鈍テ
シマッテ、サウシテアレヲ到頭貴族院ノ一
派ノ連中ニ或ル程度マデ言ハザルヲ得ヌト
云フコトニナッテ、其意思ノ弱イコトニ對
シテ吾々ハ非常ニ殘念ニ思フノデアリマス
(拍手)ソコデ先程來色ニ皆サンノ御話ヲ
聽イテ、特ニ茲ニ吾々ガ看通スコトノ出來
ナイ一ツノ事ガアルノデアリマス、ソレハ
片岡大藏大臣ガ衆議院ハ秘密ヲ守レヌ場所
デアルカラ、衆議院ニハ言ハナシト云ハ
レタコトハ、是ハ確ニ吾々ハ遺憾ニ思フノ
デアリマス、併シソレニ付テソレハ間違デ

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○羽室庸之助君(續) 片岡大藏大臣ハ何所
マデモソレヲ是ナリト御考ニナッテ、其是ト
思フ所ヲ主張スルコトニ付テハ、吾々モ敬

ア、タカラ、ソレヲ取消スト云フコトヲ明白ニ仰シタルナラバ、吾々ハ之ヲ追窮セヌノデアリマス、併ナガラ其點ニ於テ少シク曖昧ノ態度ヲ執ラレタコトハ、片岡大藏大臣ノ爲ニ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマスルカラ、此點ニ付テ自分ガ惡カッタナラバ惡カッタト明確ニ仰シタルナラバ、吾々ハ之ヲ追窮ヲ致シマセヌノデアリマスルカラ、其點ニ付テ淡白率直ニ一ツ御話ヲ願ヒタイ、惡カッタナラバ惡カッタ、善カッタナラバ善カッタト明白ニ仰シタル貴ヒタイ、此點ニ於キマシテ、吾々ハ今濱田國松君ノ御提案ニナリマシタコトニ付テ、何所マデモソレニ賛成ヲスル一人デアリマスル、併ナガラ片岡大藏大臣ハ、イヤアレハ間違テ居タ、吾々ハソレヲ取消ス、斯ウ仰シタルナラバ吾々ハ追窮致シマセヌカラ、其點ニ於テ吾々ハ賛成ヲスルノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 是デ討論ハ終結致シマシタ、採擇ヲ致シマス、只今濱田君ノ提出セラレマシタ議事進行ニ關スル動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

(賛成者起立)

○議長(粕谷義三君) 起立少數デアリマス、仍テ動議ハ否決セラレマシタ、是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、藤澤商工大臣

第一 鑛業法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

鑛業法中改正法律案

鑛業法中左ノ通改正ス

第八十二條中「營業稅」ノ下ニ「及營業收益稅」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣藤澤義之輔君登壇)

○國務大臣(藤澤義之輔君) 鑛業法中改正法律案ニ關シマシテ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、先ニ大正十五年三月營業收益稅法ガ制定セラレマシテ、ソレト同時ニ營業稅法ガ改正セラレマシタ、實質上營業收益稅ヲ以テマシテ、營業稅ニ代ヘマシタ關係ニ於テ、鑛業法中營業稅ニ關スル規定ニ付テ改正ヲ致ス必要ガアルノデアリマシテ、本案ヲ提出致シタルデアリマス、本案ハ至極簡單ナ案デアリマス、唯「營業稅」ノ下ニ「及營業收益稅」是ダケノモノヲ加ヘルニ過ギマセヌノデアリマスカラ、ドウカ御審議ノ上御協賛アラント望ミマス

○議長(粕谷義三君) 日程第二、右議案ノ審議ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審議ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ砂田重政君提出、鑛業法中改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレントヲ望ミマス

(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三、土地收用法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、俵政府委員

第三 土地收用法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

土地收用法中改正法律案

土地收用法中左ノ通改正ス

第二條第二號及第三號ヲ左ノ如ク改メ第五號中「府縣郡」ヲ「道府縣」ニ改ム

二 皇室陵墓ノ營建又ハ神社若ハ官公

署ノ建設ニ關スル事業
三 社會事業又ハ教育若ハ學藝ニ關スル事業

第二條ノ二 現ニ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ用ニ供スル土地ハ特別ノ必要アル場合ニ非ザレバ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ズ
第五條第二項及第三項中「土地」ノ下ニ「又ハ其ノ土地ニ在ル建物」ヲ加フ
第七條ノ二 本法ハ第二條ニ規定スル事業ノ用ニ供スベキ土地ニ定著スル物件又ハ之ニ關スル權利ヲ其ノ事業ノ用ニ供スル爲ニ收用又ハ使用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條第三項ヲ左ノ如ク改ム
日出前日没後ハ起業者ハ占有者ノ承諾アルニ非ザレバ邸内ニ立入ルコトヲ得ズ

第十二條中「内閣」ヲ「內務大臣」ニ改ム
第十三條 起業者ガ前條ノ認定ヲ受ケンストキハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シテ內務大臣ニ申請スベシ但シ起業者ガ宮内省又ハ國ナルトキハ宮内大臣又ハ主務大臣ハ事業計畫書及圖面ヲ添ヘ內務大臣ニ請求スベシ

第十四條中「内閣」ヲ「內務大臣」ニ改ム
第十五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同條中「郡市長」ヲ「市町村長」ニ、「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

前項ノ事業ガ宮内省、國又ハ道府縣ノ起業者ニ係ルトキハ宮内大臣、主務大臣又ハ道府縣長官府縣知事ハ事業ノ種類、使用スベキ土地ノ區域及使用ノ期間ヲ市町村長ニ通知スベシ
第十六條中「郡市長」ヲ「市町村長」ニ改ム
第十七條中「認定ヲ爲シタルトキ」ノ下ニ「又ハ第十五條第二項ノ通知ヲ受ケタルトキ」ヲ加ヘ「郡市長」ヲ「市町村長」ニ、

「第三項」ヲ「第四項」ニ改ム
第十八條及第十九條中「内閣」ヲ「內務大臣」ニ改ム

第十九條ノ二 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後ハ土地所有者及關係人ハ事業ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外行政廳ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ收用又ハ使用スベキ土地ノ形狀ヲ變更シ又ハ第七條ノ二ノ物件ヲ損壞若ハ收去スルコトヲ得ズ

第二十條中「前條」ヲ「第十九條」ニ改ム
第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ土地所有者及關係人ト共ニ土地物件ニ關スル計畫ヲ作ルベシ

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人ガ計畫ヲ作ルコトヲ拒ミタルトキ其ノ他之ト共ニ計畫ヲ作ルコト能ハザルトキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作ルベシ市町村長ガ起業者ナルトキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ゲタル關係ヲ有スルトキハ起業者ノ申請ニ依リ地方長官立會人ヲ指定スベシ

起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作リタル計畫ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第二十三條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ
三 第二十一條ノ規定ニ依ル土地物件ニ關スル計畫又ハ其ノ寫

第二十四條 地方長官前條ノ計畫ヲ受ケタルトキハ之ヲ市町村長ニ送付スベシ但シ同條第一項第三號ノ書類ハ此ノ限ニ在ラズ

市町村長前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク公告ヲ爲シ公告ノ日ヨリ一週間之ヲ公衆ノ覽覽ニ供スベシ

第三十二條中「内閣」ヲ「內務大臣」ニ改ム

第三十三條中「郡市長ヲ」「市町村長」ニ、
「第三項」ヲ「第二項若ハ第四項」ニ改ム
第三十八條中「府縣」ヲ「道府縣」ニ改ム
第四十條中「市參事會員、町村長」ヲ「市
町村長、」「府縣」ヲ「道府縣」ニ改ム
第四十三條中「收用又ハ使用スヘキ土地
以外ノ土地所有者」ヲ「前項ニ掲グル者以
外ノ者」ニ改ム

第六十六條中「内閣」ヲ「內務大臣」ニ改ム
第七十五條 第九條又ハ第十一條ノ場合
ニ於テ行政廳ノ許可ヲ得ズシテ土地ニ
立入り又ハ障害物ヲ除却シタル者ハ百
圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十六條 第十九條ノ地方長官ノ公告
又ハ通知アリタルコトヲ知リタル者第
十九條ノ二ノ規定ニ違反シタルトキハ
二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十七條 鑑定人トシテ收用審査會ニ
呼出サレタル者虛偽ノ陳述ヲ爲シタル
トキハ二年以下ノ懲役ニ處ス
第七十八條中「四十圓以下ノ罰金」ヲ「百
圓以下ノ過料」ニ改ム

第七十九條 鑑定人又ハ第四十三條第二
項若ハ第五十九條ノ規定ニ依リ呼出テ
受ケタル者故ナク出頭セザルトキハ五
十圓以下ノ過料ニ處ス

第八十條 非訟事件手續法第二百六條乃
至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ
之ヲ準用ス
第八十六條 第十五條乃至第十七條及第
三十三條ノ規定ニ依リ町村長ノ爲スベ
キ職務ハ北海道ニ於テハ支廳長之ヲ行
フ

本法ニ依リ町村長ノ爲スベキ職務ハ町
村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村長ニ
準ズベキ者之ヲ行フ
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
大正十五年法律第七十八號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前收用審査會ノ裁決ヲ求メタル
收用又ハ使用ニ付テハ第四十三條ノ規定
ヲ除クノ外仍從前ノ例ニ依ル但シ第三十
五條第二項ノ規定ニ依リ却下ノ裁決アリ
タルモノニ付テハ其ノ裁決ニ對シ訴願訴
訟ヲ爲ス場合ヲ除クノ外此ノ限ニ在ラ
ズ

本法施行前從前ノ第七十八條又ハ第八十
條ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シタル者ニ
シテ本法施行ノ際未ダ其ノ裁判ヲ受ケザ
ル者ハ本法ニ依リ處罰ス但シ過料ノ額ハ
同條ノ罰金ノ額ヲ超ユルコトヲ得ズ

〔政府委員俵孫一君登壇〕
○政府委員(俵孫一君) 只今上程ニ相成リ
マシタ土地收用法中改正ノ御説明ヲ申上
ダマス、現行土地收用法ハ古ク明治三十三年
ノ制定ニ係リマシテ、時運ノ趨勢ニ伴フ能
ハザルモノガアリマスルカラ、茲ニ土地收
用法ノ改正ヲセント欲スルノデアリマス、

改正ノ要旨ハ、概言致シマスレバ、土地
收用又ハ使用スルコトヲ得ベキ事業ヲ追加
致シマスコトト、公共用地ト雖モ之ヲ收用
スルノ途ヲ設クルコト、又收用地ニ定著
シテ居リマスル物件若クハ之ニ關スル權利
ヲ收用スル制度ノ必要ヲ認メマシテ、公共
事業ノ遂行ヲ容易ナラシメントスルコトヲ

圖リマス同時ニ、損失ノ補償ヲ受クベキ
モノ、範圍ヲ擴張致シマシテ、收用又ハ使
用スベキ土地ニ在ル建物ニ關シ、權利ヲ有
スルモノノ關係者トシ、以テ其權利ヲ尊重
シ、又收用ニ關スル事務簡捷ヲ期スルガ爲
ニ、事業認定權ヲ內務大臣ニ移シマス事柄
ト、其外手續ノ正確ト敏捷ヲ期シマスル爲
ニ、手續法規ニ改正ヲ加ヘ、又法規違反ニ
對スル制裁ヲ改メテ、他ノ刑罰法令トノ權
衡ヲ圖リ、又北海道及沖繩縣ニ收用審査會
ノ制度ヲ設ケントスルモノデアリマス、是
ガ本案提出ノ大體ノ説明デアリマス、御審

査ノ上御協賛アラント希望致シマス
○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテハ質疑
ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス、高木益
太郎君

○高木益太郎君 本案ニ對シテハ質疑ノ通
告ヲ致シテ置キマシタガ、本日防火地區内
借地權處理法案ガ政府カラ提出ニナリマシ
タ、其案ヲ見マシタ上、別ノ場合ニ質問ヲ
致シマス、今日ノ質問ハ取消シマス
○議長(粕谷義三君) 次ハ森田金藏君
〔森田金藏君登壇〕
○森田金藏君 只今上程サレマシタ土地收
用法中改正法律案ニ付テ、極ク簡單ニ御
尋テ致シタイノデアリマス、此度政府カラ
提出サレマシタ土地收用法中改正法律案
ハ、無論時代ノ要求ニ依リテ改正ヲシナケ
レバナラナイ必要ニ迫ラタ内務次官モ言
ハレマシタ、其通りデアラウト思ヒマス、
併シ此點ニ付テ私共都會生活ヲスル者ニ
取ッテ、餘程大切ナル問題ガ包含シテ居ル
ノデアリマス、例ヘバ土地ヲ收用サレル場
合ハ、地主デアリマスレバ、收用サレル部
分ガ其他ニ及ボス影響ハ——大キナ地主ニ
ハ好影響ヲ及ボスコトモ多アルノデアリ
マス、併ナガラ若シ是ガ人ノ地面ノ上ニ家
ヲ建テ、サウシテ永年其所ニ營業ヲシテ
居タモノトシマスルナラバ、此人ガ持ッテ
居ル所ノ其老舖及地上權ト云フモノハ、相
當ナル價格ノアルモノデアアルノデアリマス、東
京市ノ如キハ其地上權ノ賣買ガ甚ダ高價ニ
上ッテ居ルコトハ、皆サン御承知ノ通りデア
ルノデアリマス、所ガ極ク土地ノ廣汎ナ田
舎デアレバ、ソレ程影響ヲ及ボシマセヌ
ガ、少クトモ十萬、二十萬、三十萬、五十
萬、百萬人人口ノ稠密シテ居ル所ノ土地ニ
於テハ、此收用法ノ適用ニ付テ少カラザル
迷惑ヲ蒙ル所ノ實例ガアルノデアリマス、

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

故ニ私ハ其事ニ付テ、此度ノ改正法律案ニ
對シ二三御尋テ致シテ、將來此收用法ガ如
何ニ善用サレルカト云フコトヲ承知致シテ
置キタイト思ヒマス、大體此度ノ改正法律
案ハ、土地バカリデナク、地上ニ在ル所ノ
地上權モ相當認メラレテ居ルヤウデアリマ
ス、所ガソレガ法文ニハ甚ダ不完全デア
ル、明白ニナッテ居ラヌ點ガアルノデアリ
マス、先ヅ第一ニ土地ヲ收用スル場合ニハ
其地方ニ於テ土地收用ノ審査委員會ヲ置ク
ト云フコトニナッテ居リマス、此審査委員ナ
ル者ハ、縣デアリ府デアアルナラバ內務部長或
ハ參事會員、斯ウ云フ人ニ依ッテ此審査委
員會ヲ組織サレルノデアリマス、所ガ果シ
テ其審査委員會ナルモノガ公平デアリ得ル
カ、收用サレル土地ノ價值及其老舖、地上
權ト云フモノニ付テ十分ノ審査ガ出來得
ルヤ否ヤ、斯ウ云フ事ニ付テ政府ノ御考ヲ
伺ヒタイノデアリマス、私ハ土地收用審査
委員會ノ決議ヲ更ニ公正ナラシメル爲ニ、收
用審査會ノ委員ニハ、其收用スル土地ノ近
邊ニ長ク居住シテ居ル相當信用アル者ヲ二
人、此委員會ニ入レルト云フコトハ、此收
用法案ヲ改正サレル所ノ最も公平ナル趣旨
ニ適フト思ヒマスルガ、政府ハ之ニ唯、在
來ノ如ク內務部長及參事會員ト云フ、唯、名
譽職ノ人バカリニ之ヲ持ッテ行カナイデ、其
收用サレ得ベキ土地ノ周圍ニ長ク居住シテ
信用ノアル者二人ヲ加ヘルト云フ御考ガア
ルカ、無イカト云フコトヲ御聞申上ゲタイ
ノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス、ソ
レカラ其次ハ政府提出ノ改正法律案中、第五
條第二項及第三項ノ改正ニ依ッテ、補償サ
レル被收用者ノ範圍擴張セラレタリト雖
モ、未ダ以テ其損失ノ填補ニ付テ完全ヲ期
待シ得ズト思惟スル所ガアリマス、例ヘバ
都會地ニ於キマスル借地上ニ於ケル家屋ヲ

所有スル家主ガ、土地收用法ヲ適用サレマシタ時ニ、如何ニ此地上權ヲ認メラレマスカ、例ヘバ其地上權ト申シマスルモノ、價值デアリマス、永年其所ニ住テ暖簾ガ賣レテ居テ、サウシテ大ナル收入ガアル、併ナガラソレハ自分ノ家デアッテ土地ハ人ノ物デアアル、ソレガ收用法ニ依ッテ已ムヲ得ズ移轉シナケレバナラナイト云フ場合ニ、唯、數箇月分ノ利益位ヲ分配サレテ、サウシテ移轉料ヲ貰テ其家ヲ持ッテ退カナケレバナラヌト云フコトニナッタ其曉ニ、其收用法ヲ適用サレタ所ノ家主ハ、永年ノ其老舖ヲ失フ、即チ無形ノ財産ノ大部分ガ無クナルノデアリマス、斯ウ云フ場合ヲ政府ハ如何ニ御認ニナリマスカ、若シ之ニ相當ナル收用ニ付テ補填ヲサレルニ非ザレバ、其收用サレタ家主ハ非常ナル損害ヲ被ルノデアリマス、大體此法案ハ先ニ内務次官ノ御説明ニナッタ如ク、社會ノ進運即チ社會問題カラ見テモ、斯ウ云フモノハ保護セナケレバナラヌト云フ御趣旨ニ出テ居ルヤウデアリマスルカラ、其收用サルベキ家其物ノ價值ヲドウ云フ風ニ御認ニナルカ、一ツ例ヲ舉ゲテ見マスルナラバ、多ク此家ニ付テ、家賃ノ收入ニ付テ所得稅ヲ課セラレテ居ル、若シ其家ガ所得稅ヲ徵收セラレテ居ル所ノ標準ニ依ッテ家賃ノ收入ガアルモノトシマシタナラバ、其家ヲ御見積リニナル時ニ、所得稅ヲ徵收スルト同ジ價格ニ、政府ハ之ヲ御認ニナルカドウカ、是ハ地所ナクシテ家屋ヲ持ッテ營業シテ居ル者ニ取ッテ大切ナル問題デアリマスカラ、其所得稅ヲ徵收ナサル標準ニ、其財產ヲ御認ニナルカドウカト云フコトヲ御聞シタイノデアリマス、第三ニ土地法ニ於テ定メラレテ居リマス年限中、例ヘバ木造家屋デアアルナラバ二十年、或ハモト堅牢ナル物デアアルナラ

バ二十五年、今日ノ民法カラハソレヲ延長シテ、六十年マデモ其地上權ヲ認メラレルコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、若シ茲ニ或人ガ長年ノ營業ニ依ッテ得タ利益ヲ以テ、新シイ家ヲ建テタトシマス、ソレガ三年ノ後已ムヲ得ザル事情デ土地收用法ニ依ッテ收用サレルコト、ナッタ曉ニ、マダ地主ニ對シテハ十七年間ノ權利ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ其權利ハ收用法デアハ認メラレヌ、國ノ必要ナ道路ヲ造ラナケレバナラヌ、或ハ何カ公共ノ爲ニ又ハ鐵道ノ爲ニソレヲ收用サレル、斯ウ云フ場合ニハ年限ハドウ云フ風ナ計算ヲ以テ家ノ價值ヲ御定メニナルカ、是モ伺ッテ置キタイト思ヒマス、第四ニ御伺シタイコトハ、又五十四條ニ「土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スヘシ」ト規定シテアリマスガ、通常受クヘキ損失トハ如何ナル程度ヲ指スモノデアルカ、通常受クヘキ損失トハ如何ナルモノヲ指スノデアルカ、此點ニ於テ個々別々ニ其價值ノ違フ場合ガ多クアルノデアリマス、故ニ政府ハ此規定シアアルモノト仰セラレテ居ル通常受クヘキ損失トハ、如何ナル程度ノモノヲ御指シニナッテ居ルカト云フコトヲ御明言ヲ願ヒタイノデアリマス、其次ニハ借地權、借家權等ハ、如何ナル標準ニ依ッテ是ガ補償サレマスカ、是モ伺ッテ見タイ、要スルニ政府ノ提案サレテ居ル改正案ニ依レバ、彼ノ被收用者ノ利益ヲ十分ニ擁護シ得ザルヲ以テ、更ニ一歩ヲ進メテ收用又ハ使用スベキ土地ノ所有者及其土地ニアル建物ニ關シ、權利ヲ有スル者ノ損失ヲ補償スルニ當テハ、是等ノ者ノ有スル一切ノ權利及利益關係ヲ考慮シテ、補償額ヲ決定スト云フ規定ヲ置クコトハ、確ニ今日ノ社會政策上特ニ優遇スベキ意思ヲ政府ハ御持ニナッテ、此法案ヲ御出シニ

ナツカ、之ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、今申上ダク五點ニ付テ明確ナル御答辯ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、其他ハ若シ是ガ委員會ニ移サレタナラバ、委員會ニ於テ御伺シタイト思ヒマス、此五ノ事ハ此法案ノ骨子トナルベキ都會ニ住ンデ居ル借地權上ニ持ッ家屋所有者ノ權利保護ノ上ニ於テ、必要ナル點デアルト思ヒマスカラ御尋致シマス(拍手)

〔政府委員俵孫一君登壇〕

○政府委員(俵孫一君) 只今ノ森田君ノ御問ニ對シテ御答ヲ致シマスルガ、第一ニハ土地ニ關スル權利者ガ色ミアル、地上權者モアレバ、借地權者モアルガ、此收用ノ審查會ニ於テノ收用ノ價格ノ算定ガ甚ダ不十分デアルカラ、其收用審查會ノ從來ノ如キ委員ノ組織ヲ改メテ、其收用地附近ノ經驗者ヲ其委員ノ中ニ加入セシムル考ハナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ現在ノ收用審查會ノ組織デ、收用審查ノ價格ノ評定ニ付テハ、少シモ遺憾ガナイト思フノデアリマス、何トナレバ若モ其收用地附近ノ人々ノ意見ヲ聽ク必要ガアリマスレバ、第四十三條ニ依ッテ其土地所有者又ハ其他ノ者ヲ呼出シテ、收用審查會ニ於テハ其意見ヲ聽クコトガ出來得ルノデアリマス、ソレハ必シモ收用審查會ノ組織ノ中ニ入レル必要ハナイト思フノデアリマス、第二ニハ其借地權者若クハ借家權者ガ營業ヲ爲シタ場合ニ於テ、賣込シテアル所謂老舖、賣込シテアル營業ノ利益モ尙ホ補償ノ標準ノ中ニ入レルカ入レヌカト云フコトハ、矢張入レルコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレハ即チ土地ニ關シテ權利ヲ有スルモノハ、總テ補償ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ後ニ御指定ニナッタ五十四條ノ中ノ所謂關係人ノ通常受クヘキ損失ハ之ヲ補償スベ

シ、此通常受クヘキ損失ト云フコトノ中ニ只今御指定ノ老舖、即チ營業上ノ利益モ這入り得ルノデアリマス、第三ニハ長期間ノ借地權者、是ガ未ダ其年限ニ到達セヌ前ニ收用サレタ場合ニ於キマシテ、其殘期間ノ借地權ヲ如何ニスルカト云フ御問デアッタヤウデアリマス、是モ矢張五十四條ノ所謂收用審查會ニ於キマシテ、關係人ノ受クヘキ損失ト云フ中ニ網羅含蓄セラレテ、此モノガ矢張補償セラレルコトニ相成ルノデアリマス、第四ニハ所謂借地權者、若クハ借家權者ガ如何ニ補償セラレ、カ、即チ第五十四條ノ通常受クヘキ損失トハ如何ナル範圍デアアルカト云フコトデアリマシタガ、是ハ主トシテ土地收用審查會ニ於テ審議スル事項デアリマスルカラ、此處デ具體的ニ斯ノ如キモノハ之ニ入ルト云フ如キコトヲ、一々指定モ出來マセヌガ、今以上三箇條ノ御問ニ對シテ御答シタ如ク、或ハ其借地權者ノ利益ヲ失フ所ノ損失トカ、或ハ其營業上ノ利益ヲ損ジタト云フ場合ハ、何レモ五十四條ノ通常受クヘキ損失ノ中ニ含蓄シテ、之ヲ補償スルコトニ相成ルノデアリマス、最後ニ此改正ハ所謂社會ノ進運ニ伴フ所ノモノデアッテ、社會ノ救済ヲスル所ノモノデアアルガ、其通り二十分ニ政府ハ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマシタガ、無論御説明ノ通りデアリマス、即チ今回ハ曩ニモ説明ヲ申上ダマシタ如ク、借家人ノ利益、是ガ今迄十分ニ補償セラレナイ憾ミガアルノデアリマス、之ニ付テハ矢張損失ノ補償ノ範圍ヲ擴ゲテ、斯ノ如キモノヲ尙ホ補償スルコトニ改正ヲシマシタノデアリマス、大體ニ於キマシテ今ノ第五ノ御問ニ對シマシテハ、丁度御尋ノ通りニ考ヘテ居リマスノデアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 是ニテ質疑ヲ終リマ

シタ、日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ議長指名、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○砂田重政君 日程變更ニ關スル動議ヲ提出致シマス、即チ非公式ニ各派交渉ニ於テ今朝約束ガ出来マシタ如ク、三時半ヨリハ

松本君平君及町野武馬君ノ對支問題ニ關スル緊急質問、及亞米利加提議ノ軍備縮小ニ關スル畔田明君ノ緊急質問ノ討論ヲ此際議題ト致シ、而シテ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス(拍手「反對」ト呼フ者アリ)

○井本常作君 砂田君ノ動議ニ……今朝ノ非公式ノ交渉會ニ於キマシテハ……

○議長(粕谷義三君) 井本君ニ御注意致シマス

○井本常作君 然ルニ色々……

○議長(粕谷義三君) 井本君ニ御注意致シマス

○井本常作君 之ニ對シテ……

○議長(粕谷義三君) 井本君ニ御注意致シマス

○井本常作君 ソレデ……

○議長(粕谷義三君) 此ノ日程變更ノ動議ハ法規先例ニ依リマシテ討論ヲ許サヌノデアリマス、故ニ只今井本君ノ御發言ハ討論ト認メマセヌ(其通り)ト呼フ者アリ——

採決致シマス、砂田君ノ日程變更ノ動議ニ

賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕

○議長(粕谷義三君) 起立少數ト認メマス——起立少數デアリマスカラ動議ハ否決セラレマシタ——日程第五、第六ハ關聯セル議案デアリマスカラ、一括議題トスルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第五、王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戸籍等ニ關スル法律案、日程第六、不動産登記法中改正法律案、右兩案ノ第一讀會ヲ開キマス——江木司法大臣

第五 王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戸籍等ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戸籍等ニ關スル法律案

第一條 養子縁組又ハ婚嫁ニ因リ内地ノ家ニ入リタル王公族離縁又ハ離婚ノ場合ニ於テハ其ノ直系尊屬ガ王公家軌範ニ依リ一般臣民ト爲リタル爲創立シタル家アルトキハ其ノ家ニ入り其ノ家ナキトキハ一家ヲ創立ス

第二條 王公家軌範第六十八條又ハ第二百六條ノ規定ニ依リ實家ニ復籍シタル者ハ一月内ニ左ノ事項ヲ具シ復籍ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ其ノ旨市町村長ニ届出ヅルコトヲ要ス

一 復籍シタル者ノ父母及其ノ者ト父母トノ續柄

二 復籍ノ原因及年月日

第三條 王公家軌範第二百六條ノ規定

ニ依リ一家ヲ創立シタル者ハ一月内ニ左ノ事項ヲ具シ一家創立ノ原因ヲ證スル書面ヲ添附シ其ノ旨市町村長ニ届出ヅルコトヲ要ス

一 一家ヲ創立シタル者ノ父母及其ノ者ト父母トノ續柄

二 一家創立ノ原因及年月日

三 一家創立ノ場所

第四條 王公家軌範第二百六條ノ規定ニ依リ實家ヲ再興セント欲スル者ハ一月内ニ左ノ事項ヲ具シ其ノ旨市町村長ニ届出ヅルコトヲ要ス

一 廢絶シタル實家ノ戸主ノ氏名及本籍

二 廢絶ノ年月日

三 再興ノ場所

第五條 養子縁組若ハ婚嫁ニ因リ内地ノ家ニ入リタル王公族又ハ婚嫁ニ因リ内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者アル場合ニ於テハ其ノ入り又ハ去リタル内地ノ家ノ戸主ハ一月内ニ其ノ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍又ハ原籍、父母及其ノ者ト父母トノ續柄並入籍又ハ除籍ノ原因及年月日ヲ具シ其ノ旨市町村長ニ届出ヅルコトヲ要ス

第六條 前條ニ掲グル場合ヲ除クノ外王公家軌範ニ依リ内地ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者アルトキハ宮内大臣ハ左ノ事項ヲ具シ其ノ旨市町村長ニ通知スベシ

一 王公家ニ入リタル者ノ氏名、出生ノ年月日及原籍並戸主トノ續柄

二 除籍ノ原因及年月日

前項ノ場合ニ於テ戸主ガ王公家ニ入リタルトキハ家督相續ハ之ニ因リ開始ス

第七條 市町村長第二條乃至第五條ノ届

出ヲ受理シ又ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ニ依リ戸籍記載ノ手續ヲ爲スベシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六 不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

不動産登記法中改正法律案

不動産登記法中左ノ通改正ス

第二百三條ノ四 前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依リ世襲財産ノ設定又ハ増加ノ勅許アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十二條ノ三 前條ノ規定ハ王公家軌範ニ依リ世襲財産ノ解除ノ勅許アリタル場合及ヒ世襲財産ノ失効アリタル場合ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣江木翼君登壇〕

○國務大臣(江木翼君) 只今日程ニ上サレマシタル二案ニ付キマシテ、簡單ニ提出ノ理由ヲ説明申上ゲマス、前議會ニ於テ協賛ヲ經マシテ、發布サレマシタル大正十五年法律第八十三號王公族ノ權義ニ關スル法律ニ基キマシテ、王公族ノ身位、財産、親族、其他ニ關シマシテ、曩ニ皇室令ヲ以テ王公家軌範ガ制定致サレタノデアリマス、而シテ此王公家軌範ハ大正十五年十二月二十一日ヨリ施行致サレマシタルニ依リ、茲ニ一般臣民トノ間ニ身分上ノ交渉ヲ生ズルコトトナッタノデアリマス、即チ王公家ヲ去リテ内地ノ家ニ入ラレ、又ハ内地ノ家ヲ去リテ王公家ニ入ラレベキ場合ニ關シマシテ、其入籍、除籍、復籍、一家創立、實家再興、

第七 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

○議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第八、大正十三年度第一豫備
金支出ノ件外七件、日程第九、大正十四年
度第一豫備金支出ノ件外三件、右兩案ヲ一

ルモノデアリマシテ、其

必要額へカサハル豫算ノ不足

件

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○井本常作君 日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、此際日程第三十七及第三十八ハ、日程第十二第三十三ト同一委員ニ付託セラレタル議案ナルガ故ニ、四案ヲ一括シテ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メテレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長〔粕谷義三君〕 井本君ノ動議ニ御異議アリマセカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長〔粕谷義三君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、即チ茲ニ日程第十二、關稅定率法中改正法律案、日程第十三、大正十四年法律第五十一號中改正法律案、日程第三十七、關稅定率法中改正法律案、日程第三十八、關稅定率法中改正法律案、右四案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長長田桃藏君

第十二 關稅定率法中改正法律案〔政府提出〕

府提出 第一讀會ノ續〔委員長報告〕

報告書

一關稅定率法中改正法律案〔政府提出〕
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和二年三月十一日

委員長 長田 桃藏

衆議院議長粕谷義三殿

關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス

第二十二號中「一〇〇」ヲ「一八〇」ニ、

「四・五五」ヲ「二・三〇」ニ改ム

第五十三號中「二九・六〇」ヲ「三六・九〇」ニ改ム

第一百十一號中「五・〇〇」ヲ「七・六〇」ニ改ム

第六百七號ノ次ニ左ノ如ク加フ

六〇七ノ二カッサワアルト〔毎百斤〕〇・六〇

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十三 大正十四年法律第五十一號中改正法律案〔關東州ノ生産品輸入稅免除ノ件〕〔政府提出〕

第一讀會ノ續〔委員長報告〕

報告書

一大正十四年法律第五十一號中改正法律案〔關東州ノ生産品輸入稅免除ノ件〕〔政府提出〕

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月十一日

委員長 長田 桃藏

衆議院議長粕谷義三殿

第三十七 關稅定率法中改正法律案〔小池仁郎君外十八名提出〕

第一讀會ノ續〔委員長報告〕

報告書

一關稅定率法中改正法律案〔小池仁郎君外十八名提出〕

右ハ本院ニ於テ政府提出關稅定率法中改正法律案議決ノ結果議決ヲ要セサルモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月十一日

委員長 長田 桃藏

衆議院議長粕谷義三殿

第三十八 關稅定率法中改正法律案〔東武君外十二名提出〕

第一讀會ノ續〔委員長報告〕

報告書

一關稅定率法中改正法律案〔東武君外十二名提出〕

右ハ本院ニ於テ政府提出關稅定率法中改正法律案議決ノ結果議決ヲ要セサルモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年三月十一日

委員長 長田 桃藏

衆議院議長粕谷義三殿

〔長田桃藏君登壇〕

○長田桃藏君 日程ニ上テ居リマスル關稅定率法中改正法律案ノ、政府提出外三件ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、先ヅ政府提出關稅定率法中改正法律案ニ付テ申上ゲマスルガ、委員會ハ慎重ニ質疑應答ヲ重ネマシタ、此内容ハ速記録ニ就テ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、其中デ特ニ御報告ヲ申上ゲベキ點ト見ルベキモノニ點ヲ申上ゲマス、第一點ハ、與村委員ヨリ此關稅定率法ノ改正案ノ中ニ更ニ、「オレイン」ヲ稅率改正ヲシテ加ヘル考ハナイカ、是ハ昨年五十一議會ニ於テ條件ヲ以テ院議ニ定メテ置イタ通りニ、相當本議會マデニ調査ヲシテ提出セラルベキ筈デアアルガ、其提出ノ意思ハナイカト云フ質問ガアリマシタ、又沼田委員ヨリ「カッサワアルト」、即チ「タビオカ」ノ原料タル所ノ「ルート」、此「ルート」ハ近年非常ナ増加率ヲ以テ輸入サレツツアルノデアアルガ、是ハ關稅定率法ニ於テ從價一割ノ課稅ヲサレテ居ルカラ、現在ノ「タビオカ」、「マニオカ」、「セーゴ」ノ課稅ヨリハ遙ニ安イ稅率ガ課セラレテ居ル、故ニ輸入ガ斯ノ如キ増加率ヲ以テ入ッテ來ルモノト考ヘラレル、而シテ政府ノ提案ノ「タビオカ」、「マニオカ」、「セーゴ」ハ一圓ノ課稅ヲ一圓八十錢ニシテ、甘諸澱粉ノ栽培者ヲ救ハントスル考デアアルナラバ、其原料トナル所ノ「カッサワアルト」ニ向ッテモ稅率ヲ増加シテ、此甘諸澱粉栽培者ヲ保護スルコトニ出ナケレバ、其目的ヲ達スルコトハ出來ナイデハナイカト云フ痛切ナル御質問ガアタ、デ此兩質問ニ對シテ政府ハ何レモ詮議中デアアルト云フ意味ノ答辯ガアリマシタ、又高橋委員カラ此「タビオカ」、「マニオカ」、「セーゴ」、之ヲ原料トシテ居ル所ノ餉ノ生産費ト、外米ノ碎米ヲ原料トシテ居ル所ノ餉ノ生産費トハ、今日マデ其關稅ガ何レモ一圓デアアルガ爲ニ稍其均衡ヲ得テ參タノデアアルケレドモ、今回「タビオカ」、「マニオカ」、「セーゴ」ノ稅金ヲ一圓八十錢トセラレテ、反對ニ米穀法ノ適用ニ依ッテ、外米ノ關稅ガ撤廢セララルコトニナレバ、從來一圓ノ碎米ノ課稅ハ之ヲ無稅トセラレルコトニナル、然ラバ無稅ト一圓八十錢トノ課稅ノ差ニ依ッテ兩餉ノ製造ノ生産費ニ非常ナル不公平ヲ生ズルデハナイカ、之ニ對シテ政府ハ如何ニ考慮スルカト云フ質問ガアリマシタ、此質問ニ對シマシテ政府ハ、碎米ノ餉ト、「タビオカ」、「マニオカ」、「セーゴ」ヲ原料トシテ居ル所ノ餉ト、其品質ヲ比較スルト、雙方比較ニナラヌ程ノ差違ガアル、即チ「タビオカ」、「マニオカ」、「セーゴ」ノ餉ハ極メテ透明ナル精製サレタ餉ニナッテ居ルシ、碎米原料ノ餉ハ極メテ濁ツタ所謂劣等品デアアル、隨テ其用途モ亦兩者自ラ異ニスル所ガアル、同時ニ此外米碎米ノ關稅撤廢ハ、是ハ本年度食糧不足ニ基ク所ノ臨機ノ處置デアッテ、決シテ永久ノ關稅撤廢デハナイノデアアル、故ニ此三點ニ依ッテ如何トモシ難イモノト考ヘルトノ政府ノ御答辯デアリマシタ、委員會ハ之ニ依ッテ特ニ懇談會ヲ開クコトニ致シマシテ、其懇談ノ結果ハ、政府ノ特ニ同意ヲ得マシテ、一ツノ成案ヲ得ルコトニナリマシタ、而シテ其成案ハ與村委員ヨリ修正案トシテ、委員會ニ提出セラレタノデアリマス、其修正案ハ議長ノ御手許ニ提出致シマシテ、既ニ各位ノ御手許ニ配付サレテ居ル所ノ案デゴザイマスル、即チ政府ノ提案ニナッテ居リマスル第二十二號中ノモノト、第五十三號中ノ此兩方ノモノニ對シテハ、政府ノ原案ヲ其儘認メマシテ、其次ニ「第一百十一號」中「五・〇〇」ヲ「七・六〇」ニ改ム、ソレカラ

更ニ又第六百七號ノ次ニ左ノ如ク二項ヲ加フ、即チ六〇七ノ二、橫線「カツサザアル」ト、橫線、每百斤、橫線、〇六〇」斯様ナ二項ヲ加ヘタノデアリマス、即チ第百十一號中ノ五圖ヲ七圖六十錢ニ改メマシタノハ、昨年五十一議會ノ關稅ノ時分ニ、奧村議員ノ御質問ニ基テ所「オレイシ」ノ關稅五圖ヲ之ヲ六圖六十錢ニ増額スルコトノ訂正デアリマス、又第六百七號ノ二「カツサザアル」トハ、是ハ澱粉ニアラズ、食料ニアラズトノ政府ノ意見ニ基キマシテ、所謂雜種ノ部ニ入リマスカラ、第六百七ノ二ヲ特ニ加ヘ、「カツサザアル」ト、每百斤六十錢ノ課稅ヲ致スコトニナリマシタ、德斯ノ如キ修正案ヲ滿場一致ヲ以テ可決スルコトニ相成リマシタノデゴザイマス、故ニ此修正ノ點ニ對シテハ滿場一致、修正セザル點ニ對シテハ政府原案ヲ其儘ニ承認シタト御諒解ヲ願ヒタウゴザイマス、又其結果ニ依リマシテ日程ノ第三十七第三十八、即チ小池仁郎君外十八名提出ノ關稅定率法中改正法律案ト、東武君外十二名提出ノ關稅定率法中改正法律案トハ、其趣旨ハ政府ノ提案ト同様ノ議案デアリマスルカラ、議決ヲ要セザルモノト決スルコトニ致シタノデアリマス、又大正十四年法律第五十一號中改正法律案ハ、各位御承知ノ通り、關東州ノ生産ヲ開發シテ本邦ノ物資ノ補給ヲ圖ルト云フ目的ヲ以テ、特ニ關稅定率法以外ニ一種ノ十四年法律第五十一號ト云フモノガ作ラレタノデアリマスケレドモ、今回更ニ之ヲ改正致シマシテ、其別表ヲ甲號別表ト乙號別表ト二ツニ致シマシテ、甲號別表ハ之ヲ無稅ノモノト致シ、乙號別表ハ特ニ關稅定率ヲ其物ニハ安ク致シテ、其目的ヲ達セントスル所ノ法案デゴザイマス、此法案ニ對スル質疑中、特ニ一點御報告申上ダベキ

コトハ、沼田委員ヨリ此乙種ノ別表ニ掲ゲテアリマス所ノ關東州ヨリ參ル大豆ノ硬化油ガ關稅定率法ニ依リマスルト、從價二割ノモノヲ今回乙種ノ別表ニ記載致シテ、每百斤一圓二十錢ニ値下ヲ致シマシタノデアリマスガ、斯ノ如キ値下ヲシタナラバ、内地ノ硬化油製造ヲ壓迫スルノ虞ガナイカト云フコトデアリマス、此御質問ニ對シマシテ政府ハ五十一議會ニ於テ同一ノ働ヲ爲ス所ノ牛脂ヲ無稅カラ更ニ每百斤一圓二十錢ニ關稅引上ヲシテ、内地ノ大豆硬化油ノ製造ヲ助長シテ參タノデアアル、併シ此内地ノ硬化油ノ製造ヲ助長シテ參タノハ、更ニ内地ノミナラズ、關東州ノ硬化油ノ製造ヲモ助長スル意味ニナテ居ルノデアアル、隨テ今回ハ關東州ノ硬化油ニ對シマシテモ、輸入稅ヲ特ニ一圓二十錢ニ引下ゲマシテ、關東州ノ産業ヲ助長スルト同時ニ、内地ノ石鹼ノ原料ヲ特ニ豐富ニ輸入ヲ促進スル考デスノ如キ稅盛リヲ致シタノデアアル、斯様ナ答辯デアリマシタ、討論ノ結果ハ全員一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、以上御報告ヲ申上ダマス、向ホ懇談會ノ内容ニ對シマシテハ、御質疑ガゴザイマスレバ御答辯ヲ致スコトニ致シマス、何卒御賛成ヲ願ヒマス

〔拍手〕

○議長(粕谷義三君) 別ニ發言ノ通告ハアリマセヌカラ直ニ採決ヲ致シマス、先ヅ政府提出ノ關稅定率法中改正法律案ニ付テ採決ヲ致シマス、本案ノ第二議會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二議會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二議會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二議會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

關稅定率法中改正法律案 第二議會

○議長(粕谷義三君) 別ニ御發議ガアリマセヌカラ採決ヲ致シマス、本案ノ委員長報告ハ修正デアリマス、此委員長報告ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通り決シマシタ、之ニテ第二議會ヲ終了致シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第三議會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ第三議會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

關稅定率法中改正法律案 第三議會

○議長(粕谷義三君) 別ニ御發議ガアリマセヌカラ、本案ハ第二議會議決ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 次ニ大正十四年法律第五十一號中改正法律案ノ第二議會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、本案ノ第二議會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二議會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二議會ヲ開キ、第三議會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二議會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州ノ生産品輸入稅免除ノ件)

第二議會(確定議)

○議長(粕谷義三君) 別ニ御發議アリマセヌカラ、第三議會ヲ省略シテ委員長ノ報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 次ニ日程第三十七、小池仁郎君外十八名提出、關稅定率法中改正法律案、日程第三十八、東武君外十二名提出、關稅定率法中改正法律案、右兩案ノ委員長報告ハ、何レモ政府提出關稅定率法中改正法律案議決ノ結果ト致シマシテ、議決ヲ要セザルモノトノ報告デアリマス、兩案共委員長報告ノ通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案共委員長報告ノ通り議決ヲ要セザルモノト決シマシタ、是ニテ全部議了致シマシタ

○井本常作君 重ネテ日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、此際特ニ松本君平君提出、支那擾亂ニ關スル緊急質問、町野武馬君提出、支那時局ニ對スル緊急質問、畔田明君提出、米國再提議日英米軍備縮小會議ニ關スル緊急質問ヲ逐次上程シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許サレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、此際順次提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、支那擾亂ニ關スル緊急質問、松本君平君

支那擾亂ニ關スル緊急質問(松本君平君提出)

〔松本君平君登壇〕

〔粕谷議長議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席〕

○松本君平君 諸君、私ハ茲ニ支那擾亂ニ關スル緊急質問ヲ致シマシテ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、辛亥革命以來清朝ノ崩潰、袁世凱ノ没落、第三革命以後十數年ノ歲月ヲ經過致シマシタ、此間支那ニ於テハ幾多ノ驚クベキ變轉ヲ見タノデアリマス、併ナガラ我國ハ未ダ今日ノ如ク政治上ニ於テモ、經濟上ニ於テモ最も寒心スベキ時機、深刻ナル局面ニ直面シタルコトハ無イノデアリマス、南方革命軍ハ既ニ湖南、湖北ヲ徇ヘ武昌、漢口ノ樞要ノ地ヲ占領致シマシタ、又江西ヲ略シ、浙江ヲ陷落シテ、今日ハ既ニ揚子江一帯ノ地ハ南方革命軍ノ勢力ノ範圍ニ落チテ來タノデアリマス、此長江一帯ノ勢力ガ既ニ革命政府ノ手ニ落チ式昌漢口ガ既ニ南方勢力範圍ニ入リテ、將ニ南方勢力ハ上海ヲ襲ハントシテ居ル、洵ニ容易ナラザル危機ガ迫リテ來テ居ルノデアリマス、殊ニ列國ニ取リマシテハ今日ノ支那ニ於ケル形勢ハ彼ノ義和團ノ事件ヨリモ、若クハ長髮賊ノ事件ヨリモ、更ニ深刻ナル利害關係ヲ持テ來テ居リマス、今日我が國民ガ此支那ニ於ケル局面ニ臨ンデ、最も痛切ニ聽カント欲スル所ノ點、又最も利害關係ニ對スル所ノ、ソレ等ノ事柄ニ付テ私ハ茲ニ先ヅ第一ニ、陸海軍大臣ニ對シテ一ツノ質問ヲ致スノデアリマス、革命軍ハ武力ニ依ラズ民衆ノ力ニ依リマシテ、既ニ漢口ノ租界ヲ奪取シタノデアリマス、サウシテ此所ニ漢口ニ革命政府ノ本部ヲ置イテ、將ニ勢ニ乗ジテ、上海ヲ乘取ラントシテ居ルノデアリマス、此上海

ヲ攻略スルニ付テ、武力ヲ用ヒズ、民衆ノ力ニ依リテ、或ハ「ストライキ」ヲ用ヒ、或ハ示威運動ヲ致シ、其他ノ直接行動ニ依リテ上海ヲ乘取ラントシテ居ルコトハ、既ニ諸君ノ知ラル、通りデアリマス、二月二十二日ノ夜ニ於テハ、江南機器局ノ前ニ碇泊スル軍艦ガ、佛蘭西租界ヲ砲撃シテ、多大ナル損害ヲ與ヘテ居ル、又二月二十八日ニ於テハ、兵工廠ノ倉庫ヲ燒拂テ、多大ナル軍器彈藥ヲ燒失シテ居ルノデアリマス、其他屢、民衆運動「ストライキ」若クハ示威運動ニ依リテ、上海ヲ略セントスル所ノ革命黨若クハ共產黨ノ計畫ハ、第一次ニ於テハ破レテ居ルノデアリマスルケレドモ、更ニ第二、第三、第四ノ計畫ハ、續々實行サレントシツ、アルノデアリマス、而シテ今南方ノ軍隊ハ長江方面ニ臨ミ、又一方ハ蘇州ノ方面ニ到リテ、殆ド上海ヲ包圍シテ、其南方政府ノ勢力範圍ニ入レントシテ居ルノデアリマス、此防備ノ任ニ當ルカガ、果シテ此北伐軍ヲ阻止スルコトガ出來ルカ、係傳芳氏ノ力ハ、今日ニ於テハ殆ド絶望ノ地位ニ立テ居ルト思ヒマス、而シテ此上海ノ經濟上ノ地位——我國ノ工業產業ノ最も支那ニ於ケル大切ナル上海ノ地、我國ノ資本ハ數億圓ノ資本ガ此處ニ投ゼラレテ居ル、又數萬ノ日本ノ臣民ガ、上海ニ於テ營業ヲシテ居ル、此上海ノ地點ガ、經濟上ニ於テモ、其他ニ於テモ、日本ノ製造工業並ニ商業ニ、實ニ重大ナル關係ヲ持テ居ルコトハ、申スマデモナイ次第デアリマス、而シテ此騒ギハ今將ニ起リツ、アル所ノ、内ニ於テハ上海ヲ占領セントスル所ノ國民黨ノ勢力、又外カラハ此軍隊ノ力ニ依リテ、上海ノ總テノ周圍ヲ勢力範圍ニ入レントスル、此危急ナル形勢ニ於テ、我國ノ經濟的利益、我が臣民ノ最も支那ニ於ケル關係ノアル此利益ヲ、如何ニシテ之ヲ保護スルコトガ出來ルノデアリマス、上海ノ治安並ニ此防備ニ對スル所ノ、政府ハ如何ナル施設ヲシテ居ラレカ、此點ニ付テ伺ヒタイノデアル、又現在ノ上海ニ於ケル所ノ此警備ノ任ニ當リテ居ル軍隊ハドレダケアルカ、其勢力ガ幾許アリマス、海軍ノ勢力、日本ヨリ派遣サレタル所ノ海軍ノ勢力ハ現在ドレダケアルカ、上海ノ同胞ヲ保護スル所ノ十分ナル力ヲ持テ居ラレカドウカ、數日前ニ海軍ヨリシテ派遣サレタ二隻ノ軍艦、其以外ニ日本政府ニ於テハ更ニ軍隊ヲ派遣スル必要ハ無イト感ズルカ、又從來ノ防備軍隊ニ依リテ、十分ニ我が臣民ノ利益、經濟的安寧ヲ圖ルコトガ出來ルカ、斯ウ云フ點ニ付テ、詳シク海軍大臣ノ說明ヲ求メタイト思フノデアリマス、又今上海ニ在ル所ノ陸戰隊ノ勢力ハ幾許アルカ、又其陸戰隊ノ勢力ニ依リテ、上海ノ防備十分デアリマス、ドウデアルカ、而シテ此上海ノ危機ニ臨ンデ、我國ハ何等列國ト協商ヲセズシテ、單獨ナル行動ヲ執リテ居ルヤ否ヤ、列國ト共ニ共同動作ニ依リテ、此上海ノ危機ヲ救ハントスルヤ否ヤ、斯ウ云フ點ニ付テモ、政府ノ說明ヲ求メタイト思フノデアリマス、尙ホ現在ノ支那ニ於ケル動搖ノ範圍ハ、極メテ廣ク極メテ大ナルモノデアリマス、既ニ漢口ニ於テハ、三宣洋行ノ掠奪事件ガアリ、各地ニ於テ日本ノ住民ガ被害ヲ受ケテ居ルコトハ、尠カラザル程度ニ上リテ居ルト思ヒマス、然ラバ此今日ノ問題ハ、單リ上海ノ問題ノミデナイ、各地ニ於ケル所ノ日本ノ臣民ガ支那内地ニ散在シテ居ル、之ヲ保護スルニハ、其生命ト財產ノ安固ヲ圖ルニハ、ドウスレバ宜イカ、又如何ナル政府ニ於テ御考ヲ持テ居ルノデアルカ、是等ノ點ニ付

テモ、詳細ナル說明ヲ伺ヒタイノデアル、又陸軍ノ移動ニ付テハ、政府ハ何等カノ考ヲ持テ居ルカドウカ、現ニ天津ニ於テ、我が現在ノ駐屯軍ノ勢力ハ、支那ニ於テドレダケアルカ、又此駐屯軍ノ勢力ガ、果シテ支那ノ内亂ニ對シテ十分ナル防備、十分ナル日本ノ地位ト名譽ヲ維持スルコトガ出來ルカ、其點ニ付テ陸軍大臣ノ說明ヲ伺ヒタイト思ヒマス、第二ニハ、租界ノ問題ニ付テ、外務大臣ノ意見ヲ質シタイト思フノデアリマス、支那ハ今極力租界ヲ奪回セントシテ居ルノデアリマス、極力租界ヲ支那ノ手ニ取戻サントシテ居ルノデアリマス、今日南方革命軍ノ主張スル所ヲ見ルト、總テ從來ノ各國ノ手ニ在ル租界ヲ皆支那ノ政府、支那國民ノ手ニ取戻サントスル所ノ考ヲ持テ居ル、是ハ今日支那ニ於ケル國民的運動ノ要求ニナリテ居リマス、而シテ此要求ハ、單リ南方ノ革命軍ノ要求ノミナラズ、北方ヲモ通ジテ同様ノ要求、同様ノ國民的要望ヲ持テ居ルノデアリマス、今日南方ノ唱ヘル所ノ思想ハ、現在南北ニ爭ヒテ居リマス、南方ノ思想ハ、既ニ支那全體ノ空氣トナリ、指導的精神トナリテ居ルト思ヒマス、既ニ漢口ハ此革命軍ノ手ニ落チ、昨日ノ上海ノ電報ヲ見レバ、此漢口ノ國民政府ノ人々ハ、日本ノ漢口ニ於ケル租界地モ之ヲ奪回セントスル電報ヲ受取テ居ルノデアリマス、而シテ其漢口ヲ奪回シタル所ノ同一手段ハ、今既ニ上海ニ於テ之ヲ實行セントシテ居ル、英米各國ガ今日上海ノミナラズ、支那ニ於ケル租界地ヲ支那ニ返サントスルノ希望ハ、申スマデモナク有ユル機會ニ於テ之ヲ發表シテ居リマス、唯、英吉利ガ上海ダケハ、總テノ租界地ハ支那ニ返シテモ上海ダケハ之ヲ守死シヤウトシテ、何所マデモ之ヲ其手ニ收メテ置カント

スルコトノ考ガアルラシク思ハレル、隨テ大軍ヲ送テ、サウシテ支那ニ於ケル上海ノ勢力ヲ維持セントスル計畫デアアルラシイ、又亞米利加モ之ニ對シテハ同様ナル考ヲ持テ居ルラシク思ハレル、二月ノ初メニ國務卿「ケロック」氏ガ北京ノ公使ニ電報ヲ打テ、上海ノ中立地帯ノ提議ヲ爲シタ、元來亞米利加ガ上海ノ中立地帯デアアルコトノ提議ヲ爲シタル事柄ハドウ云フ趣旨デアアルカ、又之ニ對シテ日本政府ハ何等提議ニ對スル意思ヲ表明シテ居ルカドウカ、又日本ニ對シテ此提議ガドウ云フ形ニ於テ提示サレテ居ルカ、此點ニ付テモ詳細ニ伺ヒタイノデアリマス、元來支那ノ租界地ノ制度ハ六十年來ノ發達デアリマスルガ、此處ニ於テ初メテ生命ト財産ノ安固ヲ保タレテ來テ居ル、此租界ニ依テ支那ノ貿易工業ガ非常ナル進歩ヲ爲シタコトハ申スマデモナイコトデアアル、此租界地ヲ、現在ノ列國ガ唱ヘルガ如クニ租界地ヲ廢シテ、之ヲ支那ニ返シテ、サウシテ眞ニ支那ノ内地ニ於ケル貿易工業ガ完全ニ行ハレ得ルカ、又列國ノ市民ガ支那ノ此動搖ノ中ニ於テ、完全ニ生命財産ノ保護ヲ受クルコトガ出來ルカドウカ、又今日我國ノ、狀態ヨリ之ヲ見マシタナラバ、日本人ハ元來同種同文ト唱へ、或ハ輔車唇齒ト云テ、支那ノ民衆ニ最も接觸ヲ保タナケレバナラヌ、又保ツベキ所ノ可能性ヲ持テ居ル國民デアアル、然ルニ租界ノ如キ一ツノ小サナル獨立ノ地劃ヲ擁シ、治外法權ニ依テ其國人ガ極ク僅ナル範圍ニ立籠テ、小サナル城郭ノ中ニ立籠テ、サウシテ此處ニ自分ノ國同様ナル生活ヲシテ居ルト云フコトガ、果シテ日本ノ利益デアアルカドウカ、斯ウ云フ點ハ元來支那ニ向テ工業商業ノ重大ナル利益ヲ持テ居ル我ガ國人ガ、痛切ニ之ヲ考慮セナケレバナ

ラヌ所ノ問題デアアルト思フ、政府ハ果シテ此租界制度ト云フモノニ對シテ、ドウ云フ御考ヲ持テ居ルカ、現在ノ制度ヲ維持セヤウト思フカ、ソレトモ又租界ノ制度ヲ撤廢シテシマテ、總テノ人ヲ支那ノ内地ニ入レテ、此處ニ縱横ニ活躍セシムルト云フ方針デアアルカ、從來ノ長イ支那ニ對スル此租界制度ヲ廢スルト云フコトハ、列國ノ等シク大ナル問題トシテ考ヘテ居ル所デアリマスルガ、今正ニ當面ニ其重大ナル問題ヲ解決セナケレバナラヌコトガ迫テ來テ居ルノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ如何ナル考案ヲ持タルカ、其點ニ付テノ質問ヲシタイト思フノデアリマス、第三ニ伺ヒタイト思フ點ハ、今日久シク南方ニ離伏シタル所ノ革命軍ガ、急速ノ發展ヲ致シテ武昌、漢口、南昌ヲ手ニ入レテ、サウシテ此處ニ長江一帯ノ地位、南部ハ悉ク其勢力範圍ニ入レタ時ニ於テ、革命軍ノ驚クベキ急速ナル勝利ハ、今迄ノ南方ニ於ケル革命運動トハ大ニ其趣ヲ異ニシテ、餘程根柢ノアル、力ノアル所ノ勝利デアリ、根據デアアル如クニ思ハレルノデアリマス、サウシテ今迄此楊子江一帯ノ地ニ蟠テ居タル所ノ中間ノ勢力、吳佩孚ハ既ニ武昌漢口ヲ失テ、河南ニ退イテ殆ド力ナク、サウシテ南方ニ於テハ浙江ハ既ニ南軍ノ手ニ陥リ、將ニ蘇州カラ安徽ニ這入テ、此一帯ハ完全ニ南方ノ勢力範圍ニ入ラントシテ居ル、孫傳芳氏ハ最早此北伐軍ニ對抗スル所ノ勢力ガ無イガ如クニ見エルノデアリマス、而シテ來ルベキ問題ハ南北ノ正面ノ衝突デアアル、楊子江ヲ挾ンデ南方ノ勢力ト北方ガ茲ニ血ミドロノ戰ヲ開カントスル其瞬間ニ臨ンデ來テ居ルノデアリマス、其結果ハ極メテ重大デアッテ、寒心スベキモノデアアルト思ヒマス、更ニ此支那ノ内亂ガ延長シテ、極端ナル戰ヲシテ數億

万人ノ人ガ長ク塗炭ニ苦ムト云フコトハ見ルニ忍ビナイコトデアッテ、軀テハ此動亂ノ結果ハ滿蒙ノ天地ニ向テ其勢力ノ震撼ヲ及ボス時代ガ來ルト思ヒマス、サウシテ今日ノ形勢ヲ見マズレバ、南方ノ勢力北方ノ勢力ハ殆ド揚子江ヲ挾ンデ其勢力ノ均衡ヲ得テ居ルガ如クニ見エルノデアリマス、南方ノ政府ハ破竹ノ勢ヲ以テ其北伐軍ヲ揚子江ノ沿岸マデ及ボシ、北方モ亦中間勢力ヲ失ツタケレドモ、北方勢力ハ南京ヲ中心トシ將ニ南軍ノ進路ヲ斷ツトシテ居ル、此形勢ハ全ク日本ノ國民ガ坐視スルコトノ出來ナイ絶好ノ機會デナイカト思フノデアリマス、此時ハ正ニ日本ガ支那ノ爲ニ圖リ、又日本ノ爲ニ圖テ、公平無私ノ態度ヲ以テ、南ニモ偏セズ北ニモ黨セズ、居中調停ヲ致シテ、南北ノ妥協ヲ圖ル其絶好ノ機會ガ今、我ガ國民ノ前ニ開展シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、若シ果シテ此妥協ガ成立シ得ルナラバ、茲ニ始メテ南北ノ勢力ヲ統一シ、支那ニ堅實ナル中央ノ政府ヲ打立テ、又國民ノ要望デアアル所ノ總テノ事柄モ解決サレテ、吾々善隣ノ誼、共存共榮ヲ唱ヘル所ノ此支那ノ完全ナル獨立ト進歩ヲ圖ルコトガ出來ヤウト思フノデアリマス、是ハ即チ隣邦デアアル我ガ日本國民ノ義務デアリ、又任務デアッテ、此任務ヲ果シ得ルモノハ、蓋シ日本ヨリ外ハ何處モナイト私ハ思フ、元來支那人ハ極メテ聰明ニシテ、サウシテ妥協性ニ富ンデ居ル國民デアアル、又今日支那ノ識者若クハ要人ト云フ人ハ、皆南北ノ妥協ヲ唱ヘテ居リマス、例ヘバ梁士詒氏ノ如キ王正廷氏ノ如キ、皆南北ノ妥協スベキ時機ハ今日ニ在ルコトヲ唱ヘテ居ル、南方ノ革命ヲ指導スル所ノ人々ノ中ニモ亦今日ノ時機ニ於テ妥協セントスル志ヲ持テ居ル、又北方ヲ中心トスル要

人ノ如キ張作霖氏ヲ始メ楊宇霆氏ノ如キハ、盛ニ南北ノ妥協ヲ説イテ居ル、此有ユル好機ニ於テ、支那ノ多年ノ混亂ヲ統一スルベキ所ノ、又融合スベキ所ノ機會ガ吾々國民ノ前ニ開展セラレテ居ルト云フコトヲ思フノデアリマス、政府ニ於テ此機會ニ於テ南北ヲ妥協セシメ、サウシテ支那ヲ——善隣支那ノ此形勢ヲ緩和シテ、茲ニ完全ナル國家ノ統一ト、支那ノ發達ノ爲ニ助力スルト云フ考ハ持テ居ラナイカドウカ、私ハ此居中調停ハ公平無私ニシテ、南ニモ偏セズ北ニモ黨セズ、日本ガ誠心誠意ヲ披イテ、支那ノ爲メ、隣國ノ爲ニ盡スル誠意ヲ以テヤッタナラバ、必ズ爲シ得ル事業デアラウト考ヘルノデアリマス、政府ハ干渉主義ノ名ニ於テ、斯様ナル深切ナ事柄、支那ノ爲ニ圖テモ、又日本ノ爲ニ圖テモ、セナケレバナラナイ此事業ヲ、ドウ考ヘテ居ラレルカ、是ハ私ガ外務大臣ニ問ハントスル所ノ第三ノ點デアリマス、最後ニ一ツ御尋シタイ點ガアル、其最後ニ御尋セントスル問題ハ、我ガ支那ニ對スル國策ノ根本ノ問題デアッテ、特ニ私ハ今日總理大臣ノ出席ヲ求メテ、此支那ニ對スル根本國策ノ問題ニ對スル意見ヲ求メントシテ居ルノデアリマス、我ガ政府ハ今日ノ南方ニ於ケル所ノ國民政府ヲ如何ニ考ヘテ居ラル、ノデアリマス、又今日ノ排英運動——英國ヲ排斥スル所ノ支那ノ國民運動ハ、ドウ觀察セラレテ居ルノデアリマセウカ、今日私ハ南方ノ新興勢力ノ背後ニ露西亞「ソビエト」ボルシェビキ」ノ勢力ガ、其精神的物質的ノ援助ヲ與ヘテ居ルカ無イカト云フコトヲ、此所ニ論ジャウトスルノデモナイ、又質問シヤウトスルノデモナイ、又今日ノ南方革命軍ノ主動的精神ガ、孫文ノ所謂三民主義デアアルカ、ソレトモ亦「ソビエト」ノ

共產主義デアルカト云フコトヲ、政府ニ其意見ヲ問ハントスル者デモナイ、唯、今日革命軍ノ唱ヘル所、革命政府ノ聲明スル所ノ大膽ナル宣言ニ依テ之ヲ見レバ、彼等ノ要求スル所ノモノハ、英國ノ勢力ヲ全支那ヨリ驅逐シヤウト云フ聲明デアル、英國ヲ征伐スル、全力ヲ擧ゲテ英國ノ勢力ヲ驅逐スルト云フコトガ、彼等南方ノ主張スル所デアリマス、英國ハ帝國主義ノ國デアル、資本主義ノ巨魁デアル、此帝國主義、資本主義ノ巨魁デアル所ノ英國ヲ、絶對的ニ支那ヨリ驅逐シヤウト云フコトガ、今日ノ南方政府國民的運動ノ要求デアリマス、而シテ上海ヲ國民ノ手ニ——南方政府ノ手ニ奪回シヤウトスル所ノ主張モ、詰リ上海ハ英國ノ資本主義ノ巢窟デアル、帝國主義ノ牙城デアルト云フコトヲ考ヘテ、上海ヲ取レバ茲ニ英國ノ勢力、資本主義の帝國主義ノ勢力ヲ全部覆スコトガ出來ルト云フ所ノ考ニ依テ、上海ヲ取ラントシテ居ルノデアル、曩ニ露西亞ノ最高顧問デアル「ボロイデン」ガ漢口ニ於テノ演説、指導的演説ヲ見テモ、英國ヲ覆スコト云フコトヲ先決問題トセヨ、佛蘭西ノ如キ、日本ノ如キ、亞米利加ノ如キ、小帝國主義、小資本主義ノ國ハ悉ク倒レテシマフ、英國サヘ倒セバ、是等日本ノ如キハ、皆悉ク其勢力ヲ一蹴スルニ足ル、所謂豺狼途ニ當ル何ゾ狐狸ヲ問ハント云フヤウナ勢ヲ以テ、今日英國ノ帝國主義、資本主義ヲ倒サントシテ居ルノデアル、是ガ今日ノ南方革命政府ノ要求デアル、而シテ此要求ハ獨リ南方ノミナラス、北方ニ於テモ同一ノ聲明ヲ爲シテ居ル、今日ハ殆ト支那ヲ通ジテノ大ナル叫トナッテ居ルノデアアル、此要求ノ前、此強キ支那ノ要求ノ前ニ、英國ハ殆ト今日ハ屈伏セントシテ居ルノデアアル、此國民的強烈ナル要求ノ前ニ、英國

ハ白旗ヲ擧ゲテ、此前ニ平伏セントシテ居ル、サウシテ支那ノ歡心ヲ得ヤウトシテ居ル、其證據ニハ關稅ノ問題ニ付テモ、日本ヲ裏切り、或ハ日本ノ意圖ヲ考ヘズシテ、支那ニ媚ントシテ居ル、或ハ租界ヲ支那ニ返スト云フ聲明ニ於テモ、或ハ出兵問題ニ於キマシテモ、又曩ニ「オースチン、チャンバレン」ガ自分ノ選舉區ニ於ケル對支那ノ外交演説ヲ見マシテモ、悉ク英國ガ今日ノ支那ニ歡心ヲ求メントスル、殊ニ南方政府ノ歡心ヲ得ントスル所ノ態度ガ現レテ居ル、米國モ亦同様ニ彼ノ國務卿「ケロウグ」氏ノ對支宣言ニ於テモ、如何ニ帝國主義ト呼バレルコトヲ、亞米利加ガ心配シテ居ルカ、如何ニ躊躇ナク彼ノ持ッテ居ル國際上ノ特權ヲ放棄スルコトヲ考ヘテ居ルカ、斯様ニシテ今日ハ、英吉利モ亞米利加モ、支那ノ軍門ニ——外交ノ軍門ニ兜ヲ脱ギツ、アルノデアル、支那ノ外交ハ今日大ナル勝利ヲ得テ、列國ヲ自由自在ニ操弄シテ居ルト思ハレルノデアリマス、此形勢ヲ作ッタクモノ、今日ノ支那ガ外交上ニ於ケル大ナル勢力、列國ヲ兩手ニ操弄シテ居ルヤウナ斯様ナ勢力ヲ作ッタクモノハ、何デアアルカト云ヘバ、即チ支那ニ於ケル列國協調ガ破壞サレタト云フコトガ、根源デハナイカト思フ、是ハ外務大臣ガ、曩ニ貴族院デアリマシタカ何所カデ、列國ノ協調ハ破レテ居ラヌト云フヤウナコトヲ言ハレタガ、私ハ列國協調ハ悉ク破レテ居ルト思フ、事實ハ最モ雄辯ニ之ヲ語ッテ居ルデハナイカト思フ、先ツ第一ニ、日本ガ十四年ノ關稅會議ノ時ニ於テ、關稅ノ自主權ヲ列國ノ何人ニモ相談セズシテ、突如トシテ之ヲ言出シタト云フコトハ、即チ此聲明ハ、從來ノ列國ノ協調ヲ破ッタ所ノ第一聲デナケレバナラヌト思フノデアリマス、又ソレニ對シテ英吉利ガ、華盛

頓會議ニ於ケル所ノ規定ヲ無視シテ、附加稅ノ徵收ヲ支那ニ許シタト云フヤウナコト、又英吉利ガ大兵ヲ支那ニ出スコトニ付テモ、何等ノ相談モ無ク、租界ヲ拋棄スルコトニ付テモ、列國間ニ何等ノ協調モ無ケレバ相談モ無イ、又近クハ米國ガ上海ノ中立地帯ノ宣言ヲ提議シタコトニ付テモ、何處ノ國ニモ何等ノ相談ヲ與ヘテ居ラス、斯様ニ國際上ノ重大問題ガ、少シモ相談無ク行ッテ居ルト云フコトハ、是ハ何ヨリモ明ナ證據デハナイカ、列國協調ハ支那ニ於テ悉ク破レテ居ル、支那ニ於テハ殆ト列國ノ從來ノ傳統的ノ協調ハ支離滅裂シテ居ル、協調ハ全滅シテ居ル、サウシテ列國ハ競ッテ歡心ヲ支那ニ求メントシテ居ル、北京ニ於ケル外交團ノ威信ノ如キハ、殆ト地ヲ拂ッテ空シト云フ、狀態ニナッテ居リマス、此列國協調ノ破レタ事柄ハ、支那ヲ最モ有利ニ導イテ來テ居ルニ相違ナイ、而シテ此協調ヲ破ル所ノ第一ハ何人デアッタカト云ヘバ、私ハ之ヲ日本デアッタト云フノデアル、諸君、私ハ此協調ヲ破ッタコトガ善イトカ惡イトカ云フコトヲ今日茲ニ問フノデアナイ、又論ズルノデモナイ、日本ノ外交ガ兎ニ角今日支那ニ於テ最モ危機ニ臨ンデ居ルト云フコトヲ考ヘルノデアル、而シテ何等ノ協調ガ各國ノ間ニ行ハレテ居ラヌト云フコトガ、今日支那ニ於ケル外交上ノ紛糾ヲ來シテ居ルノデアアル、私ハ協調ヲ破ッタコトヲ善イトモ惡イトモ今日此處デ言ヒマセヌ、言ハヌガ、ソレハ兎モ角モ、協調ノ破レタガ爲ニ、今日支那ヲシテ最モ有利ナル外交ノ立場ニ置キ、而シテ列國ガ爭ッテ歡心ヲ支那ニ買ハントスルヤウナ態度ヲ持來ラシタノデアアル、今日日本ノ支那ニ對スル國策ハ、不干渉主義、超然主義ヲ唱ヘテ居ルガ、此不干渉主義、超然主義ナルモノヲ私ハ今日

是非セントスル者デモナイ、唯、今日ノ外交ガ甚ダ不明瞭デアリ、不徹底デアリ、又極メテ左顧右顧シテ何方ニモ就カズ、又何方トモ言ハズ、極メテ灰色ノ外交デアルト云フコトガ、今日支那ニ於ケル日本ノ外交ノ立場ヲムヅカシクシ、又混亂シハセヌカト思フノデアアル、列國カラ之ヲ見レバ——少クトモ英國ハ今日、日本ハ列國協調ノ破壞者デアアル、又列國協調ノ反逆者デアルト云フコトハ、彼等ガ考ヘテ居ル所デアアル、又支那ヲ援ケテ英國ヲ苦シメルモノハ日本デアルト云フコトヲ英國人ハ少クトモ肚ノ中ニ考ヘテ居ルノデアアル、併ナガラ又一方支那カラ之ヲ見ルト、今日少クトモ覺醒セル所ノ支那國民ノ感情カラ見レバ、矢張日本ハ英吉利ト同罪デアアル、帝國主義ノ國デアアル、資本主義ノ國デアアル、英吉利ガ破レタル曉ハドウナルカ、英國ガ今日支那ニ於テ其勢力ガ覆ヘサレタ曉ニ於テハ、英吉利ニ向ケタル同一ノ論法ガ直ニ日本ニ向ッテ勢ヲ來ルコトハ、明言スルヲ憚ラナイト思フノデアリマス、斯ウナッテ來タナラバ、日本ハ所謂狡兎死シテ走狗烹ラル、今日日本ノ爲シタル好意モ結局英吉利ト同ジヤウニ——英吉利ガ倒レタ後ニ於テハ、同一ノ鋒先ト同一ノ攻撃ハ日本ニ向ッテ浴セ掛ケラレテ來ルノデアリマス、是ハ日本ニ取ッテ考ヘナケレバナラヌ秋デアアル、又此點ニ付テ政府ニ聽カウト思フノデアアル、今日支那ノ國民ハ未會有ニ覺醒シツ、アルト云フ事實ハ、是ハ否ムコトハ出來ナイ、又今日支那ノ國民ガ大勢力ヲシテ完成セントスル、獨立ノ國家ヲ建設シヤウトスル其努力モ認メナケレバナラナイト思フ、サウシテ日本國民ノ感情カラ之ヲ言ッタナラバ、又日本國民ノ希望カラ之ヲ言ッタナラバ、日本ハ日支親善デアルト言ヒ、共存共榮デアアル

ト言ヒ、又同種同文デアルト言フ、此感情ト此思想ハ——新シク起リツ、アル所ノ此新興ノ勢力ヲ日本ハ之ヲ無視スルコトハ出來ナイ、之ニ向テ冷酷ナル態度ヲ執ルコトハ日本ノ國民ノ感情ガ許サナイノデア、故ニ今日ハ私ハ日本ノ國民ガ支那ニ對シテ、其態度ヲ明白ニシ、日本ノ國策トシ、日本ノ外交トシテモ今少シク日本ノ態度ヲ鮮明ニシナケレバナライ時ガ眼前ニ來テ居ルト思フ、即チ日本ハ支那大陸ニ於テ、英米ト協調シ——英米ノ勢力ト提携ヲシテサウシテ此紛糾シツ、アル所ノ支那ノ時局ヲ治メテ行ク、協調ノ威力ニ依テ爲セバ爲サレヌコトハナイツト思フ、之ニ由テ支那ノ破壞サレントスル現狀ヲ維持シテ行クカ、ソレトモ亦新興ノ勢力ヲ認メテ、サウシテ覺醒シツ、アル所ノ此支那ノ民衆ノ要求ニ對シテ、即チ民族主義、或ハ平等主義或ハ國際的「デモクラシー」ノ此主張ヲ容レテ、同時ニ又「ソビエツト」露西亞トノ諒解ヲモ得ナケレバナラス、提携ヲモシナケレバナラス、少クトモ露西亞ト支那ト結バントスル時ニ於テハ、露西亞ト提携ヲシナケレバ不可能ノ事デアルト思フ、露西亞ヲ排斥シテ支那ト結バントスルヤウナコトハ、殆ド困難ナ事デハナイツト思フ、民國九年以來茲ニ數年ノ間露西亞ガ養テ來タ所ノ南方ノ勢力、是ハ一朝一夕ニシテ驅逐スルコトハ不可能デアリマス、又露國ガ支那國民ノ感情ヲ捉ヘテ平等ノ條約ヲ結ンデ、サウシテ今日露國ガ支那ノ民衆ノ歡心ト、民衆ノ好意ヲ得テ居ルト云フコトハ容易ニ此間ヲ離スコトハ出來ナイツト思フ、支那ノ問題ヲ解決シ支那民衆ト手ヲ握ラントスルナラバ、ドウシテモ露西亞ヲ閉却スルコトガ出來ナイ、支那國民ノ問題ノ解決ニハ露西亞ト「アンタント」ガ必要ニテ來ルノデ

アリマス、日本ハ早ク既ニ「ソビエツト」露西亞ヲ承認シ、露國ト締盟ノ條約ヲ結ンデ居ル、又支那問題ニ付テ露國ト相談ヲシテ、又諒解ヲスルト云フコトハ決シテ不都合ナ事デナイ、十分ニ道理ノアル事デアルト思フ、要スルニ今日ノ支那ニ對スル國策ハ、英米ト協調シテ行クカ、或ハ露國ト相談シテ行クカ、此英米ノ資本主義ト手ヲ携ヘテ行ケルカ、又新興ノ支那ノ要求ヲ容レテ、支那民衆ト握手ヲシテ行クカ、茲ニ日本ノ新シキ國策ヲドラニ向ケテ行クカト云フコトヲ、決メナケレバナラス時デアルト思フ、之ヲ私ハ政府ノ首相タル若槻總理大臣ニ國策ノ根本ニ付テ意見ヲ問ハントスルノデア、若シ今日御出ニナラヌナラバ、外務大臣ヨリ之ニ對スル意見ヲ求メルノデアリマス、此隣邦未會有ノ擾亂ト、國民的運動ノ前ニ於テ、政府ニ對シテ支那ニ對スル國策ノ判然タル針路ヲ定メンコトヲ、吾々ハ望ンデ居ルノデアリマス、私ノ質問ノ要點ハ以上四ツノ點デアリマス（拍手）

○副議長（小泉又次郎君） 財部海軍大臣（國務大臣財部彪君登壇）

○國務大臣（財部彪君） 松本君ノ御質問ノ中デ私ニ關係スル部分ヲ、私カラ御答辯申上ゲタイト思ヒマス、揚子江一帶ニ展開シテ參ッテ居リマス所ノ目下ノ局面ニ付キマシテ、我國ノ關係スル利害ハ、頗ル大ナルモノガアル、之ニ對シテ深甚ナル注意ヲ要スルト云フコトハ、全然松本君ノ御説ト同感デゴザイマス、故ニ平生揚子江一帶ノ地方ニ於キマシテハ、警備艦ト致シテ巡洋艦、驅逐艦、河用砲艦等ヲ合セマシテ、大小十一隻ノ警備艦ヲ派遣致シテ居リマスルガ、更ニ漢口方面ノ形勢ガ迫ッテ參リマシテ、是ガ漸次九江又ハ上海方面ヘマデモ

波及セントスルノ有様ニナッテ參リマシタカラ、漸次ニ増援致シマシテ、今日デハ巡洋艦三隻、驅逐艦八隻増援致シテ、目下總隻數ハ二十二隻ニ上ッテ居リマス、尙ホ上海ニ於キマシテハ、我國ノ在留民ノ數モ、他ニ比較シテ比較ニナラヌ程多數ノ人ガ居ルノデアリマシテ、二万五千ト稱セラレル所ノ居留民ノ生命財產ノ保護、其他上海ニ於テハ、紡績等ノ工業ヲ始トシテ、日本人ノ關係シテ居ル事業モ少カラヌノデアリマスカラ、萬一ノ場合ヲ顧慮致シマシテ、警備ノ任務ヲ完ウセシガ爲ニ、派遣艦以外ニ、更ニ約一千五百名ノ陸戰隊ヲ派遣致シテ居リマス、併シ此陸戰隊ハ、未ダ今日ニ於テハ上陸サセテ警備任務ニ服セシムルノ必要ハ認メマセヌカラ、其艦上ニ在ッテ待機ノ姿勢ニアル次第デゴザイマス、此間ニ於キマシテ、揚子江一帶ニ利害關係ヲ持ッテ居リマス所ノ列國モ、亦警備増加ノ必要ヲ認メマシタモノト見エマシテ、漸次警備艦船ノ數ヲ増シテ參リマシタ、今日此一帶ノ方面ニ居ル所ノ船ヲ見マスト、英國米國ガ各、二十八隻、佛蘭西、伊太利、和蘭、各一隻、之ニ我國ノ二十二隻等ヲ加ヘマシマス、八十九隻ト云フ大多數ニナッテ居リマス、ソレカラ又上海方面ニ向ヒマシテモ、英國ハ陸兵ヲ派遣致シマシテ、今日既ニ英國ハ七千六百ノ兵ヲ陸上ニ上ゲテ居リマス、佛蘭西ガ三百名、伊太利ガ百八十名、是ダケガ既ニ上海ニ上陸致シテ、警備ノ任ニ就イテ居リマス、日本ノ千五百名ト、亞米利加ノ二千三百名ノ陸戰隊ハ、未ダ陸上ノ配備ニハ就イテ居リマセヌ、御尋ノ第二ノ部分ハ、主トシテ上海地方ニ於テハ、各國共同警備ノ任ニ服スル積リデアカト云フ御尋ガアタヤウデアリマス、ソレハ其通りデアリマス、豫テカラ上海ノ如キハ、

各國ノ居留民モ相混淆シテ住マッテ居リマス、又事業ヲ起シテ居ル場所等モ方々ニ散在シテ居リマスカラ、豫テ此共同租界及佛蘭西租界ノ警備ニ付キマシテハ、步調ヲ合セテ、警備ノ任ニ當ルコトニ申合セガ出來テ居リマスガ、今回ハ二月始メ以來數回ニ亙ッテ、三回カト覺エテ居リマスガ、各國ノ海軍ノ指揮官ノ會同ヲ、米國ノ旗艦「ビツツバーク」ト云フ艦ノ上ニ催シマシテ、萬一ノ場合ニ遺憾ノナイヤウニ努メテ居リマス、前ニ申シマシタ如ク、上海ニ居リマス所ノ各國ノ兵員ノ數モ、既ニ一萬千八百八十名ト云フ多數ノ兵員ニ上ッテ居リマスカラ、先ヅ是ダケノモノガ協調ヲ保ッテ、サウシテ此警備ノ任ニ當リマシタナラバ、サウ心配スルコトハナカラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ今後ノ形勢ノ變化ハ、今カラ何トモ申上ゲラレマセヌ、今後若シ吾々ガ豫期スル以上ニ惡化スルコトガゴザイマシタナラバ、其時ハ更ニ我國ヨリハ手近カナコトデモゴザイマスカラ、海軍ノ兵力ヲ増員致ス準備モ致シテ居リマス、マダソレデ足リマセヌ時ハソレ以上ノ準備モソレト政府ニ於テハ致シテ居リマス、以上御答申上ゲテ置キマス

○國務大臣（宇垣一成君登壇）

○國務大臣（宇垣一成君） 松本君ガ陸軍ニ對シテハ、北支那ノ駐屯兵力ガドノ位アルカ、又其兵力ヲ以テ、現時ノ支那ノ混亂シテ居ル所ノ時局ニ對シテ十分デアアルヤ否ヤト云フ意味ノ御問デアルト拜承シテ居ルノデアリマス、北支那ニ現在駐在致シテ居リマス日本ノ兵力ハ、約六百名バカリデアリマス、是ハ同方面ニ駐屯シテ居ル所ノ日、英、米、佛、伊、五箇國ノ中デ、兵數ノ關係カラ申セバ、第四位ニ屬スル、斯ノ如ク他ノ國ニ比較スレバ、極ク僅ナ兵力デアリ

マスガ、併シ日本ノ地理的關係カラ考ヘマ
スレバ、サウ列國並ニ致ス必要モ無イト思
テ居リマスガ、併シ現在ノ所デハ、聊カ手
薄ト考ヘマシテ、本年度ノ豫算ニ於テ、若
干ノ増兵ノ豫算ヲ要求致シマシテ、既ニ本
院ノ御協賛ヲ得テ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、ソレガ實現スレバ約一千近クニナルト
存ジマス、諸テ現時ノ時局ニ對シテ、現在
ノモノデドウデアアルカト云フ事ニナリマ
スト、如何ニモ支那ハ殆ト全土ニ亙テ動
亂ノ巷デアルト申シテ宜シイガ、併シハ
主ニ内輪ノ事柄デ、又多少外國ニ對スル事
モアリマスガ、今日デハ日本ニ對シテドウ
斯ウト云フコトモ無イヤウナ次第デアリマ
スカラ、此時局ニ對シテ陸兵ヲ増加シ、若
クハ移動スルト云フ必要ハ認メテ居リマセ
ヌ、併シ今後ノ狀況ノ變化ニ應ジテハ、何
時タリトモソレニ對應スルダケノ考ハ持
テ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇〕

○國務大臣男爵(幣原喜重郎君) 松本君カ
ラ私ニ對シテ御質問ガアリマシタ、第一點
ハ、支那ニ於ケル租界ノ處分ニ關シ日本政
府ノ意見如何ト云フコトデアリマス、租界
ト言ハレルノハ、恐クハ日本ノ專管居留地
ノコトヲ指サレタノデアラウト思フノデア
リマス、御承知ノ如ク、居留地ノ制度ト云
フモノハ、支那ニ於キマシテハ外國人ノ内
地雜居ヲ認メズ、而シテ外國人ハ治外法權
ヲ享有シテ居ル、斯ウ云フ場合ニ於テ、外
國人ガ支那ニ於テ商工業ヲ營ム目的ノ爲
ニ、何カ居留地ト云フモノガナクテハナラ
ヌ、斯ウ云フ風ナ特別ノ目的ヲ以テ設定サ
レタモノデアリマスルカラ、其性質上ヨリ
見テ、一時的ノ制度デアルト私ハ思フノデ
アリマス、若シ外國人ガ安心シテ支那ニ於
テ居住シ、商賣シ、其他ノ事業ニ從事シ得ル

途ガ立ツナラバ、之ヲ永久的ノ制度ト致ス必
要ハ少シモナカラウト思フノデアリマス、御
承知ノ如ク日本自身ニ於キマシテモ、昔ハ
居留地ト云フモノガアツタノデアリマスガ、
日本ノ法制ノ完備、其他總テノ行政ノ整頓
ニ依テ、外國人ハ治外法權ヲ撤去シ、且ツ
居留地ト云フモノヲ其附近ノ市中ニ包含ス
ルコトヲ承諾致シタノデアリマス、隨テ支
那ニ於ケル日本ノ專管居留地モ同様デアラ
ウト思フ、是ハ永久ノ制度トハ私ハ思フテ
居ナイノデアリマス、吾々ハ今日ニ於キマ
シテハ、支那ノ何レノ方面ヨリモ、日本ノ
租界ノ問題ニ關シマシテ、何等ノ交渉ヲ受
ケテ居ナイノデアリマス、若シ支那ヨリ他
日何等カノ交渉ガアル場合ニハ、能ク支那
人ノ意嚮ノ如何ヲ察シマシテ、國民的希望
ノ如何ナルモノナルカヲ認メマシタ上ハ、
十分支那ノ立場ニモ同情ヲ致スベキ點ガア
ルト認メマスレバ、ソレニ依テ然ルベキ
處置ヲ致シタイト思ヒマス、今日ヨリ致シ
マシテ如何ナル條件ヲ以テ之ヲ支那ニ還付
スルカトカ、或ハ還付スルモノナリヤ否ヤ
ト云フヤウナコトヲ、今日ニ於テ豫メ申上
ゲル必要モナカラウシ、又申上ゲルコトハ
極メテ有害デアラウト思フノデアリマス、
ソレカラ第二ノ御質問ハ、支那人ハ今日南
方ト言ハズ北方ト言ハズ、妥協ヲ希望シテ
居ル、隨テ今日ハ日本ガ居中調停ヲ致ス絶
好ノ機會デアルト仰セラレタノデアリマ
ス、之ニ對スル政府ノ意見如何ト云フコト
デアリマスガ、私ハ今日南北ガ總テ妥協ヲ
希望致シテ居ルト云フコトニ對シマシテ
ハ、疑ヲ持テ居ルノデアリマス、果シテ
南北各方面ガ一樣ニ妥協ヲ希望致シテ居ル
カ、是ハ疑問デアルト考ヘル、況ヤ外國ノ
居中調停ニ依テ、南北ノ妥協ヲ圖リタイ
ト云フコトヲ希望致シテ居ルト云フコト

トハ、尙更疑問デアルト考ヘマス、申スマ
デモナク、居中調停ヲヤリマススト云フコト
ニナリマスレバ、雙方ノ當事者ガ之ヲ希望
致シマシテ、日本其他外國ノ努力ニ依テ
妥協ヲ成立致シタイ、自分等ダケデハ力ノ
及バヌ所ガアルカラ、外國カラ一ツ橋渡シ
ヲシテ貫ヒタイト云フヤウナ場合ニナリマ
スレバ、是ハ日本ト致シマシテハ固ヨリ隣
邦ニ對スル同情カラ申シマシテモ、亦日本
自身ノ見地カラ致シマシテモ、是ハ喜ンデ
居中調停モ致スノデアリマス、出來ルダケ
ノ努力ハ何デモ致スノデアリマス、併ナガ
ラ其時機ノ熟シナイ時ニ於キマシテ、日本
ヨリ居中調停ヲ致スト申シタ所ガ、支那ノ
方デ御免蒙ルト言ハレ、バ、ソレダケノコ
トデアル、是ガ良イ結果ヲ齎サヌノミナ
ラズ、却テ惡イ結果ヲ來スト云フコトモ考ヘ
ナケレバナラヌノデアリマス、隨テ今日支那
ノ南北ガ妥協ヲ希望致シテ居ルカラト云フ
ガ爲ニ、日本ガ居中調停ヲスル絶好ノ機會
デアルトハ私ハ信ジテ居リマセヌ、其次ハ
總理大臣ニ御聞ニナツタ一點ガアルノデア
リマスガ、今日總理大臣ハ少シ咽喉ヲ痛メ
テ居リマシテ、出席致シテ居リマセヌノデ、
私カラ答ヘテモ宜シイト云フコトデアリマ
スカラ、一言御答申シマス、要スルニ松本
君ノ御質問ノ要旨ハ、支那ニ對スル國策如
何ト云フコトデアリマス、此事ニ付キマシ
テハ本年ノ一月、休會明ケノ議會ノ劈頭ニ
於キマシテ私ハ支那ニ對スル日本ノ國策如
何ト云フコトハ、十分説明致シタ積リデア
リマス、此際之ニ附加ヘテ申上ゲルコトハ
私ハナイト思フノデアリマス、唯、一言此際
明カニ致シテ置カケレバナラヌコトハ、
只今松本君ハ列國ノ協調ヲ破ツ責任者ハ
日本デアルト云フガ如キコトヲ仰セラレ
タ、是ハ如何ナル事實ヲ指シテ左様ナ事ヲ

申サレルノデアリマスガ、或ハ關稅會議ノ
劈頭ニ於テ、日本ガ關稅自主權ヲ認メルガ
如キ提議ヲ致シタ、是ガ列國ノ協調ノ破レ
ルヤウニナツタ初リデアルト云フヤウナコ
トモ御話ニナリマシタガ、是ハ事實ニ反シ
テ居リマス、御承知デモアリマセウガ、關
稅會議ガ開始セラレマス前ニ、即チ亞米利
加ヨリ招請ガアリマス前ニ、支那政府ハ關
稅自主權、其他ノ所謂不平等條約ナルモノ
ニ付テ、此關稅會議ノ機會ニ議シテ貫ヒタ
イ、サウシテ不平等ナル所ハ之ヲ改正致シ
タイト云フ希望ヲ持テ居ルト云フコトヲ
列國ニ申出デタノデアリマス、之ニ對シテ
列國ハ殆ト同文ノ回答ヲ致シテ居ル、其中
ニモサウ書イテアル、關稅自主權ノミナラ
ズ、支那ノ正當ナル國民的希望デアアルナ
ラバ、列國ハ此關稅會議ノ機會ニ於テ、十
分同情ヲ以テ之ヲ考慮スルニ憚ラズト云フ
コトヲ明言致シテ居ルノデアリマス、即チ
關稅自主權ノ問題ガ此關稅會議ニ於テ起ル
ト云フコトハ、列國モ初メヨリ豫想致シテ
居タコトデアル、列國ガ同情ヲ以テ考慮ス
ルノデアルト云フコトハ、列國全體ノ一致
セル意見デアツタノデアリマス、從テ此關
稅自主權ノ問題ヲ日本ノ委員ガ申シ出シタ
ト云フガ爲ニ、日本ガ列國ノ協調ヲ破ツタ
ト云フヤウナコトハ斷ジテナイノデアリマ
ス(拍手)

○松本君平君 尙ホ此席カラ御導致シタイ
ト思ヒマス、租界ニ對シテハ外務大臣ハサ
ウ云フコトヲ言フ必要ハナイ、言フコトハ
有害デアルト云フコトヲ言ハレタヤウニ聽
イテ居リマス、ケレドモ列國共今日ハ既ニ
租界ノ問題ニ付テハ其意見ヲ發表セラレテ
居テ、サウシテ英吉利ヲ初メ、亞米利加ニ
於テモ同様、白耳義ノ如キハ既ニ天津ノ租
界ヲ支那ヘ還シテ居ル、殆ト今日ハ列國ハ

相界ニ關スル所ノ意見ヲ遠慮ナク發表シテ居ルノデアリマス、然ルニ外務大臣ガ今日相界問題ニ付テ言フコトガ有害デアルト云フコトハドウ云フ意味デアルカ、私ハ支那ニ對シテ眞ニ日本ガ好意ヲ以テ現在ノ支那ヲ救ヒ、支那ノ獨立ノ爲ニ、好意ヲ以テ支那國民ヲ援ケルト云フ誠意ガアルナラバ、此問題ニ付テ明ニ意見ヲ發表スルコトハ、單リ日本ノ利益デアアルノミナラズ、支那ニ對スル一ツノ好意デアルト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、其有害デアル所以ヲ一ツ伺ヒタイデアアル、又南北ノ妥協ニ付テハ今ハ其機會デナイ、南部ノ人モ北部ノ人モ全部妥協ニ反對シテ贊成ヲシテ居ルトハ見ナイト言ハレルガ、無論南北ノ人ガ全部妥協ニ付テ贊成シテ居ルモノナラバ、何モ日本ノ仲裁ヲ要スル次第デハナイ、今日ハ既ニ其形勢ガ熟シテ居ル、南北ノ人——局外ノ人サヘモ妥協ヲ望シデ居ルケレドモ、此妥協ヲスルニ付テハ適當ナル仲裁者ガナイコトニ苦シンデ居ルガ如キコトガ見エルカラ、政府ハ此際何等カノ力ニ於テ之ヲ進メルト云フコトガ、支那ニ對スル所ノ好意デアルマイカ、此點ヲ伺ヒタイデアリマス、又關稅會議ノ問題ニ付テ申サレテ居リマスルガ、日本ガ所謂調停ヲ破タモノデナイト云フ御説明ガアリマシタガ、協調ガ今日尙ホ北京ニ於テ行ハレ、支那ニ於テ列國ノ協調ガ行ハレテ居ルト云フ事實ハ決シテナイノデアアル、若シアッタナラバ何故ニ出兵ノ問題ニ付テモ、此重大ナル問題ヲ相談シナイカ、又亞米利加ガ中立ノ提議ヲスルニ付テモ、何故ニ日本ニ相談ガナイカ、總テノ重要ナル問題、相界ノ問題ニ付テモ其通りデアアル、英吉利ハ遠慮ナク相界ヲ還スト云フコトヲ言ウテ居ルノデアアル、支那ニ於ケル列國ノ利害關係ノ重大ナル問題ヲ、何等

日本ニ相談ナクシテヤルト云フコトハ、即チ協調ガ破レテ居ル證據デハナイカ、事實ハ何ヨリモ雄辯ニ語ル、即チ外務大臣ノ雄辯ヨリモ此事實ノ方ガ明白デアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)是等ノ點ニ付テ私ハ今日ノ日本ノ列國ニ對スル所ノ態度並ニ列國ノ協調ノ破レテ居ル事柄ハ、之ニ付テ言フノデハナイガ、私ノ外務大臣ニ問ヒ首相ニ問ウタノハ——首相ハ外交演說ノ初ニ述ベタト言フケレドモ、私ノ問ウタ要旨ハ少しモ違フテ居ラレナイノデアリマス、私ノ今日言フノハ、其協調ガ依然トシテ——若シ破レテ居ルナラバ、是ハ列國協調デ支那ノ外交ニ臨ンデ、支那ノ時局ヲ救済シテ行クカ、然ラザレバ南方ノ新シキ勢力、國民的運動、是等ノ新興ノ勢力ヲ助ケテ、サウシテ露西亞ト相並ンデ進ンデ行クカト云フコトハ重大ナル問題デアリマス、外務大臣ノ演說ヲ幾度拜聽シテモ、此要點ニハ觸レテ居ラレナイ、此點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ私ハ陸海軍大臣ノ御説明ニ對シテハ、詳細ナル御意見御説明ガアツテ、尙ホ之ニ付テハ支那ノ現代ノ時機ノ甚ダ重大ナルコトヲ、當局者殊ニ陸軍大臣ハ、此方面ニ於テ違算ナク日本人ノ生命ト財產ノ安固ト、サウシテ國民ノ信望ヲ失ハレナイヤウニ、御注意アラシメコトヲ切ニ祈ルノデアリマス○副議長(小泉又次郎君) 支那時局ニ對スル緊急質問提出者町田武馬君

支那時局ニ對スル緊急質問(町田武馬君提出)

〔町田武馬君登壇〕

○町田武馬君 東洋ノ大局上共ニ相携ヘテ和平ヲ圖ラネバナラス所ノ支那ガ、十年來動亂ニ重ヌルニ動亂ヲ以テシテ、如何ニ帝國ガ其平和ヲ希望スル所切ナルモノガアリマシテモ、益々混亂タル狀態ヲ呈スルニ至リマシテ、將ニ土崩瓦解センガ如キ狀態ニ

陥リマシタコトハ、支那ノ不幸デアアルコトハ勿論、延イテ我が帝國ノ不幸デアアルノデアリマス、今回殊ニ廣東ノ北伐軍ハ露國ノ支援ヲ受ケマシテ、反帝國主義、或ハ共產主義若クハ不平等條約ノ即時撤廢ノ三項ヲ旗幟トシテ、サウシテ揚子江一帶ニマデ北伐ノ軍ヲ進メタノデアリマス、之ニ對スル安國軍ハ反共產主義ヲ標榜シテ、サウシテ此氷炭相容レザル所ノ二大勢力ガ揚子江ヲ中心トシテ、將ニ大戰爭ヲ開始セントスルノ狀態ニ在ルノデアリマス、斯ク致シマスルナラバ、支那ノ今後ハ將ニ逆暗スベカラザル狀態デアアルコトハ明カデアリマス、抑、露國其モノハ赤裸々ニ、南軍即チ北伐軍ヲ後援ヲ致シマシテ、藉スニ金力ヲ以テシ、或ハ兵力ヲ以テシ、或ハ軍器ヲ以テスル等、實ニ赤裸々ナルモノガアルノデアリマス、而シテ此北伐軍ノ北進ニ當ツテハ、實ニ兵備、軍器、其他戰術上ノ要素ヨリ之ヲ見レバ、甚ダ之シイモノガアルノデアリマスケレドモ、有スル所ノ士氣及國風等ニ於テハ實ニ大ナルモノガアルノデアリマシテ、或ハ近ク北方マデ是ガ爲ニ風靡セラル、ニ至ルコトナキヤヲ虞ル、ノデアリマス、抑、支那、殊ニ南方支那ハ事大思想ノ最も高イ所ノ國民デアアル、支那國民ノ著シキ特徵ハ、如何ナル點ニ在ルカト申シマスルナラバ、事大主義デアアル、事大主義其モノ、露露ガ即チ排他主義ニ移ルノデアリマス、此排他主義ノ極端ニ發揮サレタルモノハ、即チ光緒二十六年、所謂我が三十二年、北京ニ起レル所ノ義和團事件其モノデアアルノデアリマス、此義和團事件ニ於テ極端ニ發揮サレタル所ノ事大思想ガ、列國ノ聯合勢力ノ下ニコソ酷ク擊破セラレマシテ、負フ所ノ犧牲ガ最も大ナルモノガアリマシタ爲ニ、徒ニ事大主義ヲ以テ排他主義ヲ行ハントスルコトハ、國ノ前

途ヲ危ウスルモノデアルト言フコトヲ覺リマシテ爾來此排他主義ノ標榜ヲ全ク隱シテ居タノデアリマス、隨テ此間ハ稍、支那ノ小康ヲ得タ時デアリマシテ、各地ニ於ケル暴動或ハ事件等ニ於テ、第一ニ標榜スル所ノ條件ハ、外國人ノ生命財產安固タリヤト云フ條項ヲ掲グルニ非ザレバ、何事モ爲シ得ザル狀態デアッタノデアリマス、然ルニ近來世界大戰ノ結果、各國ノ國勢均一ノ齟齬所ノ關係上、或ハ華府會議ノ結果等、彼等ガ忽チ其本性ニ歸リマシテ、義和團事件當時ニ於テ受ケタル所ノ損害其モノヲ忘ル、ニ至タノデアリマシテ、是ハ甚ダ支那ノ爲ニ悲シムベキコトデアルト考ヘマス(ヒヤ——)斯ク致シマシテ彼等ノ此考ハ、彼ノ國ニ於ケル永ク凌辱ノ屈伏シタル所ノ境遇ヨリ脱出セントスル所ノ目覺メタル考デアルトシテ、吾々ハ大ニ同情ヲ表スルモノデアリマス、併シ徒ニ暴虎馮河、無暴ノ不合理ナル動作ヲ以テ列國ニ相對スルガ如キハ、是レ支那ノ未來ノ大憂デアルトシテ、吾々ハ支那ノ爲ニ悲シムノデアリマス、斯クスルナラバ、支那後來ニ於テハ、支那ノ根本ヲ危ウスル所ノ虞ガアリマス、又吾々隣リニ接スル所ノモノハ、累ヲ彼ノ爲ニ受ケルト云フ虞モ無キニシモアラヌノデアリマス、外務大臣ハ度々當院ニ於テ聲明セラル、ノニ、我國ニ受ケル損害アリシ場合ニ於テハ、斷乎タル處置ヲ執ルト云フコトヲ言ウテオキデニナリマスルガ、併シ我國ニ受ケタル所ノ損害ガアル時ニ斷乎タル處置ヲ執ルヨリハ、其事ナカラシムル方法ヲ講ズルコトガ、賢明ナル處置デアラウト考ヘルノデアリマス、我國ハ支那ニ向テ最も同情ノ深キ國デアリマス、支那ノ行末ニ不幸アルコトハ、即チ此帝國ノ不幸デアルト考ヘテ居ル所ノ國柄デアアルノデ

アリマス、抑、支那が俄ニ排他主義ニ移リ、或ハ暴虎馮河、己ノ凌辱セラレタル所ノ國權ヲ俄ニ恢復セントスルコトニ向テ、暴力ヲ用ヒテマデ之ヲ爲サントスルニ至リマシタ、此原因ハ何處ニ在ルカト申シマスルト云フト、是ハ英米ノ力デアルノデアリマス、抑、我が帝國ガ歐洲ノ大戰争ニ當テ、敢テ關係ノ薄キ獨逸討伐ノ爲ニ、聯合軍ニ參加スルノ必要義務ハ毛頭認メナカッタノデアリガ、開國當時ニ於テ受ケタル所ノ米國ノ好誼ニ對シ、及ビ日英同盟中、征露ノ役ニ於テ受ケタル所ノ英國ノ好情ニ對シテ默シ難ク、此兩國ノ勸メニ依テ之ニ參加ヲ致シマシタ、後東洋ニ於テ、青島ニ於テ獨逸軍ヲ征討シ、全ク後顧ノ憂ナカラシメタモノハ、即チ日本ノ力デアルノデアリマス、サウシテ此戰争ニ於テ、我國ノ受ケタル損害ハ實ニ大ナルモノガアリマシタ、而モ遂ニハ尼港ノ慘虐事件マデモ當メタノデアリマス、未ダ會テ歷史上受ケタルコトモナイ所ノ恥辱ヲ、我國ニ受ケネバナラヌヤウナ狀態ニ至ッタノデアリマス、而モ「チエックスロバック」ノ交替ノ支援ノ如キハ、吾々ハ其名前サヘモ知ラナイモノガ、英米ノ唱道ニ依テ軍ヲ出シテ、サウシテ此「チエックスロバック」ヲ支援スル所ノ任務ニ從事シテ、而モ受ケル所ノ損害ハ多大ナルモノガアッタニ拘ラズ、其任務ガ終ルト、英米ハ我國ニ何等相談スルコトナク、自由ニ擅ニ敵兵ヲシマシテ、我が帝國ハ進退兩難ノ狀態ニ陥リマシタノハ、實ニ彼等ガ吾々ニ對シテ同情ノナキコト言語同斷ナルモノガアッタノデアリマス、而シテ彼等ハ其後ニ於テ華府會議ニ於テ如何ナル狀態デアリマシタラウカ、自ラ英國人ナリト自稱スル所ノ「ウエリントン」ナドト呼號シテ居ル今ノ内閣總理大臣顧維鈞等ヲ教唆シテ、有ユル方

法手段ヲ以テ日本ヲ離間中傷ヲ致シマシタ爲ニ、日本ノ受ケタル損害ハ、多大ナルモノガアッタノデアリマス、斯クシテ英國ハ頻リト日本ヲシテ、支那ノ領土ヨリ日本ノ勢力ノ有ユルモノヲ排斥セシムベク、教唆或ハ使喚シタ、其結果ガ遂ニ一番大ナル力ヲ有スル所ノ其力ヲ以テ、英國ノ刃ニ翳スニ至ッタノガ、即チ今日ノ狀態デアアルノデアリマス、今日ノ支那ヲ斯ク爲サシメタモノノ罪ハ、即チ英米デアアルノデアリマス、決シテ日本ノ罪デハアリマセヌ、サウシテ支那ハ、是等ノ事態カラ受ケタル所ノ結果ヲ見テ、忽チ屈從的狀態ヲ免レルベク今日ノ狀態ヲ呈スルニ至ッタノデアリマス、ケレドモ英國ガ斯ク支那ニ刃ヲ翳サル、ニ至リマシタコトハ、吾々ハ心竊ニ痛快ナリトハ考ヘテ居リマスケレドモ、併シ又松本君ノ言ハレマシタ如クニ、此刃ハ取モ直サズ近ク我が頭ニ來ル所ノ刃デアアル、デアリマスルカラ、兩者提携ヲシテ其事ニ當ラネバナラヌコトハ、自衛上必要ナル事デアアルノデアリマス、然ルニ聞ク所ニ依レバ、昨年ノ十一月英國ハ共ニ之ヲ爲サントシテ、我國ニ申込シタコト云フコトデアアルガ、我國ハ之ヲ拒絶シタコト云フコトデアリマス、若シ果シテ是ガ眞ナリトスルナラバ、私ハ實ニ好機ヲ逸シタルコトヲ悲シム者デアアルノデアリマス、(ヒヤ〜)此北伐軍ノ目覺メタルガ如キ狀態ハ、是ハ南方ニ現レタル所ノ新思想デアルト云フコトヲ言フ者ガアリマスガ、併シ熱易ク覺メ易キハ即チ南方支那ノ狀態デアリマス、之ヲ以テ必シモ目覺メタル所ノ新シキ思想ナリト見ルコトハ、支那ノ國民性ヲ知ラザル者ノ言デアリマシテ、之ヲ基調トシテ國策ヲ定ムルコトハ、到底出來ルコトデハアリマセヌ、唯、我國ノ國是ニ從テ、隣邦ノ親ミヲ全ウシ得ル方法ヲ講ジ、彼ノ爲、我

ガ帝國ノ爲、東洋ノ爲ニナル所ノ國是ヲ定メテ、サウシテ其國是ニ向テ勇往進退スルノ策アルノミデアアルト考ヘルノデアリマス(拍手) 不平等條約ノ撤回ノ如キハ、勿論内實ノ充實ガ出來マシタ後、廓清ノ顯ハレマシタ後、是ハ支那ヲシテ爲サシメネバナラヌ事柄デアアル、是ガ爲ニハ我帝國ハ之ヲ後援スルノニ吝ナラザルモノデアアルコトハ、明カナル事デアリマス、併ナガラ無暴ニモ頼ムベカラザル事ヲ頼ンデ、暴力ヲ以テ之ヲ爲サントスルガ如キハ、是ハ支那ノ未來ノ不幸デアアルカラ、此窮地ニ陥ル支那ヲシテ、陷ラシメザル所ノ處置ヲ執ルコトガ、隣邦先進國ノ我が帝國トシテ爲スベキ事デアラウト存ジマス、又彼ハ反帝國主義ヲ唱ヘテ居ル、反帝國主義ハ遂ニハ帝國ニ反スル主義ニナッテ居リマス、近頃ハ日本ハ帝國デアアルカラ反對ヲスル、元ハ帝國主義即チ侵略主義ヲ排スト云フコトヲ言ウテ居リマシタガ、近頃ニ至ッテハ帝國ガイケナイト云フヤウナ事マデモ、明ニ彼等ハ聲明スルニ至リマシタコトハ、益、其非望ヲ改メシムベキ先進國デアアル所ノ我國ノ努メネバナラヌ所ノ事柄デアアラウト信ズルノデアリマス、外務大臣ハ不干渉主義ヲ唱ヘテ居ラレマシテ、今ニ於テハ我國ノ權利ヲ侵害スル場合ニ於テハ、斷平タル處置ヲ執ルト申シテ居ラレマスルガ、是ハ斷平タル處置ヲ執ルベキ時機ヲ失セザル爲ニ、未然ニ之ヲ防遏スル策ニ出デラルルコトヲ切望ニ堪ヘマセヌ、又外務大臣ハ委員會ニ於テ、或ハ昨年ノ五十一議會ニ於テ、蒙古ハ完全ニ支那ノ統治下ニ在ルト聲明ヲシテ居ラレマスガ、即チ今日外蒙古ハ完全ニ支那ノ統治下ニ在リト聲明ヲシテ居ラレマスケレドモ今日外蒙古ガ支那ノ統治下ニ在リナド、考ヘテ居ル者ハ、外務大臣オ一人デアリマセ

ウ、然ルニ斯ク考ヘテ居ラレマスル外務大臣ノ御處置ニハ、甚ダ不可思議ニ堪エナイ事ガアリマス、ソレハ滿鐵會社ヨリ觀察ノ爲ニ派遣シテ、サウシテ蒙古ニ捕ハレタル者ヲ救援スル其際ニ、外務大臣ハ之ヲ蒙古政廳ニ讓ラレマシタケレドモ、不可能デアル爲ニ、露國ニ關係アル馮國璋ニ交渉ヲセラレ、遂ニ露國ノ力ニ依テ之ヲ救援ヲセラレマシタ、支那ノ統治下ニ完全ニ在リト聲明ヲセラル、所ノ蒙古ニ於ケル出來事ニ對シテ、露西亞ノ力ヲ藉リテ之ヲ救援セラレマシタ其理由ハドウ云フ譯デアリマセウ、又過日滿州里ニ於ケル帝國領事ガ外蒙古ノ旅行ヲ爲サントシテ「ハイラル」政廳ニ交渉ヲ致シマシテ拒絕ヲセラレ、遂ニ露國ノ政府ニ向テ直接御交渉ニナリマシタガ、此理由ハ如何ナルモノデアリマセウ、若シモ完全ニ支那ノ主權ノ下ニ在リトスルナラバ、敢テ露國政府ニ之ヲ御交渉ニナルト云フ理由ハ毛頭ナイコトデアアラウト信ズルノデアリマス(拍手) 恐クハ外務大臣ガ支那ノ主權ノ下ニ在リト言ハレ、サウシテ下僚ノ人々ガ之ヲ考ヘズシテ爲サレタコトハ思ヒマスルケレドモ、外務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタインデアリマス、要スルニ南方支那ノ計畫ハ、其全力ヲ排英ニ注イデ居リマス、先程松本君ノ述べラレマシタ如クニ、之ヲ終レル後ニハ其力ヲ佛蘭西或ハ日本ニ及ボスト云フコトハ、是ハ彼等ノ國是トシテ居ル所ノ事柄デアアル「ボロヂン」ノ演說中ニモ其事ガ明ニ現レテ居ルノデアリマス、斯ク增長シ來ル所ノ國民デアリマス以上、總テノ事ノ終リマシタ後ニ、日本ニ向テ鋒先ヲ向ケルト云フコトハ、火ヲ賭ルヨリ明ナルコトデアアルノデアリマス、敢テ啖ヲ要スルコトデアリマセヌ、我國ハ其際ニ於テ孤立無援ノ位置ニ立ツノ虞ガアルノデアリマス

カラ、今ニ於テ列國ト協調ヲ保ツテ、サウシテ支那問題ニ對シテ深切ニ支那ヲ指導スルノ方法ニ出デラレコトガ出來ルナラバ、帝國未來ノ大憂ヲ未然ニ防グコトガ出來ルノミナラズ、支那ノ爲ニ最も幸福ナ事デアルト信ズルモノデアリマス、要スルニ支那其モノハ、彼ノ騎虎ノ勢ヲ以テ暴威ヲ逞ウスル儘ニ任セテ置ケト斯ウ論ズル者モアルノデアリマス、斯ク致シマシタ後ニ、我國ノ權利ヲ彼等ガ侵害スルニ乘ジテ、サウシテ國權擁護ノ下ニ我國ハ斷然起テ之ヲ膺懲スルナラバ、百年ノ計ヲ定ムルコトガ出來ルカラ、今ノ狀態ヲ打捨テ、置ケト云フ議論モアルノデアリマス、ケレドモ、苟且ニモ正義ト和平トヲ好愛スル帝國ハ、斷ジテ斯ノ如キ小策ヲ弄スル事ハ出來ナイコトデアアル、堂々タル王者ノ道ヲ進マネバナラヌノデアリマス、要スルニ帝國ノ對支政策ハ、只今外務大臣ノ仰シヤラレマシタ如クニ、我ノ關セザル場合ニ於テハ如何ナル事ニモ指ヲ染メナイ、是ガ即チ今日ノ對支政策デアアル、斯ウ言ウテ居ラレマス、是ハ近頃外務大臣ノ仰セラル、言葉デアッテ、吾々ハ唇齒輔車ノ關係ガアルノデアアル、兩者親善ノ位置ニアラネバナラヌ、或ハ共存共榮ノ實ヲ舉ゲネバナラヌト云フコトハ、日本帝國ガ度々彼ニ聲明シタルコトデアアルニモ拘ラズ、今日ニ於テ全ク關係ノナイ、彼ハ外國デアアル、我ハ我デアアルト云フヤウナコトヲ言フノハ、自分ノ都合ノ好イ時ニハ共存共榮ヲ叫ビ、自分ノ都合ノ惡イ時ニハ全クノ他人デアアルト言フノト同様ナコトヲ言ハレルト云フコトハ、帝國ノ面目ニ關スルモノト考ヘルノデアリマス、ドウゾ我國ノ仕合せ、彼レノ仕合せトナル方策ニ出デラレコトヲ切望ニ堪ヘナイノデアリマス(拍手)

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今ノ町野君ノ御質問ハ、多クハ御意見ノ陳述デアリタヤウニ伺ヒマシタ(其通り)ト呼フ者アリ) 先ヅ第一ニ支那ノ動亂ノ原因如何ト云フコトヲ御述ニナリマシタノデアリマスカ、是ハ町野君ノ御意見トシテ謹聽シテ置キマス、原因トシテ御述ニナッタ中デハ、私ノ承服出來ヌ點モアリマスケレドモ、今日此處デ意見ヲ關ハスト云フコトハ目的デナカラウト思フノデアリマス(ヒヤ) 第一ニ御聽ニナッタ——御質問ニナッタ點ハ、昨年滿鐵ノ社員ガ數名ノ外蒙古ニ旅行ヲ致シタ時ニ、外蒙古デ拘禁サレマシタル時ニ、其救援ヲ圖リマスガ爲ニ、日本政府ガ露國政府ニ交渉ヲ致シタト云フコトヲ御話ニナリマシタ、是ハ何カノ間違デアリマセウ、丁度其時ニ莫斯科ニ外蒙古ノ代表者ト稱スル者ガ居タノデアリマスカ、其代表者ニ對シテ周旋ヲ依頼シタコトハアリマス、併ナガラ露國政府ニ對シテ交渉ヲ致シタコトハ毛頭アリマセヌ、又其方面ニ旅行致シマス場合ニ於テ、何時デモ露國政府ニ對シテ同意ヲ求メル——承諾ヲ求メルコトヲ致シタト云フヤウナコトヲ御述ニナリマシタガ、之モ事實ハ正確デアリマセヌ、御承知ノ如ク外蒙古方面ニ於キマシテハ、日本ノ代表者ハ居リマセヌ、領事館モアリマセヌ、何等ノ代表者モアリマセヌ、然ルニ露國ノ領事館ハアルノデアリマス、隨テ日本人ガ旅行致シマス時ニ、露國ノ代表者ノ世話ヲ受ケルト云フコトハ、何レニシタツテ便宜ノ事デアリマスカ、此意味ニ於テ偶、外蒙古ニ居リマス露國ノ官憲ノ便宜ヲ受ケンガ爲ニ、之ニ交渉シタコトハアリマス、ケレドモ、露國政府ガ是等ノ地方ノ政府デアアルト認メテ交渉致シタコトハ毛頭アリマセヌ(ヒヤ) ソレカラ何カ支那ノ動

亂ハ今後大ニ發展致シテ參リ、支那人ノ排外運動ノ目標ハ日本ニナルデアラウト云フコトヲ御憂慮ニナッタノデアリマス、ドウ云フ理窟デ左様ナ御憂慮ニナルカ知レマセヌガ、私ハ左様ニビクツク必要ハナイと思フ、吾々ハ支那ニ對シテ出來ルダケノ同情ヲ致シ、今日マデモ、又今後ニ於キマシテモ鄰邦トシテ出來ルダケノ友情、好意ヲ表示致ス積リデアリマス、吾々ハ何處マデモ正道ヲ履ンデ行ッテ居ル積リデアリマス、ソレニ拘ラズ支那ガ日本ヲ排外運動ノ目標ニ致スト云フヤウナコトハ、私ハ左様ニ恐ルコトハナイと思フ、況ヤ左様ナ憂慮ヲ妄ニ抱ク必要ハナカラウト思フノデアリマス、吾々ハ徐ニ時局ノ發展ヲ待ッテ居ッテ宜カラウト思フノデアリマス、ソレカラ不干渉主義ノコトニ付テ御述ニナリマシタ、是ハマダ今日ニ於テモ吾々ノ不干渉主義ノ趣意ガ能ク徹底シテ居ラヌコトヲ私ハ悲シムノデアリマス、私ハ不干渉ト申スノハ、支那ノ内政ニ——國內ノ政争ニ干渉ヲシナイ、一黨派ヲ援ケテ、他ノ黨派ヲ壓迫スルト云フヤウナコトニハ加ラナイ、斯ウ云フコトヲ申述ルノデアリマス、若シ支那全體ノ幸福ノ爲ニ日本ガ一臂ノ勞ヲ盡シ得ル餘地ガアレバ、日本ハ喜ンデ之ヲ致スノデアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 再提議日英米軍備縮小會議ニ關スル緊急質問提出者畔田明君

再提議日英米軍備縮小會議ニ關スル緊急質問(畔田明君提出)

○畔田明君 我ハ極メテ簡單ニ米國政府ノ再提議シテ參リマシタル軍備縮小會議ニ關シマシテ、政府ニ質問ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、去ル二月十四日ノ本議場ニ於キマシテ、私ハ政府ニ對シテ、若シ佛蘭西及ビ伊太利兩國政府ガ反對ヲ致シマシテモ、日英米ニ於テ飽ク迄軍縮ノ協定ヲ爲スベキモノト自分ハ思フ、政府ニ於テモ同様ニ其考ガ有ルカ如何ト云フコトヲ御尋致シマシタノデアリマス、ソレニ對シテ幣原外相ハ其事ハ架空ノ問題デアルガ故ニ、御答ハスルコトハ出來ナイト云フ御言葉デアッタノデアリマス、然ルニ其事ハ架空ニ非ズシテ、今日ハ正ニ事實トナッテ現レテ來タノデアリマス、而シテ此事實ニ對シテ、我政府ハ昨十一日松平駐米大使ヲ通ジテ、米國政府ニ對シ欣然參加スベキ回答ヲ致シタコト、承クタノデアリマス、私ノ質問ノ第一點ハ、米國再提議ノ内容如何ト云フ事デアリマス、今回ノ提案ノ中ニハ、三國會議ノ重要議題トナルベキ補助艦ノ試案ヲ含ンデ居ルト云フヤウニ聞イテ居リマス、此點ハ如何デアリマスカ、御話ヲ願ヒタイノデアリマス、質問ノ第二點ハ帝國政府ノ回答ノ内容デアリマス、質問ノ第三點ハ英國ノ態度デアアル、亞米利加ノ態度ハ申ス迄モナイ、併シ英國ノ態度ハ此軍縮會議ノ目的ヲ達スル上ニ於テ大ナル關係ガアルノデアリマス、倫敦電報ニ依リマスルト、英國ハ現在ノ現有シテ居ル補助艦ヲ五ト計算シテ、日米ニソレト三ト五トノ比率ヲ課セントスルト云フヤウナ希望デアルト云フコトヲ傳ヘテ居ル、又他ノ電報ニ依リマスルト云フト、英國ハ地中海諸國モ亦同様ノ縮小若クハ制限ヲ行フコトヲ條件トスルトノ明白ノ了解ノ下ニ、此三國會議ニ加ハルト云フ返答ヲ致シタト云フコトデアアル、サウカト思ヒマスルト、一方ニ於キマシテハ、一昨十日ノ英國議院ニ於キマシテ「ガロー・ジョンズ」君ガ質問ヲ致シマシタ其質問ハ、

佛伊兩國ガ「クローリヂ」大統領ノ提議ヲ拒絶致シタノデ、一應軍縮會議ハ無効ノ形トナツタヤウデアアル、併シ英國ハ新軍縮會議ヲ主張シテハドウデアアル、日英米ダケデ會議ヲシテモ宜イカラ、自主的ニヤツテハドウダト云フコトヲ言フテ居ルノデアリマス、一面ニ於テハ、會議ノ目的ニ反スルヤウナ意見モ見エ、他面ニ於テハ非常ナ賛成ノ態度モ見エ、是等ニ付テ外務當局トシテ御差支ナイダケノ御話ガ願ヒタイノデアリマス、第二ニ伺ヒタイコトハ、日英米ニ共通致シテ居リマスル事實ハ、御互ニ財政ガ膨脹致シマシテ、國費ノ節約民力ノ休養ヲ致サナケレバナラヌト云フ事デアアル、隨テ此軍備ノ問題ト財政トノ關係ハ、非常ニ注意ヲ要スルノデアリマス、隨テ前回華府會議ニ於ケル所ノ條約ノ結果、我國ノ海軍ガドノ位節約シ得タカ、年々何程節約シタカト云フコトヲ知ルコトハ非常ニ必要ナ事デアリマス、此點ニ付キマシテ、海相ヨリ十分ナ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、以上ニ對シテ御答辯ヲ願ヒマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 幣原外務大臣(國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇)
○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今畔田君ノ御質問ハ、此前ニ私が御質問ニ對シテ三國軍縮問題ニ關スル三國ノ會商ハ架空ノ問題デアルト云フコトヲ申シタ、其通りデアリマシタ、然ルニ今日ニ於キマシテハ、此架空ノ問題ガ實際ノ問題トナツテ參ッタノデアリマス、即チ米國政府ヨリ、日英兩國ニ對シテ三國間寄ッテ相談シテ見ヤウデハナイカト云フ申出ガアツタト云フコトハ事實デアリマス、之ニ對シマシテ、英吉利モ日本モ此三國會商ノ提議ニ對シテ、之ヲ應諾致シタノデアリマス、之ヲ應諾致シマスルニ當テ、英吉利カラ何カ條件ヲ付ケタ

ト云フヤウナコトヲ御話ニナリマシタガ、左様ナ事ハ私ノ知ッテ居ル限り、斷ジテアリマセヌ、要スルニ今日マデ、三國ノ間ニ於ケル意見ノ交換ト云フモノハ、是等ノ追テ協定セラル、ベキ事項ノ實質ニ入ッテ、何等ノ意見ノ交換ハアツタノデアリマセヌ、唯五國會商ニシテ不可能ナリトセバ、三國會商ガ行ハレ得ルカ否カト云フヤウナ、會議ヲ開催スルダケノ問題ニ付テノ意見ノ交換ガアツタノデアリマシテ、隨テ協定ノ内容ニ關シテ何等意見ノ交換ハアツタコトハアリマセヌ(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 財部海軍大臣(國務大臣財部彪君登壇)
○國務大臣(財部彪君) 畔田君ノ御質問ニ御答申上デマス、曩ノ華盛頓會議ノ結果、軍備制限條約ガ締結サレマシテ、我國ノ軍艦ヲ廢棄シ或ハ製造ヲ取止メマシタ爲ニ、節約致シマシタ所ノ經費ニ付テ御尋デアツタト考ヘマス、第一ニ經常費ノ方ニ付テ申上デマスレバ、彼ノ條約ノ爲ニ廢棄セラレ、又ハ製造ヲ取止メマシタ所ノ艦ノ維持費ノ節約及官衙部隊等ノ廢止縮小ナドノ爲ニ、浮イテ參リマシタ所ノモノヲ合計致シマスルト、約五億圓ニ上リマス——只今申上デタノハ間違ヒマシタ、年額一千八百餘萬圓ニ上リマス、之ヲ其後ノ四箇年度ノ間ニ積算致シマスレバ、七千五百萬圓餘ニ相成ルノデアリマス、次ニ臨時費ノ方ヲ申上デマスレバ、軍艦製造費ノ方ノ不要額ニナリマシタ額ガ四億六千餘萬圓、水陸整備費ノ方ノ減ジマシタノガ三千二百餘萬圓、之ヲ合計致シマスルト四億九千八百餘萬圓、約五億圓ニ上リマス、是ハ臨時部ノ方ノ減ジタ方ノ側デアリマスルガ、又他ノ一面ニ於キマシテハ、條約ノ結果ト致シテ自然經費ヲ要スルコトモ出來テ參ッタノデアリマシテ、

ソレヲ合セテ見マスルト云フト、主力艦ノ改裝費、ソレカラ廢棄艦船ノ解體費、退職者ノ獎金、ソレカラ製造諸會社等ニ補償金トシテ與ヘマシタ所ノ金額、是等ヲ總計致シマスルト云フト、三億五千七百餘萬圓ニ相成リマスル、之ヲ減ジマスル所ノ五億圓カラ差引キマスルト云フト、約一億四千萬圓ト云フモノガ節約サレタコトニ相成リマス、斯様ナ次第デゴザイマスルカラ、經常費ト臨時費トノ節約ニナリマスルモノヲ總計致シマスルト云フト二億一千五百萬圓、大約斯ウ云フ數ニ相成リマス、尙ホ附加ヘテ申上デマスレバ、此外ニ未ダ製造ニ著手致シテ居リマセナカッタ所ノ主力艦等ノ將來、ソレ以來要スベカリシ經常費ヲ見積リマシタナラバ、是ガ又三千萬ソコラニ相成タデアラウト思ヒマス、是ヲモ加ヘマスレバ總計二億五千萬圓位ニ相成ルノデゴザイマス、是ガ先ヅ結局節約ニ相成ッタコトト考ヘテ居リマス(拍手)

○畔田明君 簡單デスカラ此席デ御許シテ願ヒマス
○副議長(小泉又次郎君) 簡單ナラバ許可致シマス
○畔田明君 只今財部海相カラ御説明ガアリマシタガ、ソレハ恐ラク軍艦基本計畫ノ縮小ニ依ル繼續經費ノ減少額カト思ヒマス、私ノ御尋致シマシタ趣旨ハ、實質カラ檢討致シマシタ經費ヲ何ッタノデアリマス、即チ華府條約ノ制限ガナカッタナラバ、我國ハ當然八八艦隊ニナツテ居ルノデアリマス、八八艦隊ニナツテ居リマスルト、非常ナ經費デアアル、只今財部海相ハ水陸諸設備ノ縮小ニ依ッテ節約シタル經費三千二百萬圓ト御話ニナツタノデアリマスルガ、若シ是ガ八八艦隊ガ完成致シテ居リマスルト、ドウシテモ數千萬圓餘計ニナル、ソレカラ軍需中

貯藏準備額ノ節約千七百萬圓、是モ矢張數倍ニナルモノト認メナケレバナラヌ、更ニ軍艦維持費ノ節約、之ヲ私ノザツト計算シマシタ所デモ一億五千萬圓ニ達シマス、更ニ製艦費ノ節約ニ至リマス云フト、一年二億五千萬圓ニ達シマス、以上ヲ合計致シマスルト、約六億圓以上ニ達スルノデアリマシテ、私ハ只今直グ其調査ノ數字ヲ示セトハ申上デマス、今期議會開會中デ宜シウゴザイマスルカラ、實質カラ來ル所ノ數字ヲ御示シ下サルコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○副議長(小泉又次郎君) 是ニテ緊急質問ハ終了致シマシタ
○井本常作君 定刻モ過ギテ居リマスルカラ、殘餘ノ日程ハ延期セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會
午後六時六分散會

衆議院議事速記第二十二號中正誤

頁	段	行	誤	正
四八六	二	第三讀會ヲ	衍	正
同	一四	仍テ四案	仍テ第三讀會ヲ省略シテ四案	

衆議院議事速記第二十三號中正誤

頁	段	行	誤	正
五二六	三	一八	向ヒ	同ヒ
五二七	四	二九	一讀會ヲ	一讀會ノ
五二九	同	一六	第三讀會ヲ	衍
同	同	二八	仍テ四案	仍テ第三讀會ヲ省略シテ四案

